

令和8年度

工 事 設 計 書

工 事 名 中山第3配水池導配水管路整備工事

工事場所 西伯郡大山町退休寺

庆鼎西南区宝鼎海路2-3-6 电话(082)256-7551 陈乙锐(编辑)

1

①（低騒音型・低振動型建設機械）－
 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要がある
 ので、下記王種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通
 省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。
 該当王種：_____、施工機械：_____

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u>工事全体合計</u> <u> </u>人・日 交通誘導員B <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u>工事全体合計</u> <u> </u>人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その王法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知）（https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf）に基づいて適正に処理すること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ③（民間残土受入地） 建設発生土は <u>大山</u>市 <u>町</u>村 <u>加茂</u>地内の <u>残土処理場</u>に運搬（片道運搬距離 <u>9.0</u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u>1,730</u>円を <u>（株）赤松産業</u>に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ④（土質改良プラント） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円を <u> </u>に支払うこと。 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ①（分別解体等） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m³当り <u> </u>円 アスファルト塊 1m³当り <u> </u>円 建設発生木材 1m³当り <u> </u>円 ②（他工事等流用） 〔Co雑割材・ <u> </u>〕は、 <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内 <u> </u>工事で使用するものとする。

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、1 t 当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、[所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者]により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤ (再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・
受入れ費用) コンクリート塊 _____市・町・村_____地内の(有)きのえ
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り _____円

アスファルト塊 _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り _____円

建設発生木材 _____市・町・村_____地内の(株)赤碕トランスネット
(運搬距離_____km)、費用 1 m³当り _____円

その他 () _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り _____円

(受入れ時間帯) 8 時～17 時(平日)

(受入れ条件) ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。

エ 2 次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

⑥ (最終処理等)

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、その費用として1 t 当り_____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦ (産業廃棄物の処理に係る税)

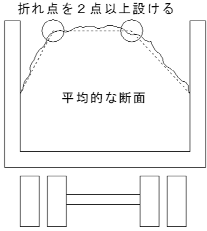
産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧ (伐木工の数量)

伐木工は伐木工歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているの、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量(体積(空m ³))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材 搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩ (マニフェスト)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	①（建設発生土の使用）— _____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。— ②（再生資材の使用）— ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。— イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。— ウ 再生クラッシュラン〔規格：Rc _____〕は、使用箇所：_____に使用する。— エ 再生コンクリート砂〔規格：RS _____〕は、使用箇所：_____に使用する。— オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。— カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。— キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。— ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。—
工事用道路	①（農地の一時転用について）— 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。— 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】— 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。— ②（農地の賃貸借）— ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。— イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。— ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。— エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。— オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。—
その他	①（自社施工）— 本工事においては、（※）_____工（_____工を除く）のうち少なくとも_____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。— ※該当する細別（レベル4）を記載する。— ②（工事名称） 工事標示板に記載する名称は、<u>中山第3配水池導配水管整備工事</u>とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。—

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。

イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評価)

【一般土木工事】 (該当しない場合は削除)

本工事は、工事成績評価要領第5の1に基づく工事成績評価の対象と〔する・しない〕。工事成績評価の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。

【建築・設備工事】 (該当しない場合は削除)

本工事は、工事成績評価要領〔第5の2・第5の3〕に基づく工事成績評価の対象と〔する・しない〕。工事成績評価の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。

ア 請負対象設計金額 (請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。) が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事

イ 鳥取県の管理する道路 (道路法 (昭和27年法律第180号) 第2条第1項に規定する道路に限る。) ・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理 (公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法 (昭和26年法律第97号) 第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。) することを目的として発注された工事 (年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事)

ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事

エ 機器の納品、部品取替等の建設工事 (融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等)

オ 工事目的物を伴わない建設工事 (旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等)

⑤ (監督体制)

本工事の監督体制は〔一般・重点〕監督とする。

重点監督の王種は_____とし、その他の王種は一般監督とする。

なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、 (対象工事の区分を記載) 工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。 (重点監督工事等に適用)

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象王種が含まれており、該当王種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。

ア 技能士種別: _____ 技能士、該当王種: _____ 王、特記事項根拠: _____ 頁

イ 技能士種別: _____ 技能士、該当王種: _____ 王、特記事項根拠: _____ 頁

ウ 技能士種別: _____ 技能士、該当王種: _____ 王、特記事項根拠: _____ 頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類にすることができる。

情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。

電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」 (以下「ガイドライン」という。) に従い適正に納品すること。

オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領 (令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知) に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム (以下「システム」という。) を利用すること。

ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類にすることができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」 (平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知) に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他の

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン、高所作業車及び橋梁点検車は、通常単価を採用し、その他の建設機械は長期割引単価を標準としている。
通常単価を採用した建設機械〔無し・有り_____〕

⑫（現場環境改善）

【災害復旧工事以外】（該当しない場合は削除）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつの合計4つの実施内容を実施すること。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 昇降設備の充実、2. 環境対策の充実 3. ICT設備の充実、4. 作業負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の充実 3. 現場休憩所の充実（交通誘導員待機室含む） 4. 衛生設備・厚生施設の充実
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策 5. （港湾・漁港工事のみ）防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
地域連携	1. 広報活動等（完成予想図、工法説明、PR看板等） 2. 見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む） 3. 社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） 4. 現场景観向上（美装化・デザイン看板等

【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）

現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。

また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑭ (現場管理費補正)―

【治山工事、林道工事以外】 (該当しない場合は削除)

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

【治山工事、林道工事】 (該当しない場合は削除)

本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

⑮ (日本芝生産地への配慮)―

日本芝の生産に配慮した植生王について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生王にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア―〔張芝王・筋芝王〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。

イ―〔植生基材吹付王・客土吹付王・種子散布王・枠内吹付王〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ―〔わら芝王・植生シート王・植生マット王〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m2当り〇〇円を見込んでいる。

⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])―

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)―

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱ (標示板の設置)―

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長事務連絡)を参考にすること。

⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])―【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】―

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

⑳ (遠隔臨場)―

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

その他

㊦ (快適トイレの試行)

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

(1) 洋式便器

(2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)

(3) 臭い逆流防止機能

(4) 容易に開かない施錠機能

(5) 照明設備

(6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

【付属品として備えるもの】

(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

(9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)

(10) 鏡と手洗器

(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

(12) 室内寸法 900×900mm 以上(面積ではない)

(13) 擬音装置(機能を含む)

(14) 着替え台

(15) 臭気対策機能の多重化

(16) 室内温度の調整が可能な設備

(17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等)

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事、港湾工事、漁港工事以外】(該当しない場合は削除)

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】

(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事】(該当しない場合は削除)

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】

(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。

その他

2. 【港湾工事、漁港工事】（該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】（1）～（6）及び【付属品として備えるもの】（7）～（11）の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事（施工箇所）※1までを原則とするが、監督職員と協議により必要と認められる場合は、増設できるものとする。

また、運搬・設置・撤去費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基/工事（施工箇所）※1より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わないものとする。

ただし、海上運搬を伴う運搬・設置・撤去費用については、別途共通仮設費に積上げ計上※2するものとする。

※1 施工箇所が点在する工事など、トイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

※2 快適トイレの海上運搬費用については、1回あたり当該工事で使用する作業船供用損料0.5日分の費用を計上するものとする。なお、他の資材と混在して運搬する際には、快適トイレ個別での運搬費用は計上しない。

3. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。

㉓（大型コンクリートブロック積擁壁）

大型ブロック及び基礎コンクリートは〇〇〇〇〇〇〇（製品名を記載）（以下「想定製品」という。）同等以上の品質を有すること。なお、想定製品以外の製品を使用する場合は、その製品に合わせた構造図、展開図等の作成及び擁壁高が8.0mを超える場合は地震時の安定性の検討を行い、事前に監督員の承諾を得ること。

㉔（けんせつトリピーのデザイン使用）

鳥取県が著作権を有するけんせつトリピーのデザインは、工事看板、工事案内チラシ等、工事をPRする目的に無料で使用できるので、積極的に活用すること。使用に当たっては、鳥取電子申請サービスから届出を行うこと。（届出送信後は、すぐに画像データを使用可能となる。）
鳥取電子申請サービス<https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/>（けんせつトリピーで検索）



㉕（下請契約等）

下請契約を締結する場合は、最新の鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針（<https://www.pref.tottori.lg.jp/211686.htm>）に基づき、適正な下請契約とすること。

また、適切な賃金水準の確保と社会保険等への加入の徹底に努めること。

（<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/873746.htm#itemid873746>参照）

㉖（中東情勢の変化に伴う建設資材の設計変更）

本工事は、供給の偏りや流通の日詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下「調達検討資材」という。）の調達に必要となる経費について設計変更の対象工事である。

設計変更を希望する場合は、調達公告時点で最新の中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更要領（<https://www.pref.tottori.lg.jp/117322.htm>）に基づき、監督員と協議すること。

本工事における調達検討資材は下表を想定している。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議すること。

調達検討資材

資材名	規格	設計数量	単価適用年月
塩化ビニル管	φ〇〇mm	〇〇m	R〇. 〇
塗料用シンナー	〇〇用シンナー	〇〇L	R〇. 〇

※工事内容に応じて調達検討資材を記載すること

㉗（工種区分）

本水道施設工事の共通仮設費等の算定に係る工種区分は、構造物工事（浄水場等）とする。

第 1 総 括

本工事の仕様指示に当り、その優先順位を次の通りとする。

1. 特記仕様書
2. 共通仕様書（令和 8 年 4 月 1 日 鳥取県土木共通仕様書による。）
4. 工事図面（別添の通り）
5. 工事明細書（別添の通り）
6. その他指示事項

第 2 特 記 仕 様 書

1. 工 事 名 中山第3配水池導配水管路整備工事
2. 工事場所 西伯郡 大山町 退休寺
3. 工 期 令和 年 月 日～令和 年 月 日
4. 工事概要 本工事の概要は、次の通りである。

工 種	構 造	形 状 寸 法	数 量
進入路築造工事	カルバート	幅員4.0m 延長102.11m	1式
カルバート工事		内空幅1.35m、 内空高1.80m、L23.02m	1式

5. 各種仕様

（1）骨 材

埋戻用……………真砂土

6. その他

（1）成果品

提出すべき成果品は、別添『工事施工管理基準仕様書』によるものとし、提出部数は1部とする。

（2）コンクリートは、原則として生コンを使用する。

セメントは、高炉セメントB種を使用するものとし、混和剤及びA E 剤については、監督員が必要に応じてその種類、量及び空気量について指示する。設計基準強度、その他については下表による。

呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材最大寸法 (mm)	使用箇所
1 8	8	4 0	床均しコンクリート
1 8	8	4 0	無筋構造物・小構造物
2 1	8	2 0～2 5	鉄筋構造物
2 4	8	2 0	鉄筋構造物

生コン使用に当たっては、次の各表を提出するものとする。

(ただし、JIS A5308によるものは、下記(ロ)、(ハ)、(ニ)を除く。)

- (イ) レディミクストコンクリート使用承認願
- (ロ) レディミクストコンクリート配合報告書
- (ハ) 骨材試験成績表
- (ニ) セメント試験成績表

(3) 用地及び付帯工事

工事に必要な材料置場、仮設道水路等一切の敷地、及びこれに伴う費用、付帯する工事等は、すべて請負者において処置しなければならない。

(4) 工事用機械

- ① 施工中の重機械の搬出は、監督員と協議のうえ行うこと。
- ② 工事の遂行上監督員が必要と認め指示した重機械は、直ちに搬入しなければならない。

(5) 工事施工

- ① 施工管理
別添『工事施工管理基準仕様書』による。

(9) 道 路

資材機械等の運搬に際し既存道路、及び構造物等を破損した場合は、請負者の負担において速やかに補修し、通行に支障がないようにしなければならない。

なお、交通制限等の必要のある場合は、あらかじめ監督員の承認を受け、且つ所要の手続きは、監督員を経由して関係機関に行うものとする。

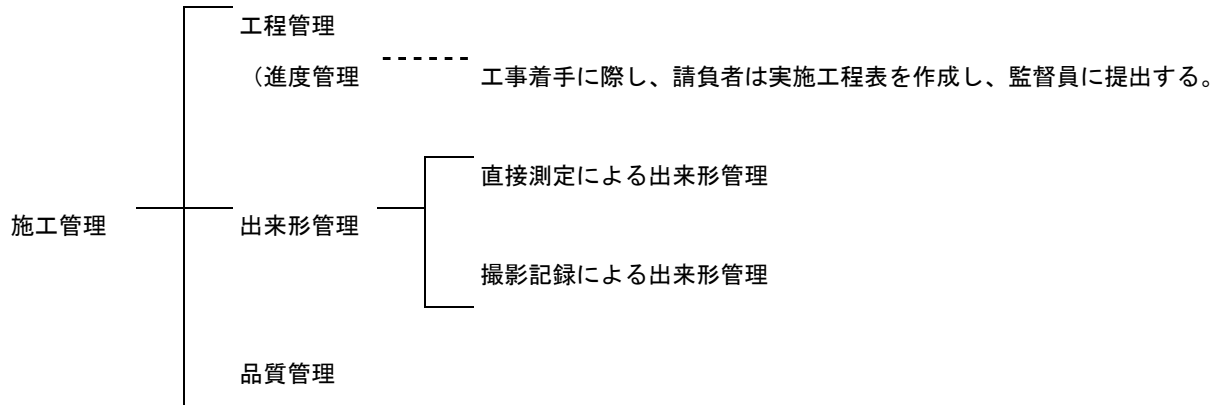
(10) その他補償工事等

- ① 地区内にあるNTT柱、中電柱等及び諸施設の移転について工事の工程で本工事に不都合を生ずる場合は事前に監督員に連絡し、みだりに関係諸機関の了解を受けずに移動若しくは取り除いてはならない。
- ② 工事中諸施設を破損した場合は、完成者及び関係各機関に遅滞なく届け出るとともに、その指示により請負者において処理し、監督員に速やかに報告すること。
- ③ 工事施工に伴い、地区内の農業用小施設及び物件（ハデ木小屋・サイロ・立木等）の取り扱い移動については監督員の指示により施工しなければならない。
- ④ 工事中に重機械等の移動等により工事完成部を破損した場合等は、速やかに監督員に届け、直ちに修復しなければならない。この場合、監督員の確認が必要である。
- ⑤ 工事施工について、その期間中所定の様式に従い、日報を提出しなければならない。
- ⑥ 工事打合せ事項は、所定の様式により打合せしなければならない。
打合せ簿に記載されない事項については変更の対象としない。

工事施工管理基準仕様書

1. この施工管理基準は、土木工事の施工の近代化に即応して工事の出来形及び品質の向上を図るため、請負者が実施する施工管理の基準を示すものである。

2. 施工管理の基本構成は、次のとおりである。



（１）工程管理とは、指定期日、手持資材を考慮し、工事施工達成に必要な作業の手順及び日程を定め、工程計画表を作成し、工事実施途中で計画と実績を比較検討し、必要な処理を取ることをいう。

（２）直接測定による出来形管理とは、工事の出来形を把握するため工作物の寸法、凸凹、勾配基準高等を施工の順序に従って直接測定し、逐次その結果一覧表に記録し、常到的確な管理を行うことをいう。

（３）撮影記録による出来形管理とは、出来形測定、品質管理を実施した場合、又は施工段階及び施工の進行過程を確認するため必要に応じ撮影記録を行うことをいう。

（４）品質管理とは、資材等の品質を把握するため物理的、化学的試験を実施し、その都度その結果を管理図表、又は結果一覧表に記録し、常により的確な管理を行うことをいう。

3. 施工管理の実施に当たって、請負者は、当該工事に施工管理責任者を定め、監督者に通知するものとする。施工管理を掌握し、この基準に従い善良な管理を実施しなければならない。

（１）出来形管理、品質の実施は、次項４によるものとする。なお、本仕様書に明示されていない事項については、監督者の指示によるものとする。

（２）施工管理は工事の進行に伴い、速やかに実施し、その結果を監督員に報告し、確認を受けるものとする。監督員は請負者の管理記録を重視（書類チェック）し、必要に応じランダムに現場で検討を行うものとする。

（３）出来形測定及び試験等の測定値がはなはだしく偏向する場合、ばらつきが大きい場合は、その原因を是正し常に所要の品質規格が得られるよう努めなくてはならない。

（４）竣工検査、記載部分検査に際しては、管理図表、又は結果一覧表等を整備し、提出するものとする。

4. 施工管理基準及び管理方式

(1) 直接測定による出来形管理

イ) 不可視部分の測定に当たっては、測定時期を逸しないよう特に注意しなければならない。

ロ) 出来形測定に当たっては、測定誤差等を極力少なくするように努め、測定機器を常に点検整備しておかなければならない。

ハ) 出来形測定管理は、出来形管理基準により行うものとする。

(2) 撮影記録による出来形管理

イ) 工事写真は、工事そのものが設計図書どおり施工されたかどうかの点を確認、又は判定するための重要な証拠資料となるものであるから、誰が見ても形状寸法等が明確に把握でき、場所、時期等の確認判定ができるよう撮影しなければならない。

ロ) 写真撮影は、撮影管理基準によるものとする。

(3) 品質管理

イ) コンクリート関係

- ① 品質管理の結果は、その都度施工管理記録に整理し、監督員に提出しその承認を受けるものとする。
- ② 品質管理の結果は、直ちに施工管理に反映させて常に所要の品質規格が得られるように努めなければならない。
- ③ 品質管理を必要とする項目及び(測定)基準は、品質基準により行うものとする。

ロ) 二次製品関係

- ① J I S規格製品は、コンクリートの配合表筋等の規格証明書製品の強度試験実施時の写真を添付した報告書を管理基準の内容のものと照合、確認するものとする。
- ② 形状、外観は現場搬入時において確認しなければならない。
- ③ J I S規格同等品、及びJ I S規格外製品についてもJ I S規格製品に準じ試験を行い、試験結果を提出し、品質の確認を受けなければならない。
- ④ 製品には、原則として製造工場、又はその略写呼名及び製造年月日を明示したものとする。

[illegible][illegible][illegible]

第 1 号明細書

進入路築造工事 設計書

1、設計図面との対象番号

(1)一般平面図ー

(2)工種別構造図ー

2、工事計画概要

本工事は、中山第3配水池へ導配水管路を布設する進入路として、幅員4.00m、延長102.11mの道路を築造するものである。
今回は築造工事のうち、地盤改良工及び補強盛土工及び水路工の一部を施工するものである。

第 1 号明細書

工種	名 称	形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	備 考
労務費	掘削工	土砂 オープンカット	m ³	21						代価表第D-1号
	掘削工	黒ホク オープンカット	m ³	845						代価表第D-2号
	路体盛土工	W≧4.0m	m ³	1,120						代価表第D-3号
	路床盛土工	W<2.5m	m ³	31						代価表第D-4号
	機械埋戻工	黒ホク流用土 W=1~4m	m ³	237						代価表第D-5号
	不足土	購入土	m ³	1,099						
	残土運搬工	不整地運搬車 土砂	m ³	582						代価表第D-6号
	残土運搬工	10t車、9.0km 土砂	m ³	582						代価表第D-7号
	土砂投棄料	黒ホク	m ²	582						
	重力式擁壁工	平均高さ1m<H<2m 基礎砕石無し	m ³	3.6						代価表第D-8号
	1号補強盛土工	ジオテキスタイル 天端配水材含	式	1						
	1号補強盛土排水工	φ150暗渠排水管	式	1						
	1号補強盛土	購入土	m ³	665						
	2号補強盛土工	ジオテキスタイル 天端配水材含	式	1						
	2号補強盛土排水工	φ150暗渠排水管	式	1						
	2号補強盛土	購入土	m ³	623						
	[地盤改良工]									
	中層改良工	改良強度qu=160KN/m2 必要粘着力C=80KN/m2	m ³	1,010						代価表第D-9号
	中層改良工	改良強度qu=180KN/m2 必要粘着力C=90KN/m2	m ³	12						代価表第D-10号
	[排水構造物工]									
	床掘工	土砂 小規模	m ³	10						代価表第D-11号
	埋戻工	土砂 小規模、発生土	m ³	7						代価表第D-12号
	[側溝工]									
	角フリューム	FS-300	m	45						代価表第D-13号
	1号水路工	B350-H300	m	6						代価表第D-14号
	[集水樹・マンホール工]									
	4号集水樹	B500-L500-H500	箇所	2						代価表第D-15号
	[構造物撤去工]									
	コンクリート構造物 取壊し工	鉄筋構造物	m ³	2.1						代価表第D-39号
	残土運搬工	機械積込,10t車 8.0km以下 Co塊	m ³	2.1						代価表第D-16号
	産業廃棄物処理費	Co塊	t	5						
	計									

カルバート工事 設計書

本工事は、中山第3配水池の進入路築造と併せ、内空幅1.35m、内空高1.80mのカルバート(L=23.02m)を築造するものである。

第 2 号明細書

[illegible]

第 3 号明細書

伐開工 設計書

- ## 1、設計図面との対象番号

(1)一般平面図一

(2)工種別構造図一

- ## 2、工事計画概要

.....

第 3 号明細書

[illegible]

一位代価一覧表

番号	名 称	単位					
			金 額	備 考	金 額	備 考	
	(土 工)						
D-1	掘削工	m3		土砂 オープンカット			
D-2	掘削工	m3		黒ボク オープンカット			
D-3	路体盛土工	m3		W $\geq$ 4.0m			
D-4	路床盛土工	m3		W<2.5m			
D-5	機械埋戻工	m3		黒ボク流用土W=1～4m			
D-6	残土運搬工	m3		不整地運搬車土砂			
D-7	残土運搬工	m3		10t車、9.0km 土砂			
D-8	重力式擁壁工	m3		平均高さ1m<H<2m 基礎碎石無し			
D-9	中層改良工	m3		改良強度qu=160KN/m2 必要粘着力C=80KN/m2			
D-10	中層改良工	m3		改良強度qu=180KN/m2 必要粘着力C=90KN/m2			
D-11	床掘工	m3		土砂 小規模			
D-12	埋戻工	m3		土砂 小規模、発生土			
D-13	角フリューム	m		FS-300			
D-14	1号水路工	m		B350-H300			
D-15	4号集水柵	箇所		B500-L500-H500			
D-16	残土運搬工	m3		機械積込,10t車 8.0km以下 Co塊			
D-17	伐木・伐竹工	m2		伐木			
D-18	除根工	m2					
D-19	伐木・伐根運搬工	m3		不陸地運搬車			
D-20	伐木・伐根運搬工	m3		機械積込,10t車 8.5km以下 伐木			
D-21	基礎コンクリート打設工	m3		ポンプ車打設 18-8-40			
D-22	基礎コンクリート型枠工	m2		均しコンクリート			
D-23	コンクリート打設工	m3		ポンプ車打設 24-12-25			
D-24	鉄筋工	kg		SD345 D13			
D-25	鉄筋工	kg		SD345 D16～D25			
D-26	鉄筋工	kg		SD345 D29～D32			
D-27	型枠工	m2		鉄筋構造物			
D-28	止水板設置工	m		塩ビ製 W=200			
D-29	目地材	m2		t=20mm			
D-30	パイプサポート支保工	空m3		h<4m、 W:40kN/m2以下			
D-31	くさび結合支保工	空m3		h $\leq$ 30m,W:40kN/m2を超 え80kN/m2以下			
D-32	足場工	掛m2		枠組足場 安全ネット設置			
D-33	ボックス内水路 コンクリート打設工	m3		小型構造物 $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$			
D-34	型枠工	m2		小型構造物			
D-35	人力埋戻工	m3		土砂			
D-36	基面整正工	m3					
D-37	基礎碎石工	m2		RC-40 t=10cm			
D-38	基礎碎石工	m2		RC-40 t=15cm			

一 位 代 価 一 覧 表

[illegible]

第 D-1 号代価表

掘削（土砂）
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比： 42.72% 労務構成比： 37.91% 材料構成比： 19.37% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

SPK25040001

施 工 単 価 表

単第0 -0001 表

頁0-0018

代 表 機 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	42.72%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
特殊運転手	37.91%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (バトロール給油)	19.37%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-2 号代価表

掘削（黒ボク）
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比： 42.72% 労務構成比： 37.91% 材料構成比： 19.37% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

SPK25040001

施 工 単 価 表

単第0 -0002 表

頁0-0019

代 表 機 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	42.72%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
特殊運転手	37.91%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (バトロール給油)	19.37%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-3 号代価表

路体(築堤)盛土

施工幅員4.0m以上

機械構成比:

17.31%

労務構成比:

67.71%

材料構成比:

14.98%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1

頁0-0021

m3 当り

SPK25040004

施工数量20,000m3未満 障害無し

施 工 単 価 表

単第0 -0004 表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<貸>ブルドーザ 湿地 7t級	10.87%		<貸>ブルドーザ 湿地, 7t級 排出ガス対策型(第1, 2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<貸>振動ローラ(フラットシングルドラム型) 質量11~12t	6.44%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
特殊運転手	46.57%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.98%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-4 号代価表

路床盛土

施工幅員2.5m未満

機械構成比:

0.76%

労務構成比:

98.98%

材料構成比:

0.26%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1

頁0-0022

m3 当り

SPK25040005

施 工 単 価 表

単第0 -0005 表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<貸>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.76%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	89.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.64%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-5 号代価表

埋戻し

SPK25040020
最大埋戻幅1m以上4m未満

施 工 単 価 表

単第0 -0007 表

頁0-0024

機械構成比：9.29%		労務構成比：82.13%		材料構成比：8.58%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：1 m3 当り	
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考				
<貸>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3, 2011, 2014	7.79%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018				
<貸>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5～0.6t	1.41%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5～0.6t		KTPC00070 KTPT00070				
<貸>タンバ(ランマ) 質量60～80kg	0.09%		タンバ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020				
普通作業員	40.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002				
特殊作業員	26.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001				
特殊運転手	15.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006				
軽油 小型ローリー (バトロール給油)	8.45%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013				
ガソリン レギュラー スタンド	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014				
積算単価			積算単価		EP001				

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-5 号代価表

埋戻し

SPK25040020
最大埋戻幅1m以上4m未満

施 工 単 価 表

単第0 -0007 表

頁0-0025

機械構成比：9.29%		労務構成比：82.13%		材料構成比：8.58%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：1		m3		当り	
代 表 機 労 材 規 格		構成比		単価(積算地区)		代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)		備 考			
A=3 最大埋戻幅1m以上4m未満						D=1 -(全ての費用)							

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-6 号代価表

不整地運搬車
5,000m3未満

S1010005
BH(クローラ型) 山積0.8/平積0.6m3

施 工 単 価 表

単第0 -0060 表

100 m3 当り

頁0-0091

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-28_不整地運搬車運転 クローラ型 ダンプ 全旋回式 6~7t積 排出ガス対策型2014年規制	0.625	日			S9021 単第0-0061 表 100/160
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 5,000m3未満 C=8 130以下			B=1 BH(クローラ型) 山積0.8/平積0.6m3		
日当り運搬量 D = 160(m3/日)					

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-7 号代価表

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

SPK25040002
DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)

施 工 単 価 表

単第0 -0059 表

1 m3 当り

頁0-0090

代 表 機 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=28 距離9.5km以下(7.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-8 号代価表

重力式擁壁
擁壁平均高さ1m超2m未満
機械構成比： 2.90%

SPK25040071
基礎碎石無し 均しCo無し
労務構成比： 65.44%

施 工 単 価 表

単第0 -0012 表

頁0-0030

1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.45/平積0.35m3, 吊能力2.9t	2.26%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.45/平積0.35m3, 吊能力2.9t		MTPC00160 MTPT00160
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	18.34%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.58%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	31.29%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー (バトロール給油)	0.29%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-8 号代価表

重力式擁壁
擁壁平均高さ1m超2m未満
機械構成比： 2.90%

SPK25040071
基礎碎石無し 均しCo無し
労務構成比： 65.44%

施 工 単 価 表

単第0 -0012 表

頁0-0031

1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 擁壁平均高さ1m超2m未満 D=1 基礎碎石無し F=1 一般養生 H=1 -			B=2 18-8-40BB E=1 均しCo無し G=1 圧送管延長距離無し		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-9 号代価表

中層混合処理工
改良深度 2m<L≤5m

S1020027

添付量80kg/m3

施 工 単 価 表

単第0 -0013 表

頁0-0032

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.556	人			RTPC00009 1×100/D 1*0.5555 9
特殊作業員	0.556	人			RTPC00001 1×100/D 1*0.5555 9
普通作業員	1.111	人			RTPC00002 2×100/D 2*0.5555 9
セメント系固化材 一般軟弱土用 フレコン (1tパック)	8.480	t			F0000000001 V×100 0.0848*100
機-20_中層混合処理機トレンチャ式運転 改造バックホウ 0.8m3級 改良深度 L=5m 1ピースブーム用	0.556	日			S9000039 100/D 単第0-0014 表 9
機-25_スラリプラント(全自動)運転 20m3/h	0.556	日			S9063 100/D 単第0-0015 表 9
諸雑費	29	%			#09
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 改良深度 2m<L≤5m C=1 【F】改良材(t) E=1 -			B=80 1m3当り改良材添付量(kg/m3) (ロス率含まず) D=1 1,000m3未満		
日当り作業量(D) (m3/日) = 225.000 日当り作業量の補正係数 = 0.800 100 / (225 * 0.800) = 0.5555					
$V = v * (1 + K) / 1000$ $= 80.000 * (1 + 0.060) / 1000 = 0.0848 \text{ (t/m3)}$					

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-10 号代価表

中層混合処理工
改良深度 2m<L≤5m

S1020027

添付量85kg/m3

施 工 単 価 表

単第0 -0016 表

頁0-0035

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.556	人			RTPC00009 1×100/D 1*0.5555 9
特殊作業員	0.556	人			RTPC00001 1×100/D 1*0.5555 9
普通作業員	1.111	人			RTPC00002 2×100/D 2*0.5555 9
セメント系固化材 一般軟弱土用 フレコン (1tパック)	9.010	t			F0000000001 V×100 0.0901*100
機-20_中層混合処理機トレンチャ式運転 改造バックホウ 0.8m3級 改良深度 L=5m 1ピースブーム用	0.556	日			S9000039 100/D 単第0-0014 表 9
機-25_スラリプラント(全自動)運転 20m3/h	0.556	日			S9063 100/D 単第0-0015 表 9
諸雑費	29	%			#09
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 改良深度 2m<L≤5m C=1 【F】改良材(t) E=1 -			B=85 1m3当り改良材添付量(kg/m3) (ロス率含まず) D=1 1,000m3未満		
日当り作業量(D) (m3/日) = 225.000 日当り作業量の補正係数 = 0.800 100 / (225 * 0.800) = 0.5555					
$V = v * (1 + K) / 1000$ $= 85.000 * (1 + 0.060) / 1000 = 0.0901 \text{ (t/m3)}$					

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-11 号代価表

床掘り
土砂 標準
機械構成比： 22.47% 労務構成比： 53.87% 材料構成比： 23.66% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

SPK25040015

施 工 単 価 表

単第0 -0055 表

頁0-0086

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<貸>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3, 2011, 2014	22.47%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊運転手	53.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	23.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-12 号代価表

埋戻し
最大埋戻幅1m未満
機械構成比： 8.95% 労務構成比： 87.50% 材料構成比： 3.55% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

SPK25040020

施 工 単 価 表

単第0 -0054 表

頁0-0085

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・排2014 山積0.45/平積0.35m3	8.37%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・排2014 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00159 MTPT00159
<貸>タンバ(ランマ) 質量60～80kg	0.58%		タンバ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	53.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	25.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	8.82%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 -(全ての費用)		

08-*****-00001-10

大 山 町

U型側溝
U型側溝(各種) L=2000mm/本

SDT00013

施 工 单 价 表

單第0 -0065 表

頁0-0097

1 m 当 9

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空側溝(各種) L=2000mm/本					
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			TDT000725
角フリューム 300×300×2000	0.500	個			F0000000002
再生クラッシャーラン RC-40	0.053	m3			県単価R8.6 TTPC00008
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=2 【F】U型側溝(本) F=6 1000≧重量			B=5 U型側溝(各種) E=3 L=2000mm/本 G=1 時間的制約なし		
I=1 - K=2 RC-40			J=1 - N=0.44 基礎碎石の設計数量(m3/10m)		

08-*****-00001-10

大山町

[illegible]

第 D-17 号代価表

伐木・伐竹(伐木除根)
伐木(機械施工)

SPK25040183

施 工 単 価 表

単第0 -0062 表

頁0-0093

機械構成比：42.17%		労務構成比：46.02%		材料構成比：11.81%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：1		m2		当り	
代 表 機 材 規 格		構成比		単価(積算地区)		代 表 機 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)		備 考			
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音・排2014 山積0.5/平積0.4m3		29.25%				バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2014 山積0.5/平積0.4m3				MTPC00158 MTPT00158			
バックホウ用アタッチメント 切断機能付掴み装置 開口幅880～1,000mm カット最大300～400mm		12.80%				バックホウ用アタッチメント 切断機能付掴み装置 開口幅880～1,000mm カット最大300～400mm				MTPC00161 MTPT00161			
その他(機械)						その他(機械)				EK009			
特殊運転手		38.16%				運転手(特殊)				RTPC00006 RTPT00006			
土木一般世話役		7.73%				土木一般世話役				RTPC00009 RTPT00009			
その他(労務)						その他(労務)				ER009			
軽油 小型ローリー (バトロール給油)		11.78%				軽油バトロール給油				TTPC00013 TTPT00013			
その他(材料)						その他(材料)				EZ009			
積算単価						積算単価				EP001			

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-17 号代価表

伐木・伐竹(伐木除根)
伐木(機械施工)

SPK25040183

施 工 単 価 表

単第0 -0062 表

頁0-0094

機械構成比：42.17%		労務構成比：46.02%		材料構成比：11.81%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：	
代 表 機 材 規 格		構成比	単価(積算地区)	代 表 機 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)		備 考	
A=4 伐木(機械施工)				B=1 -(全ての費用)					

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-18 号代価表

除根(伐木除根)

SPK25040184

施 工 単 価 表

単第0 -0063 表

頁0-0095

機械構成比：29.40%		労務構成比：60.37%		材料構成比：10.23%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：1		備考	
代 表 機 材 規 格		構成比	単価(積算地区)	代 表 機 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)				備 考	
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音・排2014 山積0.5/平積0.4m3		25.41%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2014 山積0.5/平積0.4m3						MTPC00158 MTPT00158	
バックホウ用アタッチメント 掴み装置(伐木除根工用) 開口幅1700～2000mm爪幅400～750mm		3.99%		バックホウ用アタッチメント 掴み装置(伐木除根工用) 開口幅1,700～2,000mm 爪幅400～750mm						MTPC00085 MTPT00085	
特殊運転手		33.15%		運転手(特殊)						RTPC00006 RTPT00006	
土木一般世話役		18.66%		土木一般世話役						RTPC00009 RTPT00009	
普通作業員		8.56%		普通作業員						RTPC00002 RTPT00002	
軽油 小型ローリー (パトロール給油)		10.23%		軽油パトロール給油						TTPC00013 TTPT00013	
積算単価				積算単価						EP001	
A=1											
-(全ての費用)											

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-19 号代価表

不整地運搬車

5,000m3未満

S1010005

BH(クローラ型) 山積0.8/平積0.6m3

施 工 単 価 表

単第0 -0060 表

頁0-0091

名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-28_不整地運搬車運転 クローラ型 ダンプ 全旋回式 6～7t積 排出ガス対策型2014年規制		0.625	日			S9021 単第0-0061 表 100/160
諸雑費		1	一式			#91
*** 合計 ***		100	m3			
*** 単位当たり ***		1	m3			
A=1 5,000m3未満 C=8 130以下				B=1 BH(クローラ型) 山積0.8/平積0.6m3		
日当り運搬量 D = 160 (m3/日)						

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-20 号代価表

運搬(伐木除根) SPK25040189 施工単価表 単第0 -0064 表 頁0-0096
機械施工 除根作業有り DID区間無し 運搬距離8.5km以下(7.0km超) 1 m3 当り
機械構成比: 58.43% 労務構成比: 30.16% 材料構成比: 11.41% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	58.43%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00162T1 MTPT00162T1
一般運転手	30.16%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (バトロール給油)	11.41%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 機械施工 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 除根作業有り D=25 運搬距離8.5km以下(7.0km超)		

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-21 号代価表

コンクリート SPK25040157 施工単価表 単第0 -0023 表 頁0-0046
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB コンクリートポンプ車打設 1 m3 当り
機械構成比: 4.02% 労務構成比: 13.36% 材料構成比: 82.62% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.99%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	6.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	1.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	81.82%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー (バトロール給油)	0.80%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-21 号代価表

コンクリート SPK25040157 施工単価表 単第0 -0023 表 1 1 m3 当り
 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB コンクリートポンプ車打設
 機械構成比： 4.02% 労務構成比： 13.36% 材料構成比： 82.62% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB F=1 養生工無し J=1 -			B=1 コンクリートポンプ車打設 E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満 G=1 圧送管延長距離延長無し K=1 -(全ての費用)		

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-22 号代価表

型枠 SPK25040159 施工単価表 単第0 -0040 表 1 1 m2 当り
 一般型枠 均しコンクリート
 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	58.78%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-23 号代価表

コンクリート

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

機械構成比： 4.02% 労務構成比：

SPK25040157

コンクリートポンプ車打設

材料構成比： 82.62%

施 工 単 価 表

単第0 -0041 表

頁0-0071

1

m3 当り

標準単価：

代 表 機 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.99%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	6.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	1.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C55%以下	81.82%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TPPC00343 TTPT00343
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.80%		軽油パトロール給油		TPPC00013 TTPT00013

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-23 号代価表

コンクリート

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

機械構成比： 4.02% 労務構成比：

SPK25040157

コンクリートポンプ車打設

材料構成比： 82.62%

施 工 単 価 表

単第0 -0041 表

頁0-0072

1

m3 当り

標準単価：

代 表 機 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB F=1 養生工無し J=1 -			B=1 コンクリートポンプ車打設 E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満 G=1 圧送管延長距離延長無し K=1 -(全ての費用)		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-24 号代価表

鉄筋工
SD345 D13

V0002

施 工 単 価 表

単第0 -0043 表

頁0-0074

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 鉄筋組立 (一般構造物) SD 3 4 5 ・ D 1 3	0.001	t			S1040015 単第0-0044 表
鉄筋 SD345 D13	1	kg			T00001 県単価R8.6
*** 単位当たり ***	1	kg			

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-25 号代価表

鉄筋工
SD345 D16～25

V0003

施 工 単 価 表

単第0 -0045 表

頁0-0076

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 鉄筋組立 (一般構造物) SD 3 4 5 ・ D 1 6 ～ D 2 5	0.001	t			S1040015 単第0-0046 表
鉄筋 SD345 D16～25	1	kg			T00002 県単価R8.6
*** 単位当たり ***	1	kg			

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-26 号代価表

鉄筋工
SD345 D29～32

V0004

施 工 単 価 表

単第0 -0047 表

頁0-0078

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 鉄筋組立 (一般構造物) SD 3 4 5 ・ D 2 9 ～ D 3 2	0.001	t			S1040015 単第0-0048 表
鉄筋 SD345 D29～32	1	kg			T00003 県単価R8.6
*** 単位当たり ***	1	k g			

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-27 号代価表

型枠
一般型枠

SPK25040159

施 工 単 価 表

単第0 -0042 表

頁0-0073

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-28 号代価表

止水板

SPK25040119

施 工 単 価 表

単第0 -0049 表

頁0-0080

幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)

1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	41.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
塩ビ止水板 C F 2 0 0 × 5 m m	44.12%		塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5mm		TTPC00198 TTPT00198
積算単価			積算単価		EP001
A=1 幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)					

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-29 号代価表

目地板

SPK25040118

施 工 単 価 表

単第0 -0050 表

頁0-0081

1工事当り使用量30m2未満

瀝青繊維質目地板t=20mm

1

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	47.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
瀝青繊維質目地板 厚 2 0 m m	35.60%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPCD0150 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=6 瀝青繊維質目地板t=20mm		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-30 号代価表

支保工
パイプサポート支保

S0370
f<=40 (t<=120)

施 工 単 価 表

単第0 -0051 表

頁0-0082
100 空m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.600	人			RTPC00009
型わく工	4.700	人			RTPC00010
とび工	2.200	人			RTPC00004
普通作業員	5.100	人			RTPC00002
諸雑費	15	%			#09
*** 合計 ***	100	空m3			
*** 単位当たり ***	1	空m3			
A=1 パイプサポート支保			B=1 f<=40 (t<=120)		

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-31 号代価表

支保工
くさび結合支保

S0370
40<f<=80 (120<t<=250)

施 工 単 価 表

単第0 -0052 表

頁0-0083
100 空m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.100	人			RTPC00009
型わく工	2.700	人			RTPC00010
とび工	4.200	人			RTPC00004
普通作業員	6.000	人			RTPC00002
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	1.200	日			KTPC00014
諸雑費	33	%			長期割引適用外 #09
*** 合計 ***	100	空m3			
*** 単位当たり ***	1	空m3			
A=2 くさび結合支保			B=3 40<f<=80 (120<t<=250)		

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-32 号代価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
手摺先行型枠組足場

S0380
安全ネット設置

施 工 単 価 表

単第0 -0053 表

頁0-0084
100 掛m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.600	人			RTPC00009 9
とび工	8.500	人			RTPC00004 安全ネット設置含む 9
普通作業員	1.300	人			RTPC00002 9
〈賃〉ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	1.400	日			KTPC00014 長期割引適用外 9
諸雑費	31	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=1 手摺先行型枠組足場 C=0 潮待割増			B=2 安全ネットを設置する		
潮待作業割増なし					

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-33 号代価表

コンクリート
小型構造物 18-8-40BB

SPK25040157
バックホウ(クレーン機能付)打設

施 工 単 価 表

単第0 -0036 表

頁0-0063
1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	3.42%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.40%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	7.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	6.62%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	61.20%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.70%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-33 号代価表

コンクリート
小型構造物 18-8-40BB
機械構成比： 3.62% 労務構成比： 33.38%

SPK25040157
バックホウ(クレーン機能付)打設
材料構成比： 63.00%

施 工 単 価 表

単第0 -0036 表

頁0-0064

1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=1 養生工無し K=1 -(全ての費用)		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-34 号代価表

型枠
一般型枠

SPK25040159
小型構造物

施 工 単 価 表

単第0 -0037 表

頁0-0065

1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-35 号代価表

埋戻し
土砂

SPK25040020

施 工 単 価 表

単第0 -0057 表

頁0-0088

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001
A=6 現場制約あり C=2 締固め無し			B=1 土砂 D=1 -(全ての費用)		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-36 号代価表

基面整正

SPK25040017

施 工 単 価 表

単第0 -0056 表

頁0-0087

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-37 号代価表

基礎碎石
 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下
 機械構成比： 5.33% 労務構成比： 78.32% 材料構成比： 16.35% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

SPK25040034

施 工 単 価 表

単第0 -0038 表

頁0-0066

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<貸>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3, 2011, 2014	5.30%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	14.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン R C - 4 0	11.39%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-37 号代価表

基礎碎石
 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下
 機械構成比： 5.33% 労務構成比： 78.32% 材料構成比： 16.35% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

SPK25040034

施 工 単 価 表

単第0 -0038 表

頁0-0067

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1 -(全ての費用)			B=1 RC-40		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-38 号代価表

基礎碎石

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

SPK25040034

施 工 単 価 表

単第0 -0028 表

頁0-0053

機械構成比： 5.04%

労務構成比： 74.10%

材料構成比： 20.86%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

1

m2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
〈貸〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3, 2011, 2014	5.01%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン R C - 4 0	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-38 号代価表

基礎碎石

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

SPK25040034

施 工 単 価 表

単第0 -0028 表

頁0-0054

機械構成比： 5.04%

労務構成比： 74.10%

材料構成比： 20.86%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

1

m2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 D=1 -(全ての費用)			B=1 RC-40		

08-*****-00001-10

大 山 町

第 D-39 号代価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)
機械施工

SDT00033

施 工 単 価 表

単第0 -0029 表

頁0-0055

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001573
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

08-*****-00001-10 大 山 町

第 D-40 号代価表						
地盤改良機械分解・組立 (中層混合処理機 60 t 以下)						
1 台 当 り						
名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		16.00	人			
クレーン運転	ラフテレンクレーン25 t 吊	2.40	台/日			
諸雑費	上記の4%					
運搬費等率	上記の229%					
計						

見積比較表

[illegible]

進入路築造工数量計算書

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名						事 業 区 分	道路新設・改築
						工 事 区 分	道路改良
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘 要
道路改良			式		1		
道路土工			式		1		
掘削工			式		1		
掘削		土砂 オープンカット	m3		21		
掘削		黒ボク オープンカット	m3		845		
路体盛土工			式		1		
路体盛土		W<2. 5m	m3		0		
路体盛土		W≧4. 0m	m3		1, 120		
路床盛土工			式		0		
路床盛土		W<2. 5m	m3		0		
路床盛土		W≧4. 0m	m3		0		
埋戻工							
埋戻		黒ボク流用 W=1～4m	m3		237		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名					事 業 区 分	道 路 新 設 ・ 改 築
					工 事 区 分	道 路 改 良
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘 要
法面整形工		式		0		
法面整形（切土部）	現場制約無し	m2		0		
法面整形（盛土部）	法面締固め無し 現場制約無し	m2		0		
残土処理工		式		1		
不足土	土砂	m3		1,099		
残土処理	黒ボク	m3		582		
法面工		式		0		
植生工		式		0		
植生マット	肥料袋付	m2		0		
植生シート	肥料袋無 標準品	m2		0		
擁壁工		式		1		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名					事 業 区 分	道 路 新 設 ・ 改 築
					工 事 区 分	道 路 改 良
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘 要
重力式擁壁		m		2		V=3.6m ³
補強盛土工		式		1		
1号補強盛土工		式		1		
1号補強盛土排水工		式		1		
2号補強盛土工		式		1		
2号補強盛土排水工		式		1		
地盤改良工						
中層改良	改良強度qu=160KN/m ² 必要粘着力C=80KN/m ²	m ³		1,010		パワーブレンダー工法
セメント添加量	スラリー粘性土用	t		81		80kg/m ³
中層改良	改良強度qu=180KN/m ² 必要粘着力C=90KN/m ²	m ³		12		パワーブレンダー工法
セメント添加量	スラリー粘性土用	t		1		85kg/m ³

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名						事 業 区 分	道路新設・改築
						工 事 区 分	道路改良
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘 要	
排水構造物工		式		1			
作業土工		式		1			
床掘	土砂 小規模	m3		10			
埋戻	土砂 小規模	m3		7			
側溝工		式		1			
角フリューム	FS-300	m		45			
道路用縦排水路	土羽部	m		0			
プレキャスト上ふた式U型側溝	PU3-300B	m		0			
横断用自由勾配側溝	FSC-B300-H400	m		0			
1号水路工	B350-H300	m		6			
集水桝・マンホール工		式		1			
1号集水桝	B500-L500-H600	箇所		0		V=0.292m3	

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名						事 業 区 分	道路新設・改築
						工 事 区 分	道路改良
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘 要	
2号集水桝	B500-L500-H600	箇所		0		V=0.308m3	
3号集水桝	B500-L500-H500	箇所		0		V=0.262m3	
4号集水桝	B500-L500-H500	箇所		2		V=0.260m3	
構造物撤去工		式		1			
構造物取壊し工		式		1			
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m3		2.1			
舗装版切断	アスファルト舗装版 t≤10cm	m		0			
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t=5cm	m2		0			
運搬処理工		式		1			
殻運搬処理	鉄筋コンクリート殻	m3		2.1			
		(t)		5			

道 路 土 工 数 量 集 計 表

種 別	細 別	規 格	単位	算 式	数 量	備 考
掘 削 工						
	掘 削	土砂 オープンカット	m3		21.0	
	掘 削	黒ボク オープンカット	m3		845.1	
路体盛土工						
	路体盛土	W<2.5m	m3		0.0	
	路体盛土	W≥4.0m	m3		1,119.5	
埋戻工						
	埋戻	黒ボク流用 W=1~4m	m3	172.0+64.8	236.8	
路床盛土工						
	路床盛土	W<2.5m	m3		0.0	
	路床盛土	W≥4.0m	m3		0.0	
法面整形工						
	法面整形（切土部）	現場制約無し	m2		0.0	
	法面整形（盛土部）	法面締固め無し 現場制約無し	m2		0.0	
残土処理工						
	不 足 土	土砂(購入土)	m3		1,098.8	
	残土等処分	黒ボク	m3	845.1-236.8/0.9	582.0	

道 路 土 工 流 用 調 書

発生土（流用可能土）

細 別	規 格	数 量	土量変化率	補正土量
掘 削	土砂 オープンカット	21.0	0.9	18.9
作業残土	排水構造物工	2.0	0.9	1.8
合 計				20.7

必要土

細 別	規 格	数 量
路体盛土	W<2.5m	0.0
路体盛土	W≥4.0m	1,119.5
路床盛土	W<2.5m	0.0
路床盛土	W≥4.0m	0.0
不足土	防護柵工	0.0
合 計		1,119.5

残土等処分

$$\text{不 足 土} \quad V = \begin{array}{c} \text{必要土} \\ 1,119.5 \end{array} - \begin{array}{c} \text{発生土} \\ 20.7 \end{array} = 1,098.8 \text{ m}^3$$

道 路 土 工 数 量 計 算 書

測 点	単 距 離	種 別	掘 削 工			種 別	掘 削 工			摘 要
		細別・規格	掘削（土砂 オープンカット）			細別・規格	掘削：黒ボク（オープンカット）			
		修正距離	断 面 積	平 均	立 積	修正距離	断 面 積	平 均	立 積	
NO. 0	0.0		0.0				0.0			
NO. 0 +5.00	5.0		0.0				2.2	1.10	5.5	
NO. 1	15.0		0.0				7.5	4.85	72.8	
NO. 2	20.0		0.0				7.7	7.60	152.0	
NO. 2 +10.00	10.0		1.5	0.75	7.5		23.9	15.80	158.0	
NO. 3	10.0		0.4	0.95	9.5		24.8	24.35	243.5	
NO. 4	20.0		0.0	0.20	4.0		24.8 0.0	24.80	213.3	L=8.60
NO. 4 +17.11	17.1		0.0				0.0			NO.4と同断面
NO. 5 +2.11	5.0		0.0				0.0			
NO. 5 +11.11	9.0		0.0				0.0			
NO. 6 +0.11	9.0		0.0				0.0			
NO. 6 +5.40	5.3		0.0				0.0			
合 計	125.4				m3 21.0				m3 845.1	

道 路 土 工 数 量 計 算 書

測 点	単 距 離	種 別	路体盛土工			種 別	路体盛土工			摘 要
		細別・規格	路体盛土 (W<2.5m)			細別・規格	路体盛土 (W≥4.0m)			
		修正距離	断 面 積	平 均	立 積	修正距離	断 面 積	平 均	立 積	
NO. 0	0.0									
NO. 0 +5.00	5.0		0.0				0.0			
NO. 1	15.0		0.0				2.6	1.30	19.5	
NO. 2	20.0		0.0				27.1	14.85	297.0	
NO. 2 +10.00	10.0		0.0				34.5	30.80	308.0	
NO. 3	10.0		0.0				21.5	28.00	280.0	
NO. 4	20.0		0.0				0.0	10.75	215.0	
NO. 4 +17.11	17.1		0.0				0.0			NO.4と同断面
NO. 5 +2.11	5.0		0.0							
NO. 5 +11.11	9.0		0.0							
NO. 6 +0.11	9.0		0.0							
NO. 6 +1.00	1.0		0.0							
合 計	121.1				m3 0.0			m3 1,119.5		

道 路 土 工 数 量 計 算 書

測 点	単 距 離	種 別	路床盛土工			種 別	路床盛土工			摘 要
		細別・規格	路床盛土 (W<2.5m)			細別・規格	路床盛土 (W≥4.0m)			
		修正距離	断 面 積	平 均	立 積	修正距離	断 面 積	平 均	立 積	
NO. 0	0.0									
NO. 0 +5.00	5.0						0.0			
NO. 1	15.0						0.0			
NO. 2	20.0						0.0			
NO. 2 +10.00	10.0						0.0			
NO. 3	10.0						0.0			
NO. 4	20.0		0.0				0.0			
NO. 4 +17.11	17.1		0.0				0.0			NO. 4と同断面
NO. 5 +2.11	5.0		0.0				0.0			
NO. 5 +11.11	9.0		0.0				0.0			
NO. 6 +0.11	9.0		0.0				0.0			
合 計	120.1				m3 0.0				m3 0.0	

道 路 土 工 数 量 計 算 書

測 点	単 距 離	種 別	補強盛土埋戻 左側			種 別				摘 要
		細別・規格	埋戻 (W=1～4m)			細別・規格				
		修正距離	断 面 積	平 均	立 積	修正距離	断 面 積	平 均	立 積	
NO. 1 +0.22			1.9							
NO. 2	19.8		1.9	1.90	37.6					
NO. 2 +10.00	10.0		8.0	4.95	49.5					
NO. 3	10.0		3.3	5.65	56.5					
NO. 3 +8.60	8.6		3.3	3.30	28.4					
合 計	48.4				m3 172.0					

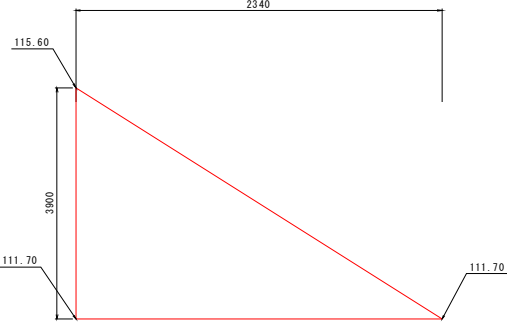
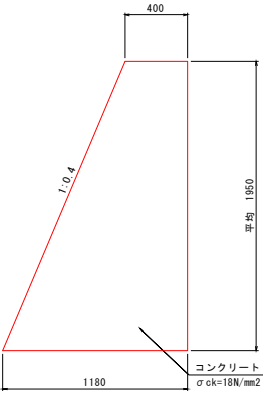
道路土工数量計算書

測 点	単 距 離	種 別	補強盛土埋戻 右側			種 別				摘 要
		細別・規格	埋戻 (W=1～4m)			細別・規格				
		修正距離	断 面 積	平 均	立 積	修正距離	断 面 積	平 均	立 積	
NO. 1 +6.10			1.2							
NO. 2	13.9		1.2	1.20	16.7					
NO. 2 +10.00	10.0		1.4	1.30	13.0					
NO. 3	10.0		1.8	1.60	16.0					
NO. 3 +10.60	10.6		1.8	1.80	19.1					
合 計	44.5				m3 64.8					

擁壁工数量集計表									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]

擁壁工延長調書					
種 別	重力式擁壁工				
細別・規格					
左 側			右 側		
位 置	数 量	摘 要	位 置	数 量	摘 要
			NO. 2 +19.0 付近	2.3	
左側小計	0.0		右側小計	2.3	
左右合計				2.3 m	

重力式擁壁工		10m 当り		構 造 物 単 位 数 量 計 算 書	
構 造 図		名 称	規 格	計 算 式	単位 数 量
擁壁展開図 V=1:20 H=1:50  擁壁平均断面図 S=1:20 		(材料数量)			
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(0.4+1.18) \times 1.95 \times 1/2 \times 10.0$	m3 15.405
		型 枠	小型構造物	$(1.077+1.0) \times 1.95 \times 10.0$	m2 40.502
		(作業土工)			(1.0m当り)
		床 掘	土砂 小規模		m3 —
		埋 戻	土砂 小規模		m3 —

補強盛土工 数量計算書

1号補強盛土 NO.1+1.0付近～SP.2付近

設計数量一覧表

工種	種別	細別	単位	数量	備考
補強盛土工	鋼製枠(ユニット)	H=0.6m	m ²	155.5	6分勾配
			set	216	
	植生土のう	AD-GR-00	m ²	1.4	
			袋	35	
	層厚管理材	SP-70E*BS 1*50	m ²	259.2	
	不織布	MG-5	m ²	0.0	1m幅
	補強拘束ネット	AD-BK2206-2*25	m	0.0	
	補強拘束ネット付植生シート	SG-MTG*GR25	m	259.2	
	ジオテキスタイル (アデム)	HG-36	m ²	112.2	
		HG-50	m ²	288.1	
		HG-60	m ²	443.3	
		HG-80	m ²	0.0	
		HG-100	m ²	311.7	
		HG-120	m ²	0.0	
		HG-150	m ²	0.0	
		HG-200	m ²	0.0	
	壁面強化材	UC-20	m ²	16.2	
		敷設面積計	m ²	1171.5	
	連結金具	AD-JGL*AZ-SET	set	82	
	連結金具(鋼製枠用)	AD-JGU*AZ-SET	set	53	
	固定ピン	AD-D10*200	本	876	ジオテキスタイル
				36	壁面強化材
	碎石(基盤排水層)	C-40	m ³	204.2	
	吸出し防止材(基盤排水層用)	S-100	m ²	282.3	
排水工	水平排水材	EF-3	m	144.4	
	天端排水材	S-300	m ²	192.3	
土工	まき出し・敷き均し・締固め工	購入土	m ³	664.9	

数量計算書

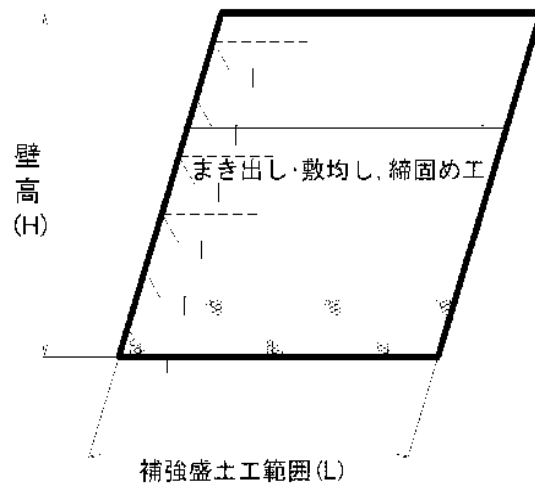
項目	計算式		
鋼製枠(ユニット)	*数量集計表より		
	鋼製枠(ユニット)延長		259.2 m
	*鋼製枠(ユニット)延長(m)/鋼製枠(ユニット)1setあたりの幅(1.2m/set)		
	数量(セット数)	$259.2/1.2=$	216 set
植生土のう	*数量集計表より		
	壁面積		1.4 m ²
	*土のう壁面積(m ²)×1m ² 当たりの土のう数(袋/m ²)		
	数量(袋数)	$1.4 \times 25=$	35 袋
層厚管理材	*数量集計表より		
			259.2 m ²
植生シート	*数量集計表より		
	補強拘束ネット付植生シート		259.2 m
ジオテキスタイル (アダム)	*数量集計表より	(敷設面積)	(敷設延長)
	HG-36	112.2m ²	26.4 m
	HG-50	288.1m ²	58.8 m
	HG-60	443.3m ²	99.6 m
	HG-80	0.0m ²	0.0 m
	HG-100	311.7m ²	63.6 m
	HG-120	0.0m ²	0.0 m
	HG-150	0.0m ²	0.0 m
	HG-200	0.0m ²	0.0 m
壁面強化材	*数量集計表より	(敷設面積)	(敷設延長)
	16.2m ²		10.8 m
連結金具	*HG-36～HG-60:2set/36m ² , HG-80:3set/36m ² , HG-100～HG-150:4set/36m ² , HG-200:5set/36m ² (112.2+288.1+443.3)×2/36+0.0×3/36+(311.7+0.0+0.0)×4/36+0.0×5/36=		
			82 set
連結金具 (鋼製枠用)	*HG-80～HG-200敷設延長/1.2(m)×1(set) (補強材1枚につき1set使用)		
	(0.0+63.6+0.0+0.0+0.0)/1.2=		53 set
固定ピン	*[ジオテキスタイル敷設延長(m)/1.2(m)+隙間部の敷設枚数]×4(本) (補強材1枚につき4本使用)		
	((26.4+58.8+99.6+0.0+63.6+0.0+0.0+0.0)/1.2+12)×4=		876 本
	*壁面強化材敷設延長(m)/1.2(m)×4(本) (補強材1枚につき4本使用)		
	10.8/1.2×4=		36 本
砕石 (基盤排水層)	*基盤排水層数量表より * ロス率 20 %		
	170.2×1.2 =		204.2 m ³
吸出し防止材 (基盤排水層用)	*基盤排水層数量表より		
			282.3 m ²
水平排水材	*数量集計表より		
			144.4 m
天端排水材	*数量集計表より		
			192.3 m ²

数量集計表 (1)

種別	単位	区間名										合計	
		(1)CASE-2	(2)CASE-1	(3)CASE-3	(4)CASE-1	(5)CASE-1	(6)CASE-2	(7)CASE-2					
鋼製枠(ユニット)													
H=0.6m	m	79.2	63.6	7.2	32.4	37.2	18.0	21.6				259.2	
植生土のう													
AD-GR-00	m ²	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1				1.4	
層厚管理材													
SP-70E*BS 1*50	m ²	79.2	63.6	7.2	32.4	37.2	18.0	21.6				259.2	
植生シート													
補強拘束ネット付植生シート	m	79.2	63.6	7.2	32.4	37.2	18.0	21.6				259.2	
ジオテキスタイル (アダム)													
HG-36	m ²	45.3	0.0	26.7	0.0	0.0	15.1	25.1				112.2	
	m	10.8	0.0	7.2	0.0	0.0	3.6	4.8				26.4	
HG-50	m ²	0.0	129.5	0.0	70.4	88.2	0.0	0.0				288.1	
	m	0.0	26.4	0.0	14.4	18.0	0.0	0.0				58.8	
HG-60	m ²	287.3	0.0	0.0	0.0	0.0	60.4	95.6				443.3	
	m	68.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.4	16.8				99.6	
HG-80	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
HG-100	m ²	0.0	158.9	0.0	70.4	82.4	0.0	0.0				311.7	
	m	0.0	32.4	0.0	14.4	16.8	0.0	0.0				63.6	
HG-120	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
HG-150	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
HG-200	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
隙間部敷設枚数	枚	0	0	0	0	0	0	12				12	
壁面強化材													
UC-20	m ²	0.0	7.2	0.0	5.4	3.6	0.0	0.0				16.2	
	m	0.0	4.8	0.0	3.6	2.4	0.0	0.0				10.8	
水平排水材													
EF-3	m	58.8	39.2	3.7	14.7	19.6	4.2	4.2				144.4	
天端排水材													
S-300	m ²	84.5	41.0	7.4	17.9	0.0	15.4	26.1				192.3	

まき出し・敷均し,締固め工 断面図

断面図



* まき出し・敷均し,締固め工の対象は、
ジオテキスタイル敷設範囲とする。

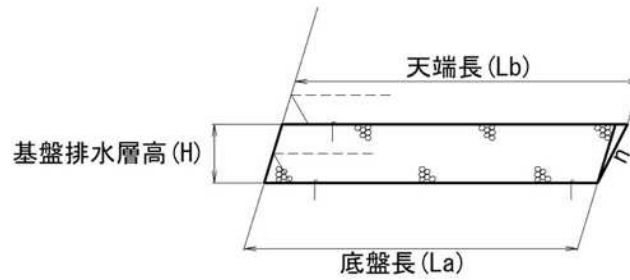
まき出し・敷均し、締固め工数量計算書

まき出し・敷均し、締固め工

[illegible]

基盤排水層数量表

断面図



$$\text{基盤排水層 } V = \{ (La + Lb) \times H / 2 \} \times \text{延長}$$

碎石体積、吸出し防止材

	底盤長 (m)	天端長 (m)	高さ (m)	延長 (m)	碎石体積 (m ³)	吸出し防止材 (m ²)	掘削勾配
1	5.70	5.64	0.60	20.400	69.40	115.06	(1:0.5)
2	6.40	6.34	0.60	7.200	27.52	45.65	(1:0.5)
3	6.40	6.34	0.60	1.042	3.98	6.61	(1:0.5)
4	6.40	6.34	0.60	3.598	13.75	22.81	(1:0.5)
5	6.40	6.34	0.60	6.000	22.93	38.04	(1:0.5)
6	5.70	5.64	0.60	3.600	12.25	20.30	(1:0.5)
7	5.70	5.64	0.60	6.000	20.41	33.84	(1:0.5)
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
				合計	170.24	282.31	

基盤排水層 碎石体積

170.2 m³

吸出し防止材

282.3 m²

数量計算書(1)

区間名： (1)CASE-2

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アダム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13															
12															
11															
10															
9															
8															
7															
6	3.600	3.6	3.600			HG-36	4.2	3.600	15.1	1	4.2	4.2	4.2	20.113	84.5
5	7.200	7.2	7.200			HG-36	4.2	7.200	30.2						
4	12.000	12.0	12.000			HG-60	4.2	12.000	50.4	5	4.2	21.0			
3	15.600	15.6	15.600			HG-60	4.2	15.600	65.5						
2	20.400	20.4	20.400			HG-60	4.2	20.400	85.7	8	4.2	33.6			
1	20.400	20.4	20.400			HG-60	4.2	20.400	85.7						
計	79.200	79.2	79.200	0.000	0.0			79.200	332.6			58.8		20.113	84.5

植生土のう 0.6 (m²)

数量計算書(2)

区間名： (2)CASE-1

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アデム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13															
12															
11															
10															
9	1.200	1.2	1.200			HG-50	4.9	1.200	5.9				4.9	8.369	41.0
8	4.800	4.8	4.800	4.800	7.2					1	4.9	4.9			
7	8.400	8.4	8.400			HG-50	4.9	8.400	41.2						
6	8.400	8.4	8.400			HG-50	4.9	8.400	41.2	4	4.9	19.6			
5	8.400	8.4	8.400			HG-50	4.9	8.400	41.2						
4	8.400	8.4	8.400			HG-100	4.9	8.400	41.2	3	4.9	14.7			
3	8.400	8.4	8.400			HG-100	4.9	8.400	41.2						
2	8.400	8.4	8.400			HG-100	4.9	8.400	41.2						
1	7.200	7.2	7.200			HG-100	4.9	7.200	35.3						
計	63.600	63.6	63.600	4.800	7.2			58.800	288.4			39.2		8.369	41.0

植生土のう 0.2 (m²)

数量計算書(3)

区間名： (3)CASE-3

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アダム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
41															
40															
39															
38															
37															
36															
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13															
12															
11															
10															
9	2.400	2.4	2.400			HG-36	3.7	2.400	8.9				3.7	1.997	7.4
8	2.400	2.4	2.400			HG-36	3.7	2.400	8.9	1	3.7	3.7			
7	2.400	2.4	2.400			HG-36	3.7	2.400	8.9						
計	7.200	7.2	7.200	0.000	0.0			7.200	26.7			3.7		1.997	7.4

植生土のう 0.1 (m²)

数量計算書(4)

区間名： (4)CASE-1

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アデム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
36															
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13															
12															
11															
10	3.600	3.6	3.600			HG-50	4.9	3.600	17.6	1	4.9	4.9	4.9	3.654	17.9
9	3.600	3.6	3.600	3.600	5.4										
8	3.600	3.6	3.600			HG-50	4.9	3.600	17.6	1	4.9	4.9			
7	3.600	3.6	3.600			HG-50	4.9	3.600	17.6						
6	3.600	3.6	3.600			HG-50	4.9	3.600	17.6	1	4.9	4.9			
5	3.600	3.6	3.600			HG-100	4.9	3.600	17.6						
4	3.600	3.6	3.600			HG-100	4.9	3.600	17.6						
3	3.600	3.6	3.600			HG-100	4.9	3.600	17.6						
2	3.600	3.6	3.600			HG-100	4.9	3.600	17.6						
計	32.400	32.4	32.400	3.600	5.4			28.800	140.8			14.7		3.654	17.9

植生土のう 0.1 (m²)

数量計算書(5)

区間名： (5)CASE-1

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アデム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
39															
38															
37															
36															
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13															
12	2.400	2.4	2.400	2.400	3.6					1	4.9	4.9			
11	6.000	6.0	6.000			HG-50	4.9	6.000	29.4						
10	6.000	6.0	6.000			HG-50	4.9	6.000	29.4	2	4.9	9.8			
9	6.000	6.0	6.000			HG-50	4.9	6.000	29.4						
8	6.000	6.0	6.000			HG-100	4.9	6.000	29.4	1	4.9	4.9			
7	6.000	6.0	6.000			HG-100	4.9	6.000	29.4						
6	2.400	2.4	2.400			HG-100	4.9	2.400	11.8						
5	2.400	2.4	2.400			HG-100	4.9	2.400	11.8						
計	37.200	37.2	37.200	2.400	3.6			34.800	170.6			19.6		0.000	0.0

植生土のう 0.1 (m²)

数量計算書(6)

区間名： (6)CASE-2

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アダム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
43															
42															
41															
40															
39															
38															
37															
36															
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13	3.600	3.6	3.600			HG-36	4.2	3.600	15.1				4.2	3.656	15.4
12	3.600	3.6	3.600			HG-60	4.2	3.600	15.1	1	4.2	4.2			
11	3.600	3.6	3.600			HG-60	4.2	3.600	15.1						
10	3.600	3.6	3.600			HG-60	4.2	3.600	15.1						
9	3.600	3.6	3.600			HG-60	4.2	3.600	15.1						
計	18.000	18.0	18.000	0.000	0.0			18.000	75.5			4.2		3.656	15.4

植生土のう 0.2 (m²)

数量計算書(7)

区間名： (7)CASE-2

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アダム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
45															
44															
43															
42															
41															
40															
39															
38															
37															
36															
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16	1.200	1.2	1.200			HG-36	4.2	1.200	5.0				4.2	6.224	26.1
15	3.600	3.6	3.600			HG-36	4.2	3.600	15.1						
14	6.000	6.0	6.000			HG-60	4.2	6.000	25.2	1	4.2	4.2			
13	3.600	3.6	3.600			HG-60	4.2	3.600	15.1						
12	3.600	3.6	3.600			HG-60	4.2	3.600	15.1						
11	3.600	3.6	3.600			HG-60	4.2	3.600	15.1						
計	21.600	21.6	21.600	0.000	0.0			21.600	90.6			4.2		6.224	26.1

植生土のう 0.1 (m²)

数量計算書(7)[隙間部]

区間名: (7)CASE-2 (折れ角度 ー °)

区間名: (7)CASE-2 (折れ角度 ー °)

層	アデム
---	-----

[illegible]

計			12		0		0		0	30.1
	合計									12 枚

天端排水材	m ²
-------	----------------

天端排水材	m ²
-------	----------------

ジオテキスタイル補強土工法
[排水計画工事費]

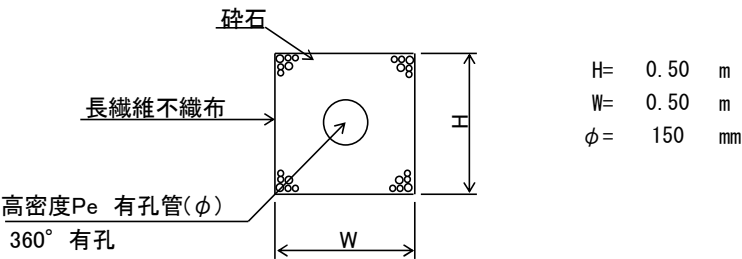
1号補強盛土 NO. 1+1. 0付近～SP. 2付近

設計数量一覧表

名称	規格・仕様	単位	数量	備考
暗渠排水管	φ150, 360° 有孔管	m	45.6	縦断方向
暗渠排水管	φ150 無孔管	m	19.5	横断方向
エルボ管		個	0	縦断方向
T字ジョイント管		個	4	横断方向
十字ジョイント管		個	0	縦断方向
排水材	EM-50*300C	m	0.0	縦排水
	EF-3	m	0.0	上載盛土部
砕石	C-40	m ³	10.6	フィルター材（縦断方向）
		m ³	0.0	フィルター材（横断方向）
		m ³	0.0	縦排水
吸出し防止材	S-100	m ²	91.1	フィルター材（縦断方向）用
		m ²	0.0	フィルター材（横断方向）用
		m ²	0.0	縦排水（砕石）用

縦断方向排水工

断面図



暗渠排水管延長数量表（排水計画図より）

延長		延長		延長		延長	
1	20.410	11		21		31	
2	1.340	12		22		32	
3	3.440	13		23		33	
4	2.400	14		24		34	
5	8.050	15		25		35	
6	2.400	16		26		36	
7	1.240	17		27		37	
8	3.890	18		28		38	
9	2.380	19		29		39	
10		20		30		40	
計	45.550	計	0.000	計	0.000	計	0.000
				合計 45.550 m			

段上がり 箇所

暗渠排水管（φ150, 360° 有孔管）
45.550 m

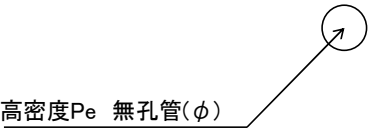
エルボ管
0 × 2 = 0 個 *段上がり部1箇所あたり2個

フィルター材（C-40）
(0.50 × 0.50 - π × 0.075²) × 45.55 = 10.58 m³

不織布（吸出し防止材）
0.50 × 4 × 45.55 = 91.10 m²

横断方向排水工

断面図



暗渠排水管延長数量表（排水計画図より）

管延長		管延長		管延長	
1	4.700	11		21	
2	4.700	12		22	
3	5.400	13		23	
4	4.700	14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	
計	19.500	計	0.000	計	0.000
				合計	19.500 m

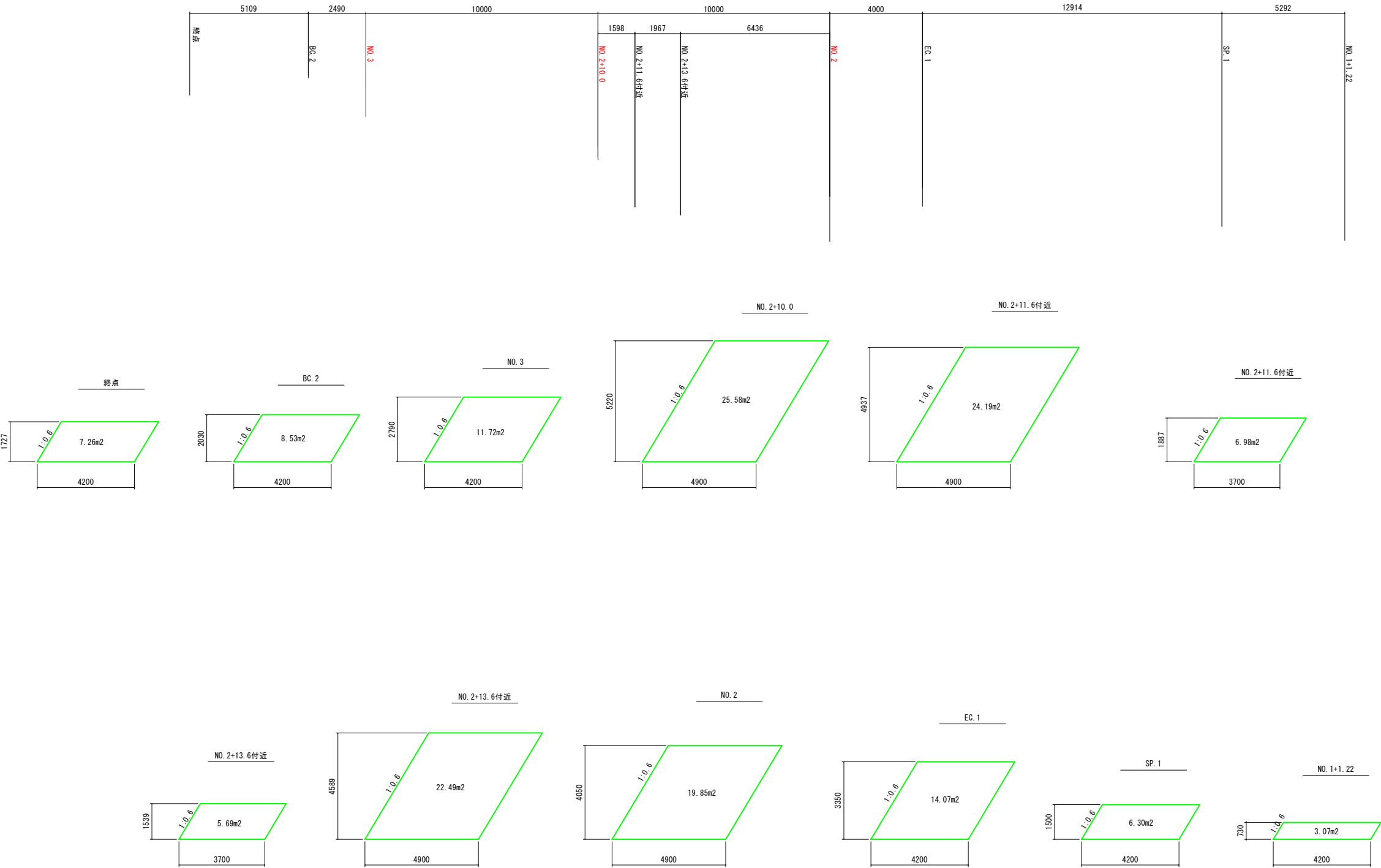
暗渠排水管（φ150，無孔管）
19.500 m

T字ジョイント管
4 × 1 = 4 個 *排水管1本あたり1個

1号補強盛土（ジオテキスタイル）工法数量根拠図(1)

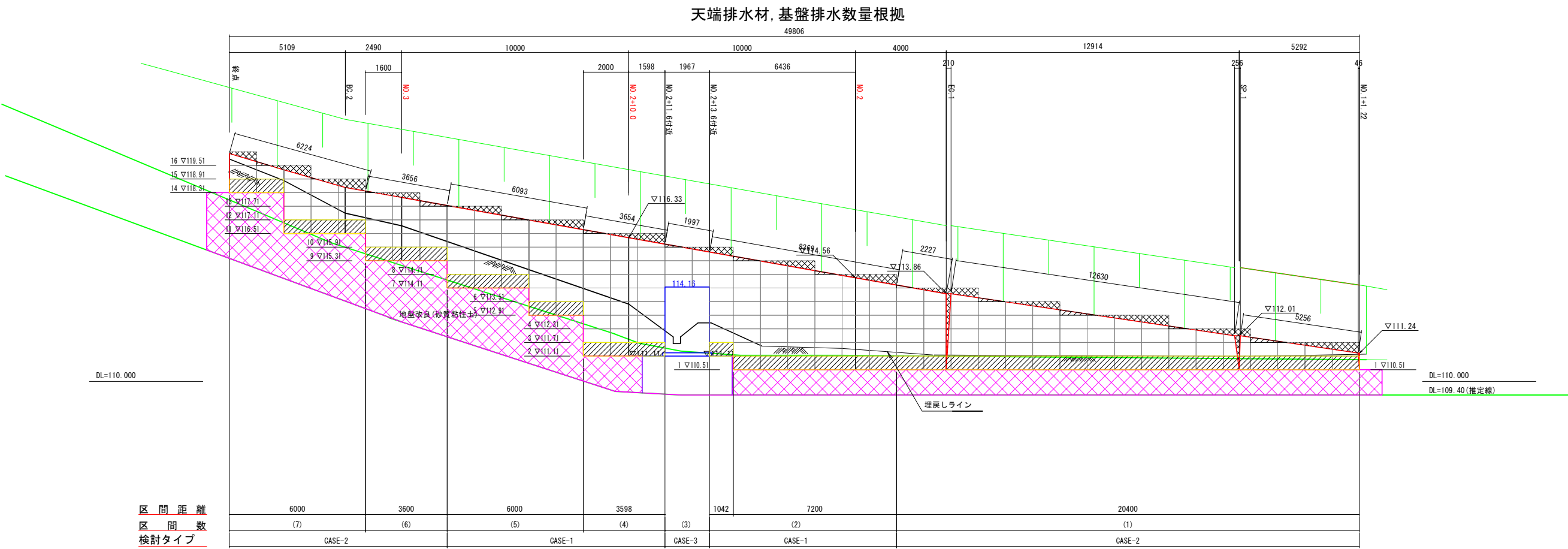
土工数量根拠図

S=1:100

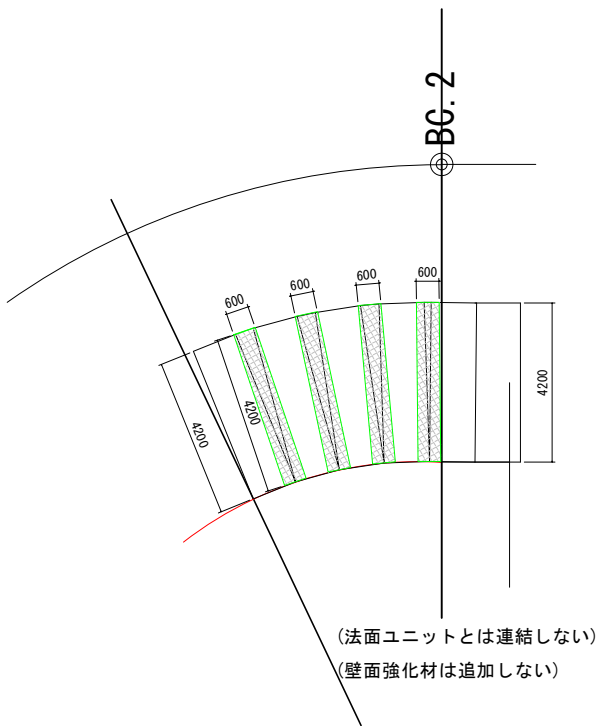


位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	1号補強盛土工法数量根拠図(1)		
単位	MM	縮尺	図示
全 業 中 ノ 内			
令和 8 年度施行			

1号補強盛土（ジオテキスタイル）工法数量根拠図(2)



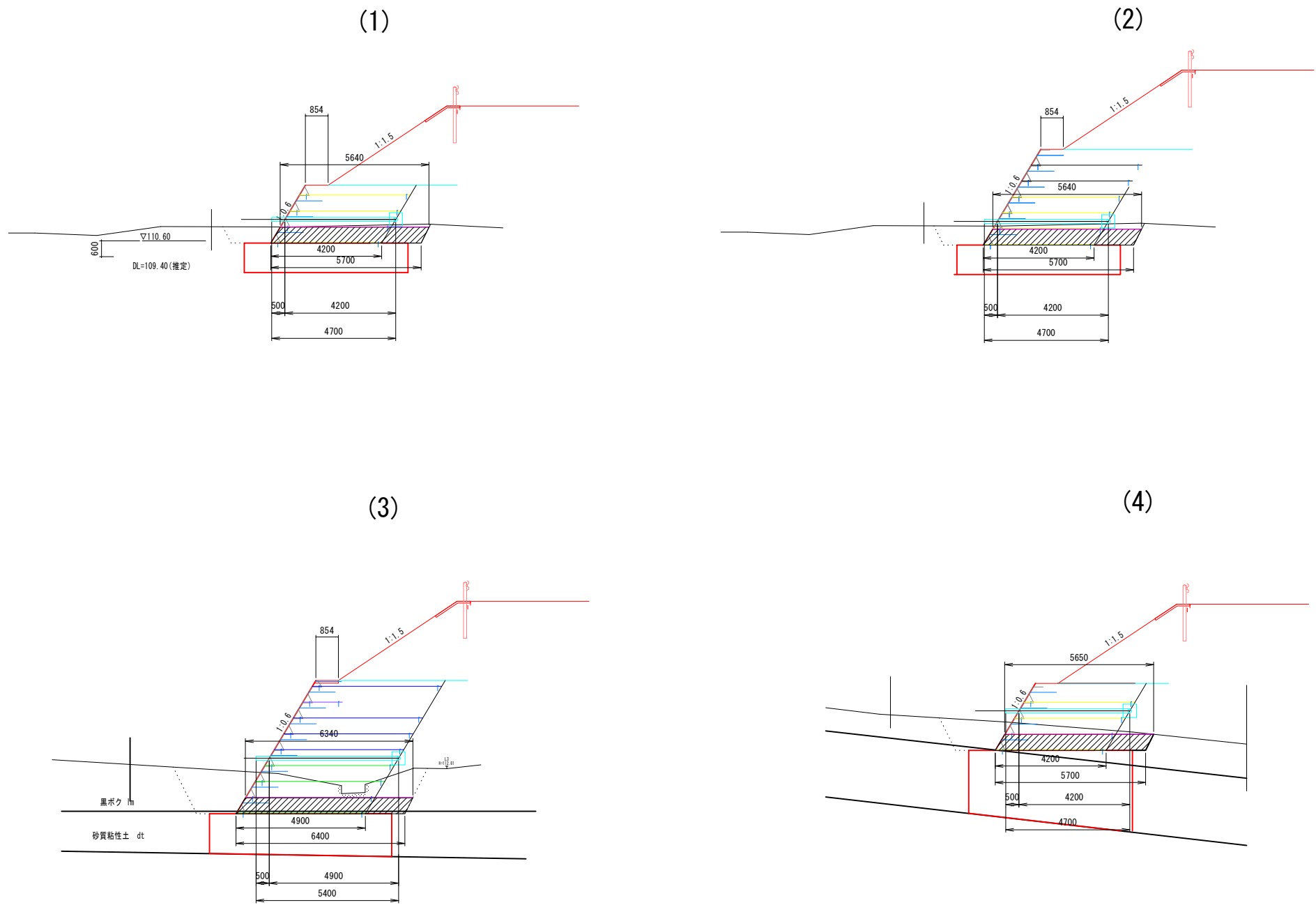
内カーブ部敷設平面図



位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	1号補強盛土工法数量根拠図(2)		
単位	MM	縮尺	図示
全 業 中 ノ 内			
令和 8 年度 施行			

1号補強盛土（ジオテキスタイル）工法数量根拠図(3)

暗渠排水材数量根拠図



位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	1号補強盛土工法数量根拠図(3)		
単位	MM	縮尺	図示
全 業 中 ノ 内			
令和 8 年度 施行			

補強盛土工 数量計算書

2号補強盛土 NO.1+4.0付近～NO.3+8.0付近

設計数量一覧表

工種	種別	細別	単位	数量	備考
補強盛土工	鋼製枠(ユニット)	H=0.6m	m ²	147.6	6分勾配
			set	205	
	植生土のう	AD-GR-00	m ²	1.1	
			袋	28	
	層厚管理材	SP-70E*BS 1*50	m ²	246.0	
	不織布	MG-5	m ²	0.0	1m幅
	補強拘束ネット	AD-BK2206-2*25	m	0.0	
	補強拘束ネット付植生シート	SG-MTG*GR25	m	246.0	
	ジオテキスタイル (アデム)	HG-36	m ²	397.6	
		HG-50	m ²	0.0	
		HG-60	m ²	475.2	
		HG-80	m ²	0.0	
		HG-100	m ²	244.7	
		HG-120	m ²	0.0	
		HG-150	m ²	0.0	
		HG-200	m ²	0.0	
	壁面強化材	UC-20	m ²	25.2	
		敷設面積計	m ²	1142.7	
	連結金具	AD-JGL*AZ-SET	set	76	
	連結金具(鋼製枠用)	AD-JGU*AZ-SET	set	40	
	固定ピン	AD-D10*200	本	852	ジオテキスタイル
				56	壁面強化材
	碎石(基盤排水層)	C-40	m ³	164.3	
	吸出し防止材(基盤排水層用)	S-100	m ²	227.0	
排水工	水平排水材	EF-3	m	158.1	
	天端排水材	S-300	m ²	191.6	
土工	まき出し・敷き均し・締固め工	購入土	m ³	623.4	

数量計算書

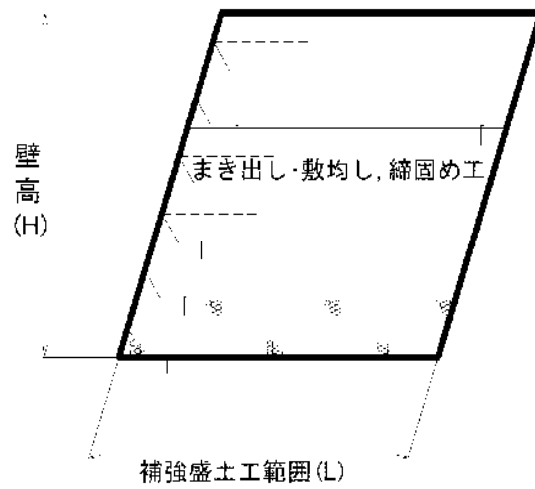
項目	計算式		
鋼製枠(ユニット)	*数量集計表より		
	鋼製枠(ユニット)延長		246.0 m
	*鋼製枠(ユニット)延長(m)/鋼製枠(ユニット)1setあたりの幅(1.2m/set)		
	数量(セット数)	$246.0/1.2=$	205 set
植生土のう	*数量集計表より		
	壁面積		1.1 m ²
	*土のう壁面積(m ²)×1m ² 当たりの土のう数(袋/m ²)		
	数量(袋数)	$1.1 \times 25=$	28 袋
層厚管理材	*数量集計表より		
			246.0 m ²
植生シート	*数量集計表より		
	補強拘束ネット付植生シート		246.0 m
ジオテキスタイル (アダム)	*数量集計表より	(敷設面積)	(敷設延長)
	HG-36	397.6m ²	85.2 m
	HG-50	0.0m ²	0.0 m
	HG-60	475.2m ²	96.0 m
	HG-80	0.0m ²	0.0 m
	HG-100	244.7m ²	48.0 m
	HG-120	0.0m ²	0.0 m
	HG-150	0.0m ²	0.0 m
	HG-200	0.0m ²	0.0 m
壁面強化材	*数量集計表より	(敷設面積)	(敷設延長)
	25.2m ²		16.8 m
連結金具	*HG-36～HG-60:2set/36m ² , HG-80:3set/36m ² , HG-100～HG-150:4set/36m ² , HG-200:5set/36m ² (397.6+0.0+475.2)×2/36+0.0×3/36+(244.7+0.0+0.0)×4/36+0.0×5/36=		
			76 set
連結金具 (鋼製枠用)	*HG-80～HG-200敷設延長/1.2(m)×1(set) (補強材1枚につき1set使用)		
	(0.0+48.0+0.0+0.0+0.0)/1.2=		40 set
固定ピン	*[ジオテキスタイル敷設延長(m)/1.2(m)+隙間部の敷設枚数]×4(本) (補強材1枚につき4本使用)		
	((85.2+0.0+96.0+0.0+48.0+0.0+0.0)/1.2+22)×4=		852 本
	*壁面強化材敷設延長(m)/1.2(m)×4(本) (補強材1枚につき4本使用)		
	16.8/1.2×4=		56 本
砕石 (基盤排水層)	*基盤排水層数量表より * ロス率 20 %		
	136.9×1.2 =		164.3 m ³
吸出し防止材 (基盤排水層用)	*基盤排水層数量表より		
			227.0 m ²
水平排水材	*数量集計表より		
			158.1 m
天端排水材	*数量集計表より		
			191.6 m ²

数量集計表（1）

種別	単位	区間名										合計	
		(1)CASE-2	(2)CASE-1	(3)CASE-3	(4)CASE-1	(5)CASE-2							
鋼製枠(ユニット)													
H=0.6m	m	60.0	104.4	24.0	36.0	21.6						246.0	
植生土のう													
AD-GR-00	m ²	0.2	0.4	0.2	0.1	0.2						1.1	
層厚管理材													
SP-70E*BS 1*50	m ²	60.0	104.4	24.0	36.0	21.6						246.0	
植生シート													
補強拘束ネット付植生シート	m	60.0	104.4	24.0	36.0	21.6						246.0	
ジオテキスタイル (アデム)													
HG-36	m ²	86.2	153.0	48.0	61.2	49.2						397.6	
	m	19.2	30.0	12.0	12.0	12.0						85.2	
HG-50	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
HG-60	m ²	213.9	134.6	38.4	49.0	39.3						475.2	
	m	40.8	26.4	9.6	9.6	9.6						96.0	
HG-80	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
HG-100	m ²	0.0	195.8	0.0	48.9	0.0						244.7	
	m	0.0	38.4	0.0	9.6	0.0						48.0	
HG-120	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
HG-150	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
HG-200	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0	
隙間部敷設枚数	枚	22	0	0	0	0						22	
壁面強化材													
UC-20	m ²	0.0	14.4	3.6	7.2	0.0						25.2	
	m	0.0	9.6	2.4	4.8	0.0						16.8	
水平排水材													
EF-3	m	41.0	71.4	12.0	25.5	8.2						158.1	
天端排水材													
S-300	m ²	60.3	62.2	26.4	23.7	19.0						191.6	

まき出し・敷均し,締固め工 断面図

断面図



* まき出し・敷均し,締固め工の対象は、
ジオテキスタイル敷設範囲とする。

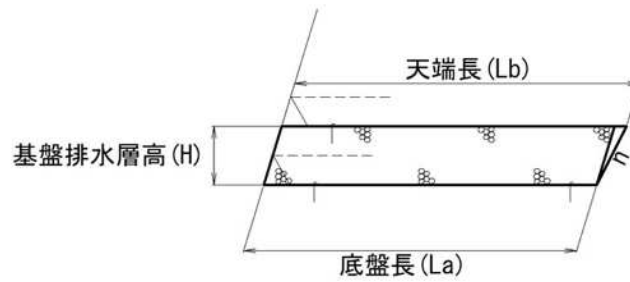
まき出し・敷均し、締固め工数量計算書

まき出し・敷均し、締固め工

[illegible]

基盤排水層数量表

断面図



$$\text{基盤排水層 } V = \{ (La + Lb) \times H / 2 \} \times \text{延長}$$

碎石体積、吸出し防止材

	底盤長 (m)	天端長 (m)	高さ (m)	延長 (m)	碎石体積 (m ³)	吸出し防止材 (m ²)	掘削勾配
1	5.60	5.54	0.60	14.400	48.12	79.78	(1:0.5)
2	6.60	6.54	0.60	13.650	53.81	89.27	(1:0.5)
3	6.60	6.54	0.60	4.800	18.92	31.39	(1:0.5)
4	5.60	5.54	0.60	4.800	16.04	26.59	(1:0.5)
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
				合計	136.89	227.03	

基盤排水層 碎石体積

136.9 m³

吸出し防止材

227.0 m²

数量計算書(1)

区間名： (1)CASE-2

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アデム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13															
12															
11															
10															
9															
8															
7															
6	3.600	3.6	3.600			HG-36	4.1	3.600	14.8	1	4.1	4.1	4.1	14.708	60.3
5	6.000	6.0	6.000			HG-36	4.1	6.000	24.6						
4	9.600	9.6	9.600			HG-36	4.1	9.600	39.4	4	4.1	16.4			
3	12.000	12.0	12.000			HG-60	4.1	12.000	49.2						
2	14.400	14.4	14.400			HG-60	4.1	14.400	59.0	5	4.1	20.5			
1	14.400	14.4	14.400			HG-60	4.1	14.400	59.0						
計	60.000	60.0	60.000	0.000	0.0			60.000	246.0			41.0		14.708	60.3

植生土のう 0.2 (m²)

数量計算書(1)[隙間部]

区間名: (1)CASE-2 (折れ角度 — °)

区間名: (1)CASE-2 (折れ角度 — °)

層	アデム
---	-----

[illegible]

計			22		0		0		0	54.1
	合計 22 枚									

天端排水材	m ²
-------	----------------

天端排水材	m ²
-------	----------------

数量計算書(2)

区間名： (2)CASE-1

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アデム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13															
12															
11															
10	1.200	1.2	1.200	1.200	1.8								5.1	12.187	62.2
9	4.800	4.8	4.800			HG-36	5.1	4.800	24.5						
8	8.400	8.4	8.400	8.400	12.6					3	5.1	15.3			
7	12.000	12.0	12.000			HG-36	5.1	12.000	61.2						
6	13.200	13.2	13.200			HG-36	5.1	13.200	67.3	5	5.1	25.5			
5	13.200	13.2	13.200			HG-60	5.1	13.200	67.3						
4	13.200	13.2	13.200			HG-60	5.1	13.200	67.3	5	5.1	25.5			
3	13.200	13.2	13.200			HG-100	5.1	13.200	67.3						
2	14.400	14.4	14.400			HG-100	5.1	14.400	73.4	1	5.1	5.1			
1	10.800	10.8	10.800			HG-100	5.1	10.800	55.1						
計	104.400	104.4	104.400	9.600	14.4			94.800	483.4			71.4		12.187	62.2

植生土のう 0.4 (m²)

数量計算書(3)

区間名： (3)CASE-3

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アダム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
42															
41															
40															
39															
38															
37															
36															
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13															
12	2.400	2.4	2.400	2.400	3.6								4.0	6.601	26.4
11	4.800	4.8	4.800			HG-36	4.0	4.800	19.2						
10	7.200	7.2	7.200			HG-36	4.0	7.200	28.8	3	4.0	12.0			
9	6.000	6.0	6.000			HG-60	4.0	6.000	24.0						
8	3.600	3.6	3.600			HG-60	4.0	3.600	14.4						
計	24.000	24.0	24.000	2.400	3.6			21.600	86.4			12.0		6.601	26.4

植生土のう 0.2 (m²)

数量計算書(4)

区間名： (4)CASE-1

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アデム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
39															
38															
37															
36															
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14															
13	2.400	2.4	2.400			HG-36	5.1	2.400	12.2				5.1	4.650	23.7
12	4.800	4.8	4.800	4.800	7.2					2	5.1	10.2			
11	4.800	4.8	4.800			HG-36	5.1	4.800	24.5						
10	4.800	4.8	4.800			HG-36	5.1	4.800	24.5	2	5.1	10.2			
9	4.800	4.8	4.800			HG-60	5.1	4.800	24.5						
8	4.800	4.8	4.800			HG-60	5.1	4.800	24.5	1	5.1	5.1			
7	4.800	4.8	4.800			HG-100	5.1	4.800	24.5						
6	2.400	2.4	2.400			HG-100	5.1	2.400	12.2						
5	2.400	2.4	2.400			HG-100	5.1	2.400	12.2						
計	36.000	36.0	36.000	4.800	7.2			31.200	159.1			25.5		4.650	23.7

植生土のう 0.1 (m²)

数量計算書(5)

区間名： (5)CASE-2

層 番 号	壁面材	層厚管理材	植生シート	壁面強化材		アダム				水平排水材			天端排水材		
	延長 (m)	延長×1m巾 (m ²)	設置延長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設面積 (m ²)
43															
42															
41															
40															
39															
38															
37															
36															
35															
34															
33															
32															
31															
30															
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22															
21															
20															
19															
18															
17															
16															
15															
14	2.400	2.4	2.400			HG-36	4.1	2.400	9.8	1	4.1	4.1	4.1	4.634	19.0
13	4.800	4.8	4.800			HG-36	4.1	4.800	19.7						
12	4.800	4.8	4.800			HG-36	4.1	4.800	19.7	1	4.1	4.1			
11	4.800	4.8	4.800			HG-60	4.1	4.800	19.7						
10	2.400	2.4	2.400			HG-60	4.1	2.400	9.8						
9	2.400	2.4	2.400			HG-60	4.1	2.400	9.8						
計	21.600	21.6	21.600	0.000	0.0			21.600	88.5			8.2		4.634	19.0

植生土のう 0.2 (m²)

ジオテキスタイル補強土工法
[排水計画工事費]

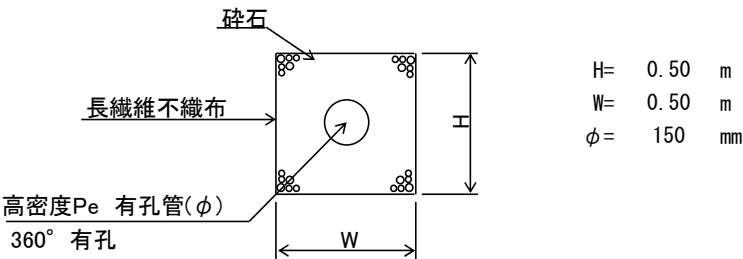
2号補強盛土 NO. 1+4. 0～NO. 3+8. 0付近

設計数量一覧表

名称	規格・仕様	単位	数量	備考
暗渠排水管	φ150, 360° 有孔管	m	34.3	縦断方向
暗渠排水管	φ150 無孔管	m	21.4	横断方向
エルボ管		個	0	縦断方向
T字ジョイント管		個	4	横断方向
十字ジョイント管		個	0	縦断方向
排水材	EM-50*300C	m	0.0	縦排水
	EF-3	m	0.0	上載盛土部
砕石	C-40	m ³	8.0	フィルター材（縦断方向）
		m ³	0.0	フィルター材（横断方向）
		m ³	0.0	縦排水
吸出し防止材	S-100	m ²	68.6	フィルター材（縦断方向）用
		m ²	0.0	フィルター材（横断方向）用
		m ²	0.0	縦排水（砕石）用

縦断方向排水工

断面図



暗渠排水管延長数量表（排水計画図より）

延長		延長		延長		延長	
1	19.200	11		21		31	
2	1.340	12		22		32	
3	3.600	13		23		33	
4	0.600	14		24		34	
5	1.340	15		25		35	
6	1.800	16		26		36	
7	4.020	17		27		37	
8	2.400	18		28		38	
9		19		29		39	
10		20		30		40	
計	34.300	計	0.000	計	0.000	計	0.000
						合計	34.300 m

段上がり 箇所

暗渠排水管（φ150, 360° 有孔管）
34.300 m

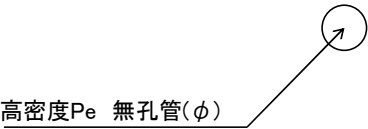
エルボ管
0 × 2 = 0 個 *段上がり部1箇所あたり2個

フィルター材（C-40）
(0.50 × 0.50 - π × 0.075²) × 34.30 = 7.97 m³

不織布（吸出し防止材）
0.50 × 4 × 34.30 = 68.60 m²

横断方向排水工

断面図



暗渠排水管延長数量表（排水計画図より）

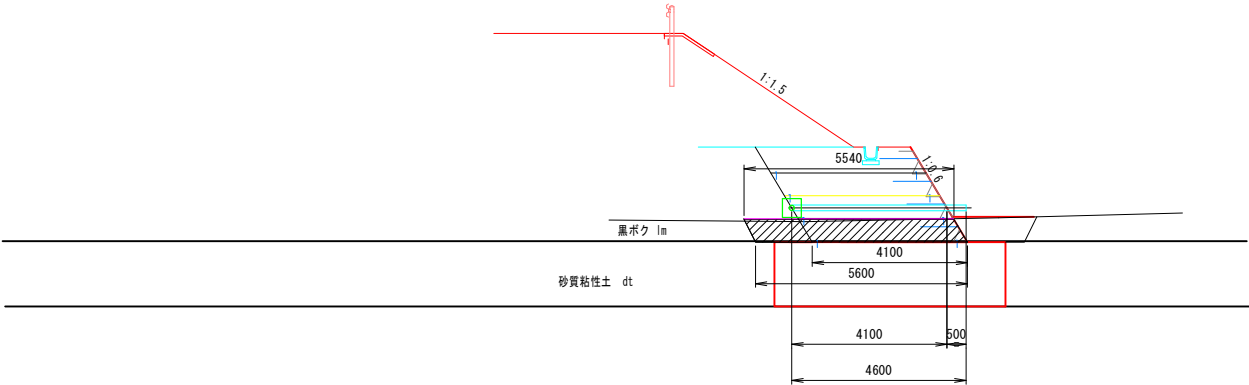
管延長		管延長		管延長	
1	4.600	11		21	
2	5.600	12		22	
3	5.600	13		23	
4	5.600	14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	
計	21.400	計	0.000	計	0.000
				合計	21.400 m

暗渠排水管（φ150，無孔管）
21.400 m

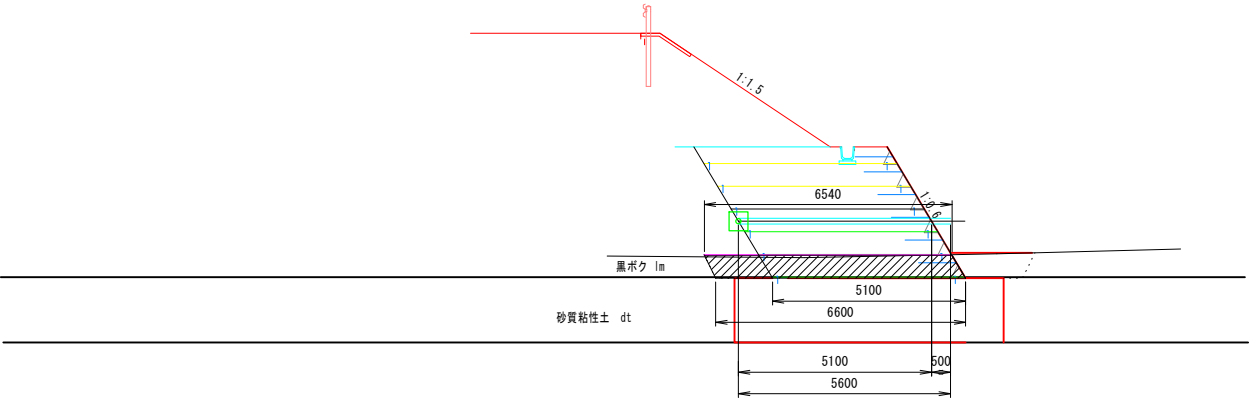
T字ジョイント管
4 × 1 = 4 個 *排水管1本あたり1個

暗渠排水材数量根拠図

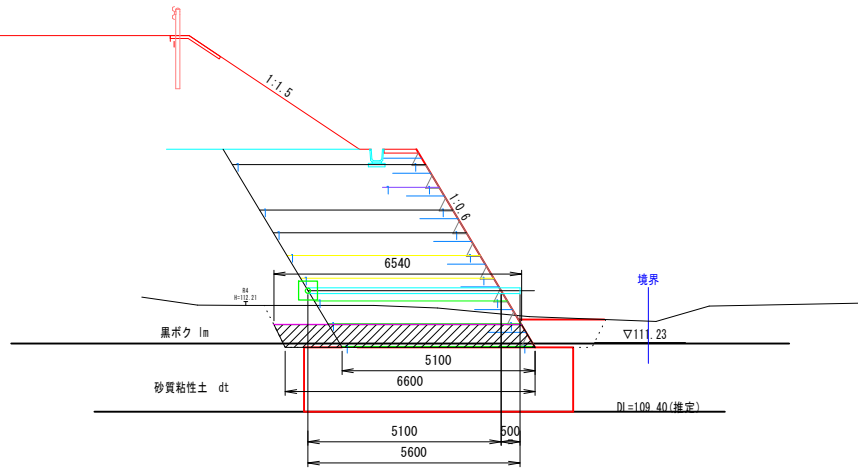
(1)



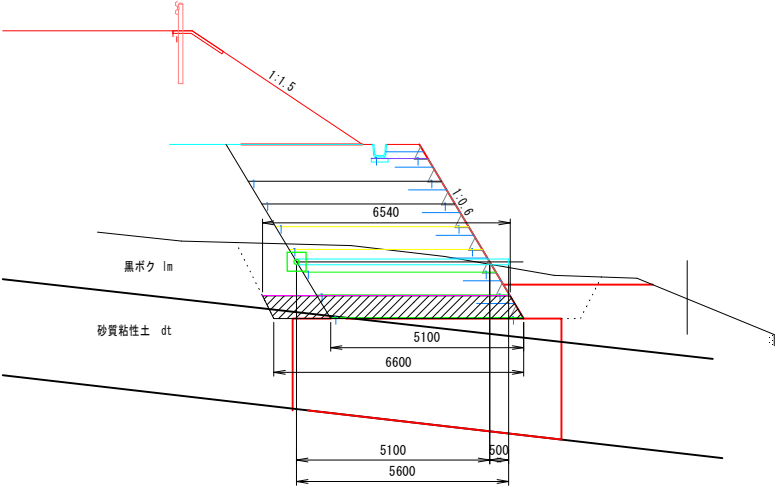
(2)



(3)



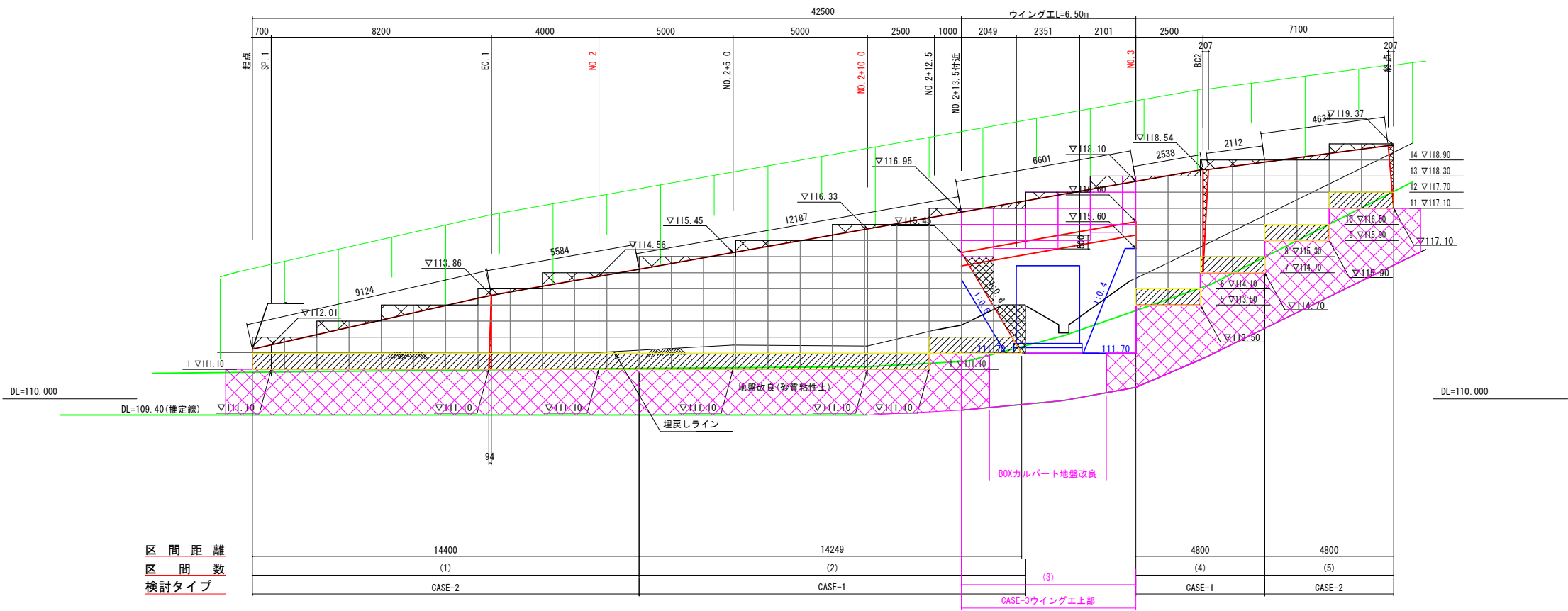
(4)



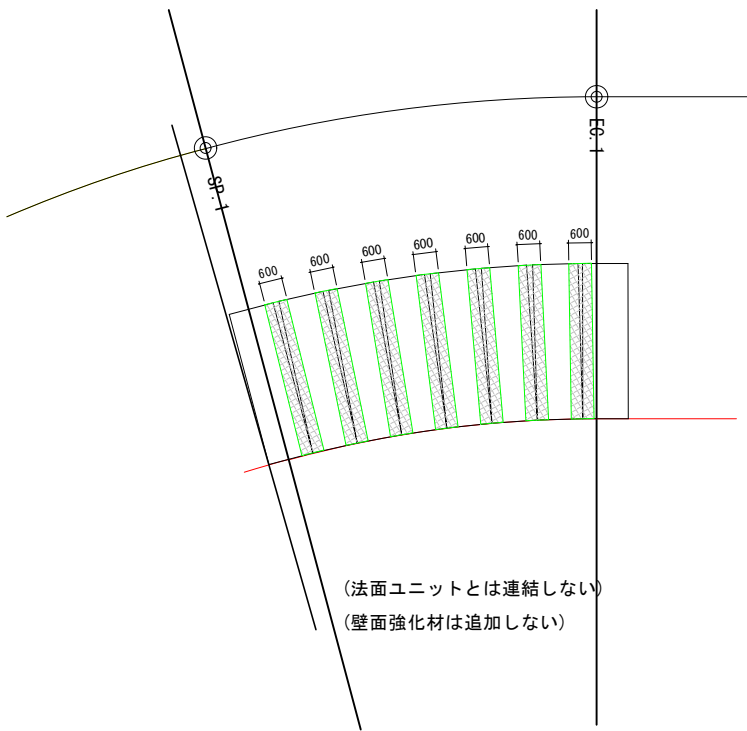
位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	2号補強盛土工法数量根拠図(3)		
単 位	MM	縮尺	図示
全 業 中 ノ 内			
令和 8 年度施行			

2号補強盛土（ジオテキスタイル）工法数量根拠図(2)

天端排水材, 基盤排水数量根拠



内カーブ部敷設平面図

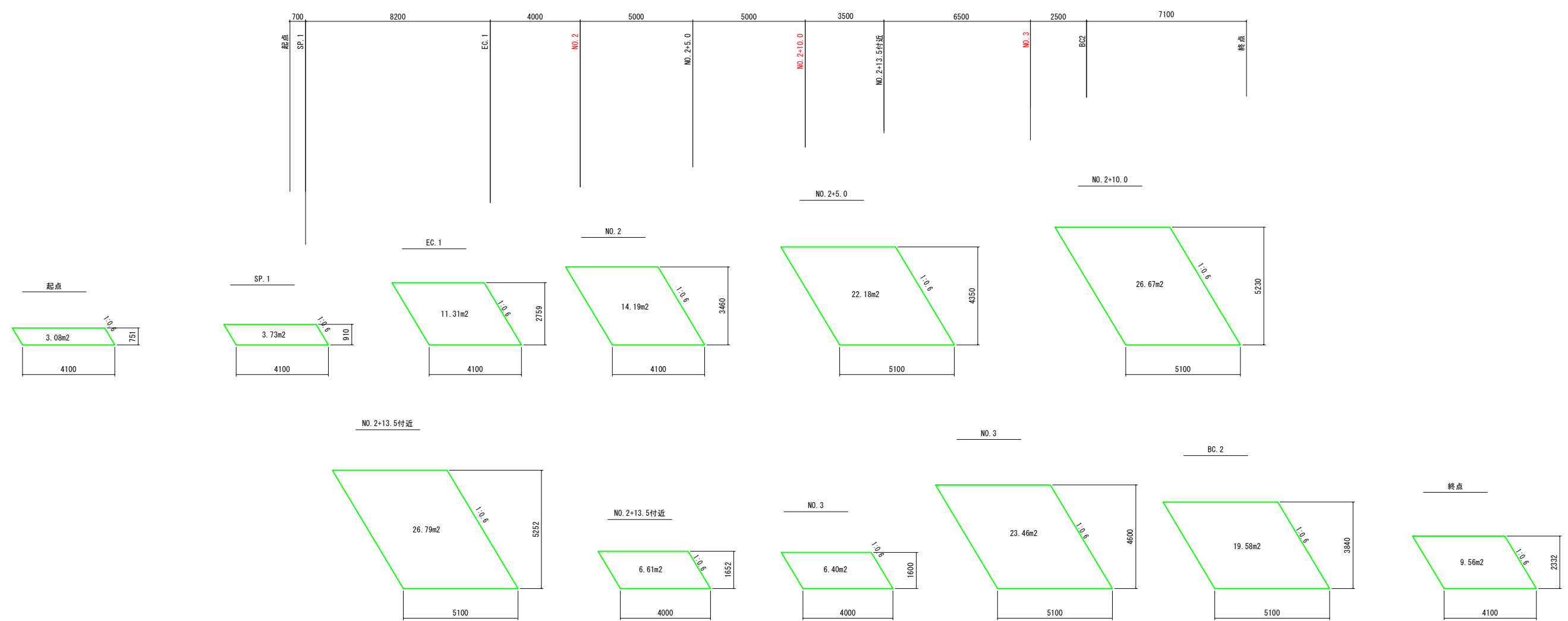


位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	2号補強盛土工法数量根拠図(2)		
単位	MM	縮尺	図示
全 業 中 ノ 内			
令和 8 年度 施行			

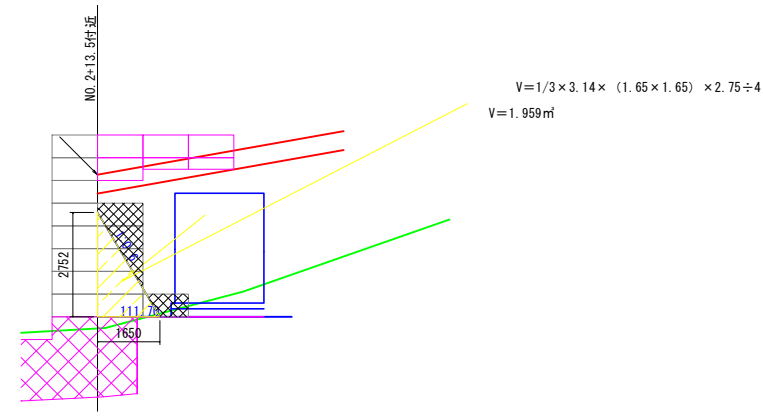
2号補強盛土（ジオテキスタイル）工法数量根拠図(1)

土工数量根拠図

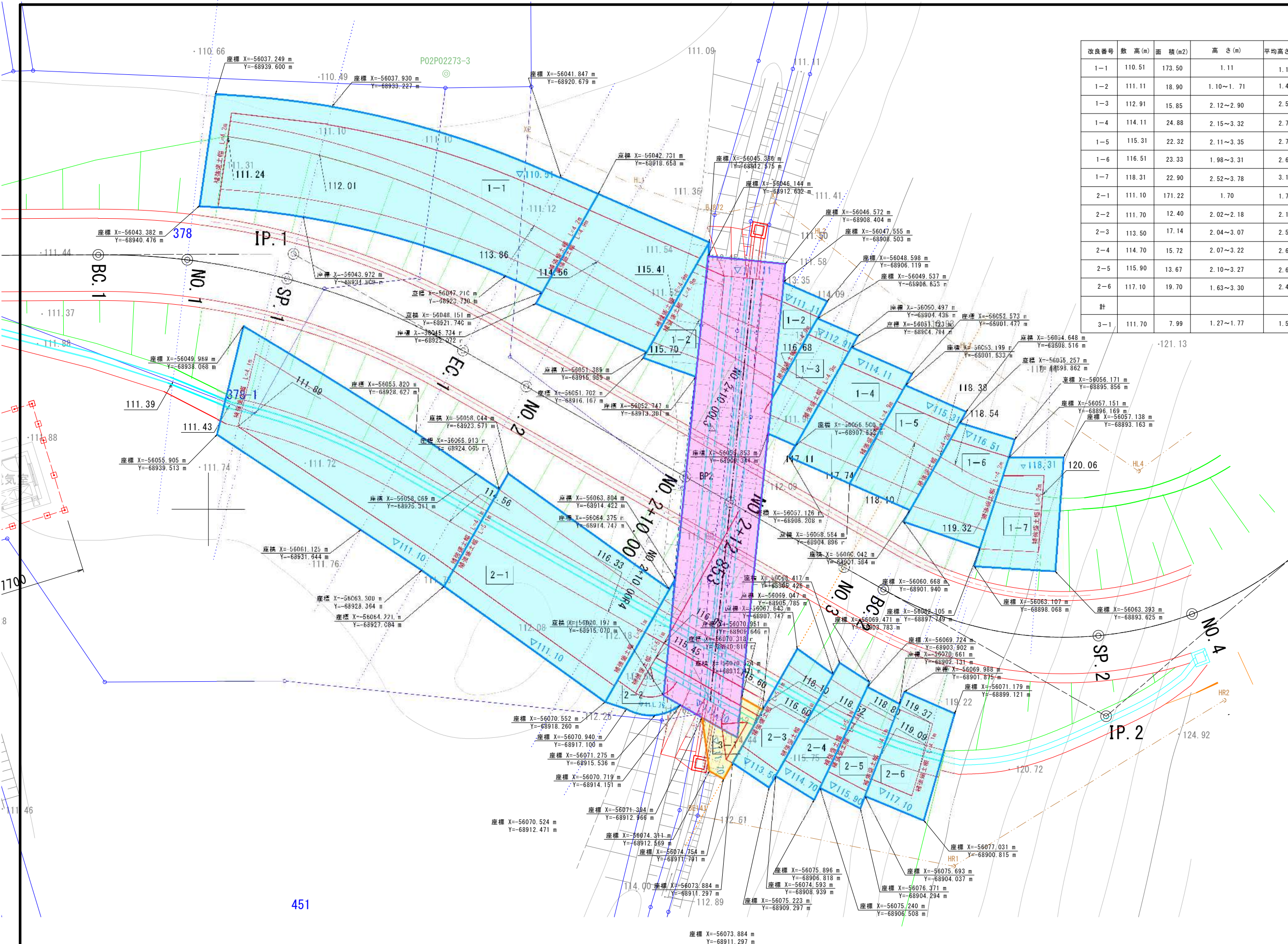
S=1:100



NO. 2+13.5付近 追加土量数量根拠図



位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	2号補強盛土工法数量根拠図(1)		
単位	MM	縮尺	図示
全 業 中 ノ 内			
令和 8 年度施行			



改良番号	敷 高 (m)	面 積 (m2)	高 さ (m)	平均高さ (m)	改良体積 (m3)	改良強度 (KN/m2)
1-1	110.51	173.50	1.11	1.11	192.59	160
1-2	111.11	18.90	1.10~1.71	1.41	26.65	160
1-3	112.91	15.85	2.12~2.90	2.51	39.78	160
1-4	114.11	24.88	2.15~3.32	2.74	68.17	160
1-5	115.31	22.32	2.11~3.35	2.73	60.93	160
1-6	116.51	23.33	1.98~3.31	2.65	61.82	160
1-7	118.31	22.90	2.52~3.78	3.15	72.14	160
2-1	111.10	171.22	1.70	1.70	291.07	160
2-2	111.70	12.40	2.02~2.18	2.10	26.04	160
2-3	113.50	17.14	2.04~3.07	2.56	43.88	160
2-4	114.70	15.72	2.07~3.22	2.65	41.66	160
2-5	115.90	13.67	2.10~3.27	2.69	36.77	160
2-6	117.10	19.70	1.63~3.30	2.47	48.66	160
計					1,010.16	
3-1	111.70	7.99	1.27~1.77	1.52	12.14	180

地盤改良範囲

▽ 改良高さ

一軸圧縮強度 $q_u=160\text{KN/m}^2$
改良粘着力 $C=80\text{KN/m}^2$

▽ 改良高さ

一軸圧縮強度 $q_u=180\text{KN/m}^2$
改良粘着力 $C=90\text{KN/m}^2$

▽B0Xカルバート
改良範囲

一軸圧縮強度 $q_u=180\text{KN/m}^2$
改良粘着力 $C=90\text{KN/m}^2$

位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工 事 名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	地盤改良配置図		
単 位	M,MM	縮 尺	A1=1:100 A3=1:200
全 18 葉 中 ノ 内 17			
令和 8 年度施行			

排水構造物工数量集計表

種 別	細 別	規 格	単位	算 式	数 量	備 考
作業土工						
	床 掘	土砂 小規模	m3		10.1	
	埋 戻	土砂 小規模	m3		7.3	
	(作業残土)	土砂	m3	$10.1 - 7.3 \times 1/0.90$	2.0	
側 溝 工						
	角フリューム	FS-300	m		44.9	
	道路用縦排水路	土羽部	m			
	プレキャスト上ふた式U型側溝	PU3-300B	m			
	横断用自由勾配側溝	FSC-B300-H400	m			
	1号水路工	B350-H300	m			
集水柵・マンホール工						
	1号集水柵	B500-L500-H600	箇所			V=0.292m3
	2号集水柵	B500-L500-H600	箇所			V=0.308m3
	3号集水柵	B500-L500-H500	箇所			V=0.262m3
	4号集水柵	B500-L500-H500	箇所		2.0	V=0.260m3

排水構造物工作業土工集計表

名 称	規 格	延長・箇所	床 掘		埋 戻						備 考
			土砂	小規模	土砂	小規模					
			単位土工	数 量	単位土工	数 量	単位土工	数 量	単位土工	数 量	
道路用縦排水路	土羽部		0.56	0.0	0.34	0.0					単位数量より
横断用自由勾配側溝	FSC-B300-H400		0.81	0.0	0.50	0.0					〃
1号集水桝	B500-L500-H600		2.92	0.0	2.32	0.0					〃
2号集水桝	B500-L500-H600		2.92	0.0	2.32	0.0					〃
3号集水桝	B500-L500-H500		2.59	0.0	2.05	0.0					〃
角フリューム	FS-300 切土部		0.64	0.0	0.48	0.0					排水構造物工 数量根拠図より
プレキャスト上ふた式U型側溝	PU3-300B 管理用道路部										〃
プレキャスト上ふた式U型側溝	PU3-300B 配水池部										〃
4号集水桝	B500-L500-H500	2.0	2.59	5.2	2.05	4.1					単位数量より
1号水路工	B350-H300	5.5	0.89	4.9	0.59	3.2					単位数量より
合 計				m3 10.1		m3 7.3					

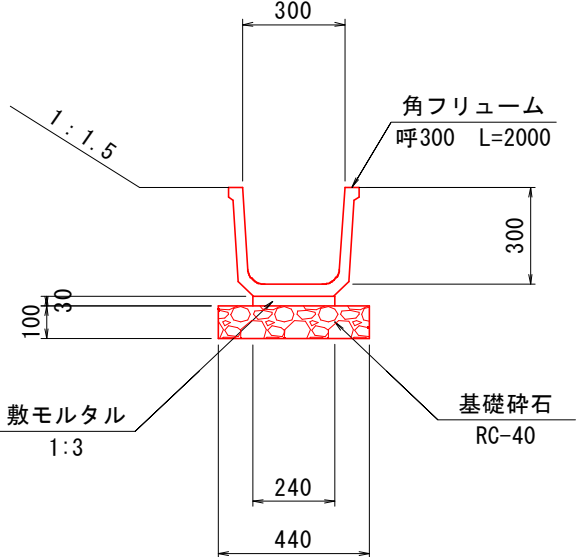
排水構造物工延長調書

種 別	側 溝 工				
細別・規格	角フリューム (FS-300)				
左 側			右 側		
位 置	数 量	摘 要	位 置	数 量	摘 要
			NO. 1 +3.1 ~ NO. 3 +8.0	44.9	
左側小計	0.0		右側小計	44.9	
左右合計				44.9 m	

排水構造物工延長調書					
種 別	側 溝 工				
細別・規格	1号水路工 (B350-H300)				
左 側			右 側		
位 置	数 量	摘 要	位 置	数 量	摘 要
NO. 2+8 付近	2.3		NO. 2 +18.0 付近	3.2	
左側小計	2.3		右側小計	3.2	
左右合計				5.5 m	

排水構造物工延長調書

種 別	集水桝・マンホール工				
細別・規格	集水桝				
左 側			右 側		
位 置	数 量	摘 要	位 置	数 量	摘 要
NO. 0 付近		2号集水桝	NO. 0 付近		1号集水桝
NO. 2+8 付近	1.0	4号集水桝	NO. 2 +18.0 付近	1.0	4号集水桝
			NO. 3 +19.6 付近		3号集水桝
左側小計	1.0		右側小計	1.0	
			左右合計 2.0 箇所		

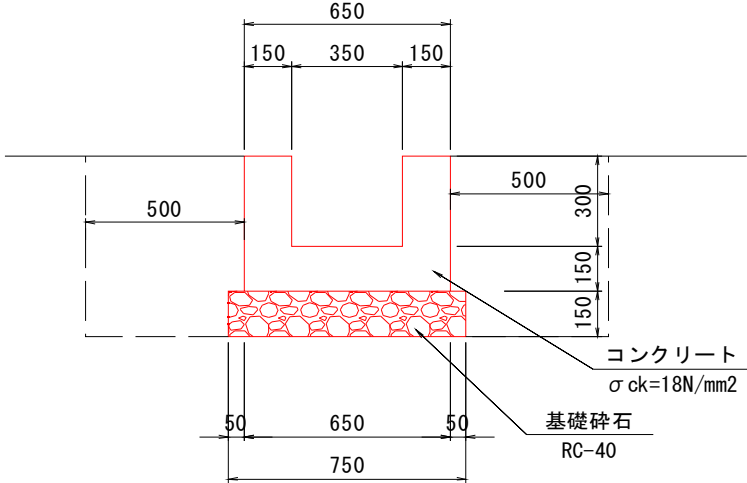
角フリューム (FS-300)		10m 当り	構 造 物 単 位 数 量 計 算 書		
構 造 図		名 称	規 格	計 算 式	単 位 数 量
		(材料数量)			
		角フリューム	呼300 L=2000	鳥取県小構造物標準設計図集より	個 5.0
		敷モルタル	1:3	〃	m3 0.072
		基礎碎石	RC-40 t=100	〃	m2 4.400
		(作業土工)			(1.0m当り)
		床 掘	土砂 小規模	別途算出	m3
		埋 戻	土砂 小規模	〃	m3

4号集水桝 (B500-L500-H500)

1箇所 当り

構 造 物 単 位 数 量 計 算 書

構 造 図	名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
	(材料数量)				
	コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.800 \times 0.800 \times 0.650 - 0.500 \times 0.500 \times 0.500 - (0.300 \times 0.350) \times 0.150 \times 2$	m3	0.260
	型 枠	小型構造物	$(0.800 + 0.500) \times 0.650 \times 4 - (0.300 \times 0.350) \times 4$	m2	2.960
	基礎碎石	RC-40 t=150	0.900×0.900	m2	0.810
	(作業土工)				(1箇所当り)
	床 掘	土砂 小規模	$1.800 \times 1.800 \times 0.800$	m3	2.59
	埋 戻	土砂 小規模	$2.59 - 0.900 \times 0.900 \times 0.150 - 0.800 \times 0.800 \times 0.650$	m3	2.05

1号水路工 (B350-H300)		10m 当り		構 造 物 単 位 数 量 計 算 書	
構 造 図		名 称	規 格	計 算 式	単 位 数 量
		(材料数量)			
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(0.65 \times 0.45 - 0.35 \times 0.30) \times 10.0$	m31.875
		型 枠	小型構造物	$0.45 \times 4 \times 10.0$	m218.000
		基礎碎石	RC-40 t=150	0.75×10.0	m27.500
		(作業土工)			(1m当り)
		床 掘	土砂 小規模	$1.65 \times 0.6 - 0.35 \times 0.3$	m30.89
		埋 戻	土砂 小規模	$0.89 - (0.1875 + 0.75 \times 0.15)$	m30.59

構 造 物 撤 去 工 数 量 集 計 表									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]

構造物撤去工数量根拠図

S=1 : 400

舗装版破碎 (t=5cm)
A=7.6m2

舗装版切断 (t≦10cm)
L=12.9m

コンクリート構造物取壊
(鉄筋構造物)
L=10.6m

コンクリート構造物取壊
(鉄筋構造物)
L=30.5m

WBM.2
H=129.906

IP		IP間方向角		曲		線		長		IP間距離		X座標		Y座標	
NO.0		89-45-41		IA		R		TL		SL		CL		IP間距離	
IP.1		119-37-43		29-55-02		40.000		10.687		1.403		20.886		56046.142	
IP.2		49-30-00		70-07-43		20.000		14.038		4.435		24.480		56071.329	
NO.4-0.11														56040.690	



仮 設 工 数 量 集 計 表									
-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

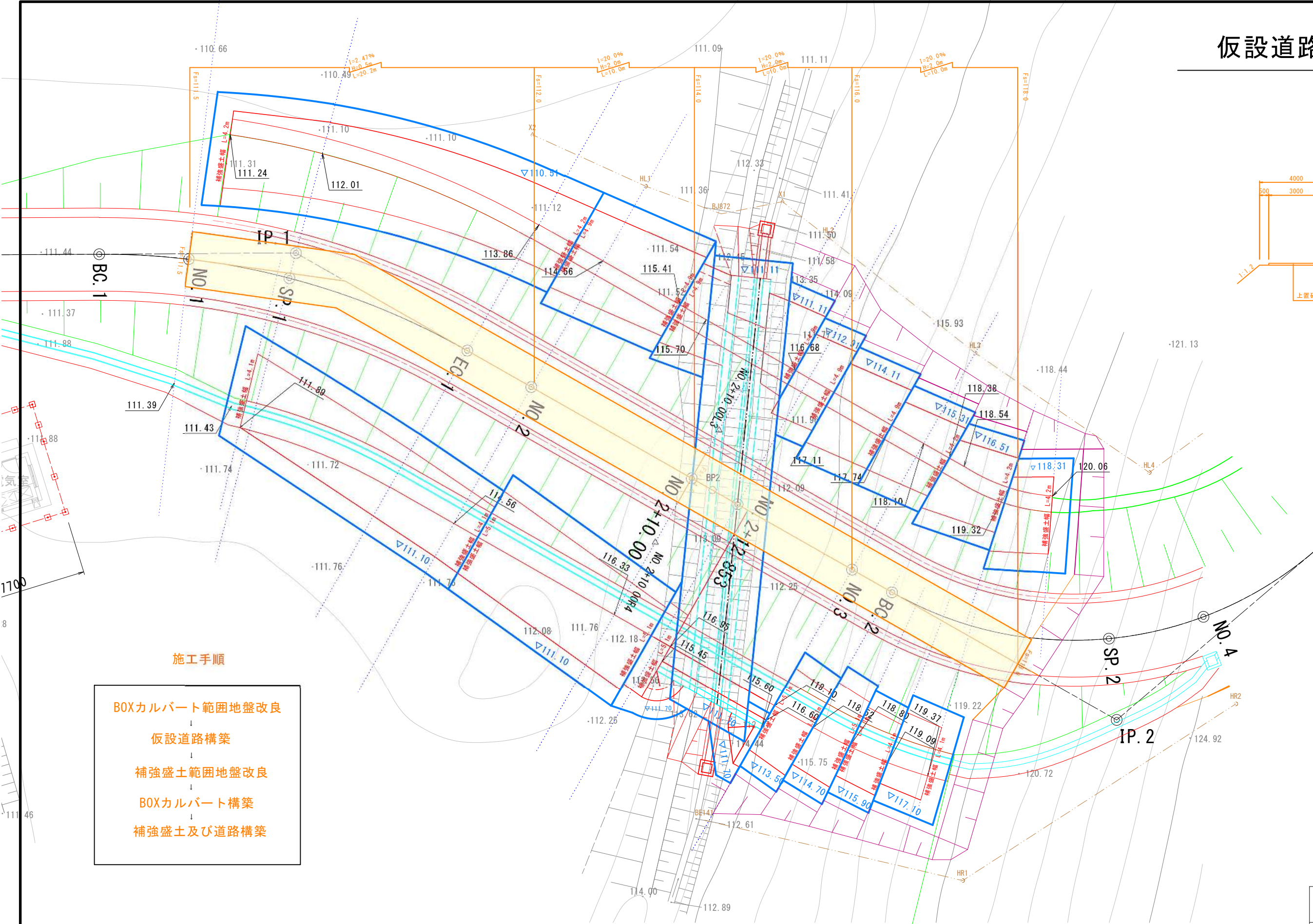
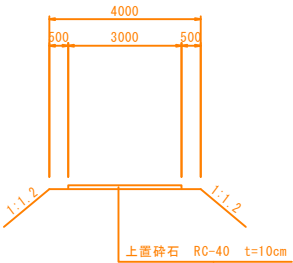
[illegible]

仮設道路工数量計算書

測 点	単 距 離	種 別	仮設道路舗装工数量計算書			種 別	仮設盛土			摘 要
		細別・規格	路盤（再生クラッシャーラン RC-40 t=100mm）			細別・規格	路体盛土			
		修正距離	幅	平 均	面 積	修正距離	断 面	平 均	立 積	
NO. 0 +5.00	0.0									
NO. 1	15.0		3.00				2.6	1.30	19.5	
NO. 2	20.0		3.00	3.000	60.0		2.0	2.30	46.0	
NO. 2 +10.00	10.0		3.00	3.000	30.0		7.7	4.85	48.5	
NO. 3	10.0		3.00	3.000	30.0		0.9	4.30	43.0	
NO. 3 +11.00	10.0		3.00	3.000	30.0		0.9	0.90	9.0	
合 計	65.0				m2 150.0				m2 166.0	

仮設道路計画

S=1:100



施工手順

- BOXカルバート範囲地盤改良
- ↓
- 仮設道路構築
- ↓
- 補強盛土範囲地盤改良
- ↓
- BOXカルバート構築
- ↓
- 補強盛土及び道路構築

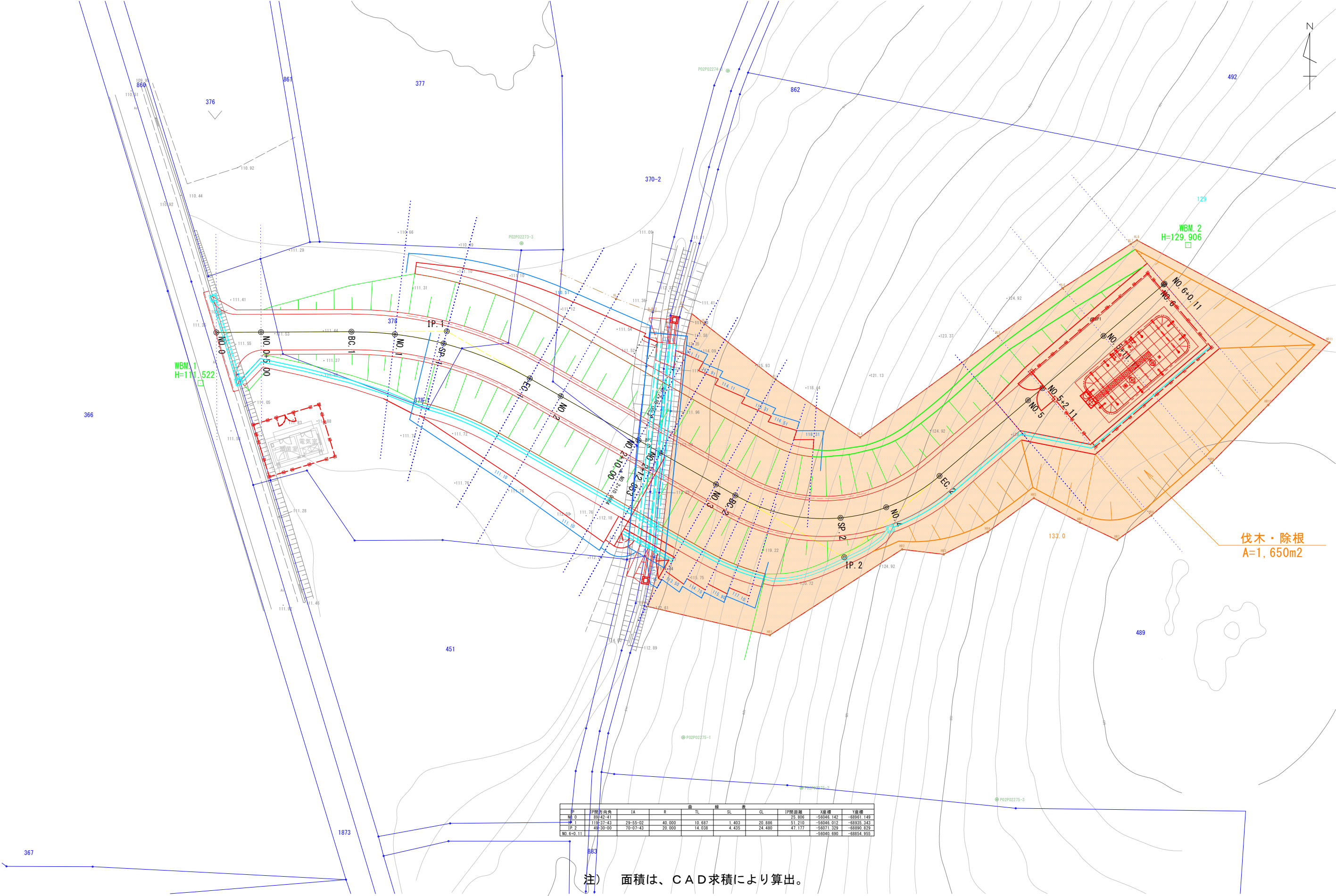
地盤改良範囲

▽ 改良高さ

位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導水管路整備工事		
図名	仮設道路計画		
単位	M,MM	縮尺	A1=1:100 A3=1:200
全 18 葉 中 ノ 内 18			
令和 8 年度施行			

伐木除根数量根拠図

S=1 : 400



カルバート工数量計算書

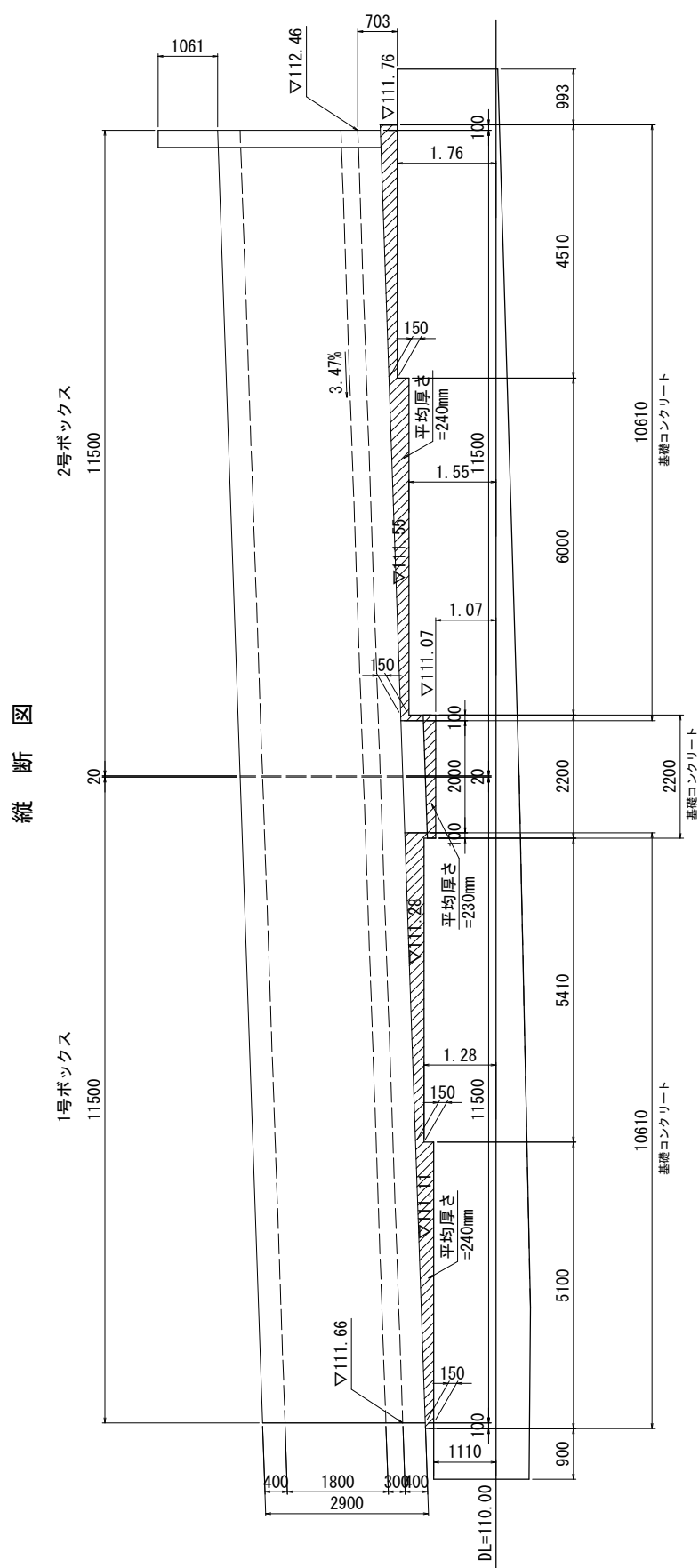
4.1 数量総括表

カルバート工集計表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量				摘要
				1号ボックス	2号ボックス	枕	合計	
ボックス本体工								
	基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$, 平均厚 $t=230\text{cm}\sim 240\text{cm}$	m^3	6.0	6.0	1.6	13.6	
	基礎コンクリート型枠		m^2	5.7	5.7	2.5	13.9	
	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m^3	39.6	46.8	3.0	89.4	
	鉄筋	SD345 D13	kg	1,682	1,894	9	3585	
		SD345 D16～D25	kg	1,251	1,420	311	2982	
		SD345 D29～D32	kg	0	1,115	—	1115	
	型枠		m^2	134.7	165.0	7.8	307.5	
	止水板	B型、 $W=200$	m	—	8.5	—	8.5	
	目地材	$t=20\text{mm}$	m^2	—	3.4	1.6	5.0	
	支保工	パイプ架橋支保工 $h<4\text{m}$, $w:40\text{kN/m}^2$ 以下	空 m^3	32	32	—	64	h:最大設置高 w:支保耐力
		くさび結合支保工 $h\leq 30\text{m}$, $w:40\text{kN/m}^2$ を 超え 80kN/m^2 以下	空 m^3	—	2	—	2	
	足場工	枠組足場 $h\leq 30\text{m}$	掛 m^2	86	95	—	181	
水路壁工	ボックス内水路 コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	0.5	0.5	—	1.0	(ボックス内)
	型枠		m^2	7.0	7.0	—	14.0	(ボックス内)
舗装工		土砂	m^3	3.5	3.5	—	7.0	(ボックス内)
作業土工	床掘り	土砂	m^3				289.7	
	埋戻し	最大埋戻し幅 1m以上4m未満	m^3				227.6	
	基面整正		m^2				54.5	

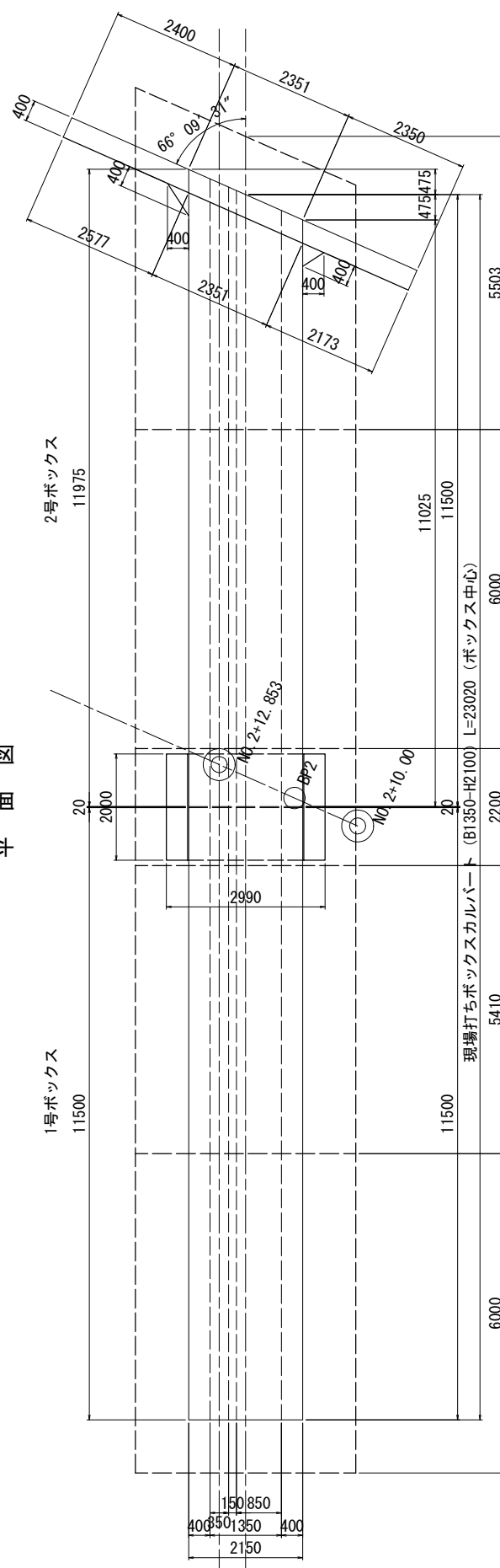
4.2 ボックスカルバート数量

ボックスカルバート数量計算



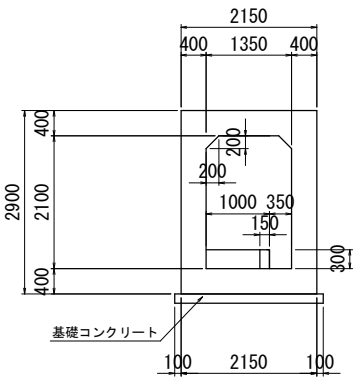
ボックスカルバート数量計算

平面図

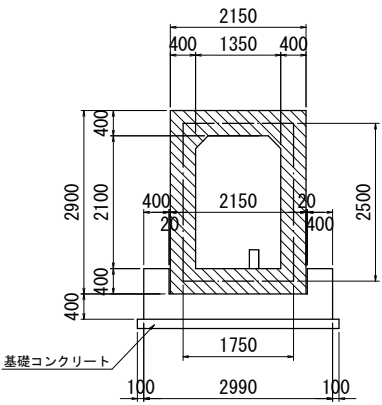


ボックスカルバート数量計算

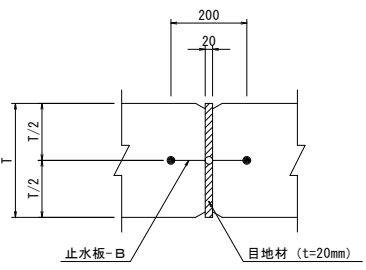
断面図



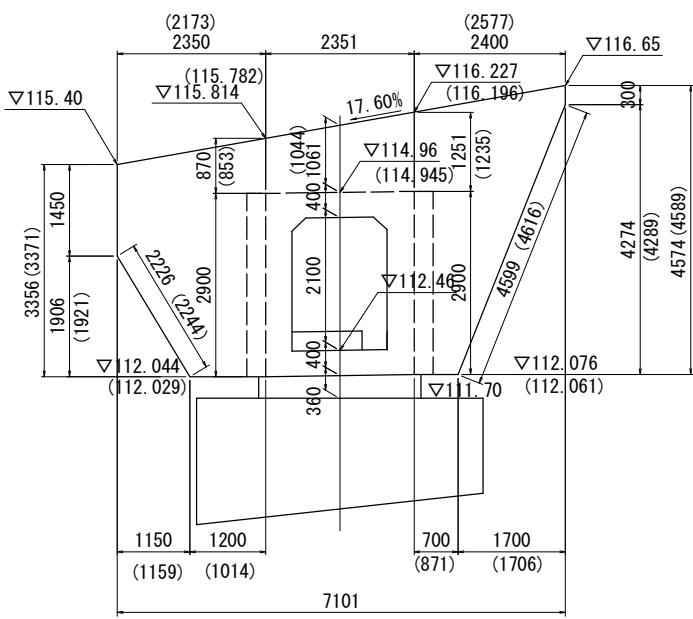
目地部断面図



伸縮継手
(I 型)

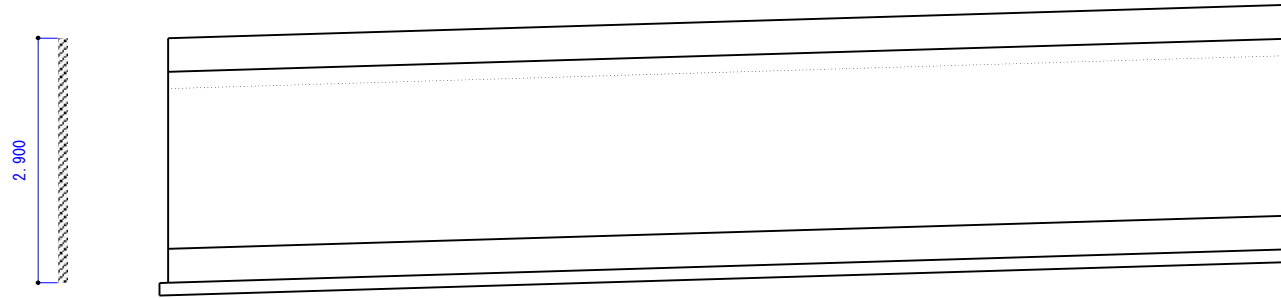


翼壁正面図

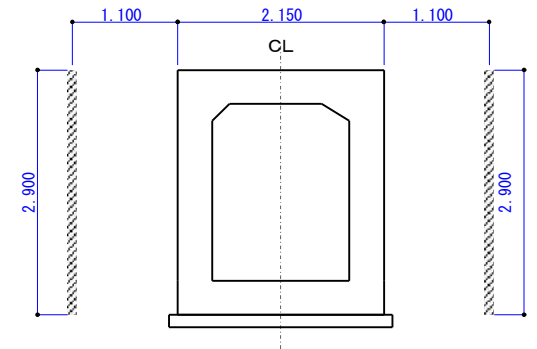


1号ボックス足場根拠図

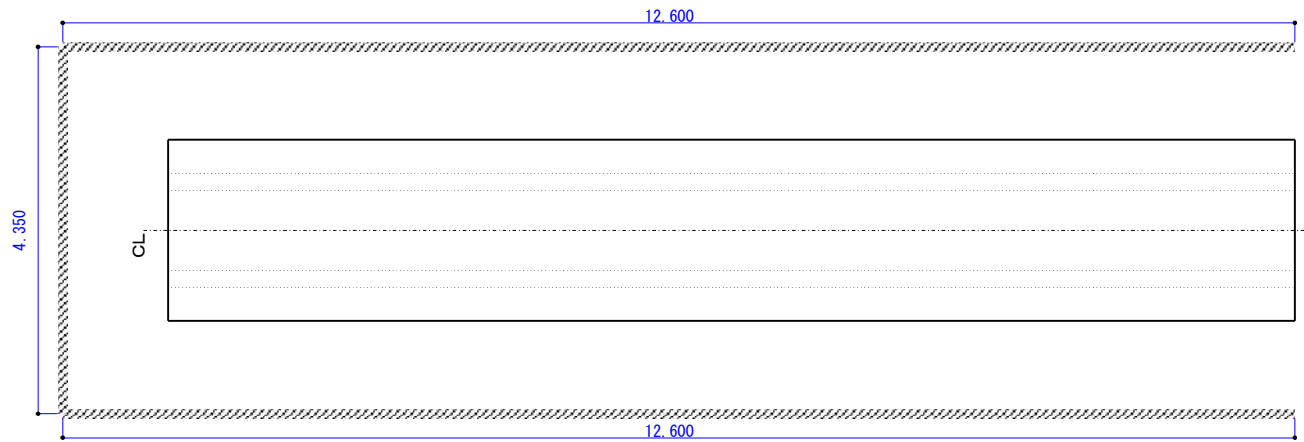
縦断図



断面図

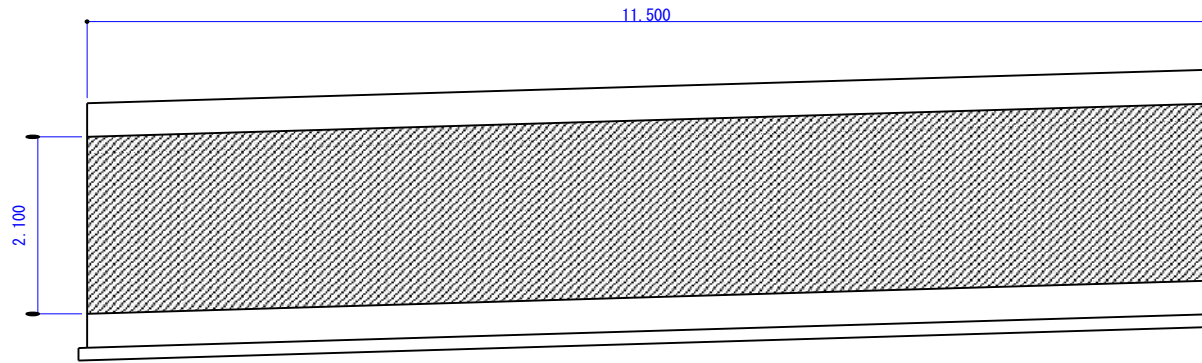


平面図

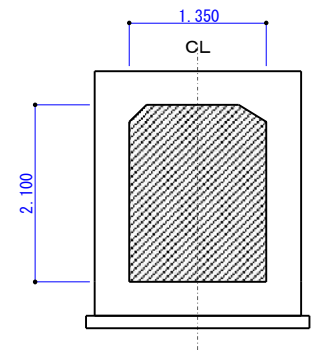


1号ボックス支保根拠図

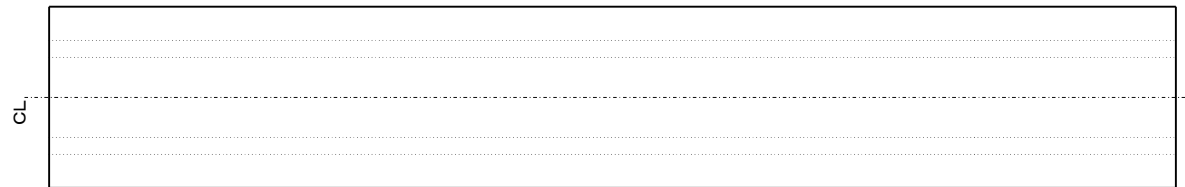
縦断図



断面図



平面図

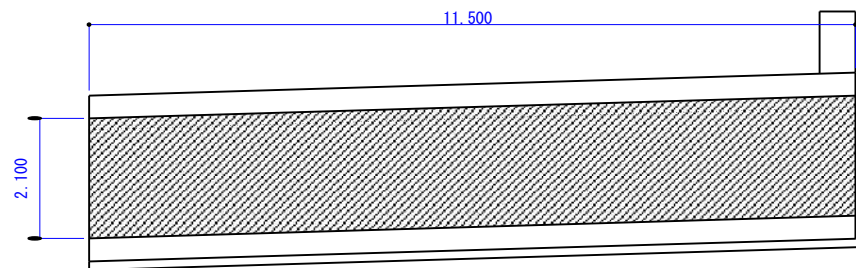


1号ボックス				
細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
コンクリート	【 σ ck=24N/mm2】	底版		
		v= 2.150×0.400×11.500 = 9.890 m ³	m ³	9.9
		Σ v=		
		側壁		
		v1= 0.400×2.100×11.500 = 9.660 m ³	m ³	19.8
		v2= 0.400×2.100×11.500 = 9.660 "		
		v3= 1/2×0.200×0.200×11.500×2 = 0.460 "		
		Σ v=		
		頂版		
v= 2.150×0.400×11.500 = 9.890 m ³	m ³	9.9		
Σ v=				
	合計 Σ v= m ³		39.6	
鉄筋	【SD345】	・ボックス		
		D13 1,682 kg	kg	2933
		D16～D25 1,251 "		
		D29～D32 0 "		
		2,933 "		
		Σ w=		

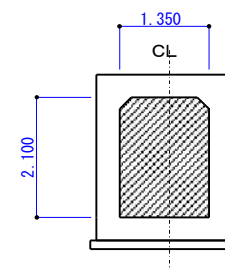
1号ボックス				
細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
型枠		底版		
		A1= 0.400×11.500×2	= 9.200 m ²	
		A2= 0.400×2.150×2	= 1.720 "	
		ΣA=	m ²	10.9
		側壁		
		A1= 2.100×11.500×2	= 48.300 m ²	
		A2= 1.900×11.500×2	= 43.700 "	
		A3= 0.283×11.500×2	= 6.509 "	
		A4= 0.400×2.100×2	= 1.680 "	
		A5= 0.400×2.100×2	= 1.680 "	
		A6= 1/2×0.200×0.200×2×2	= 0.080 "	
		ΣA=	m ²	101.9
		頂版		
		A1= 0.400×11.500×2	= 9.200 m ²	
		A2= 0.950×11.507	= 10.932 "	
A3= 0.400×2.150×2	= 1.720 "			
ΣA=	m ²	21.9		
支保		合計 ΣA=	m ²	134.7
		【パイプサポート支保工 (h<4.0m, 支保耐力40kN/m2以下)】		
		v1= 1.350×2.100×11.500	= 32.603 空m ³	
		v2= -1/2×0.200×0.200×11.500×2	= -0.460 "	
		Σ v=	空m ³	32
足場		【枠組足場、h≦30m】		
		A= (12.600+4.350+12.600)×2.900	= 85.695 掛m ²	
		ΣA=	掛m ²	86

2号ボックス支保根拠図

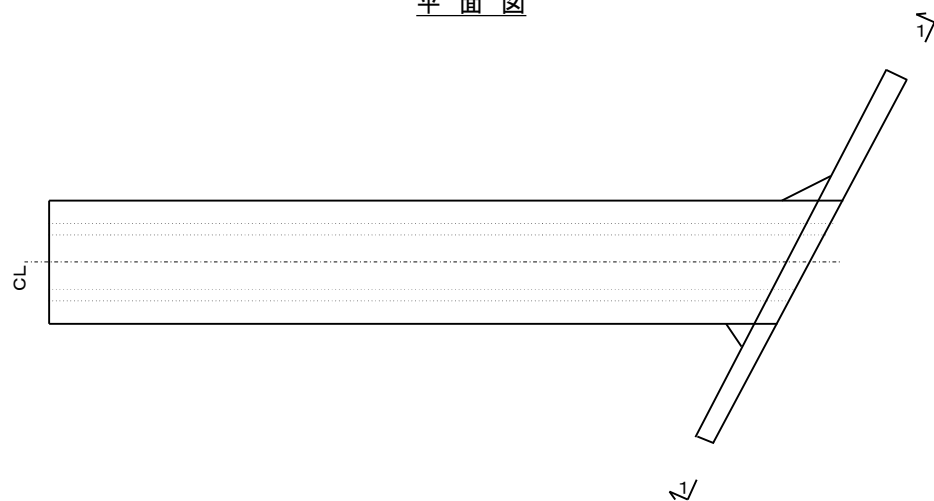
縦断図



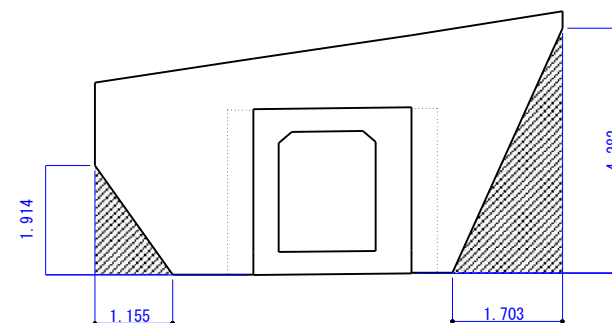
断面図



平面図

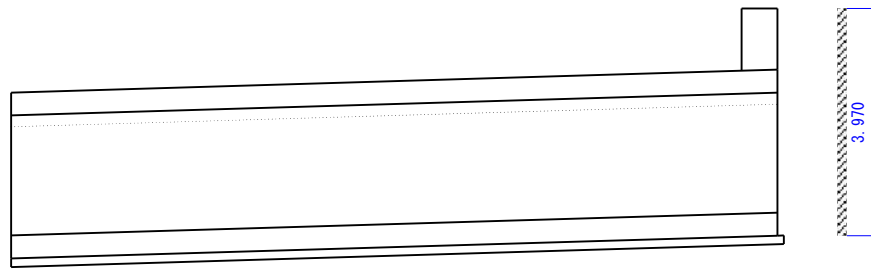


翼壁(平均値)

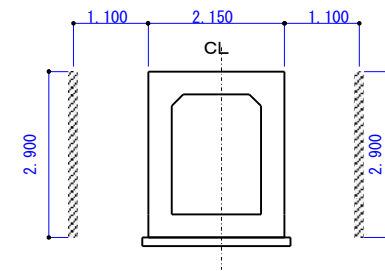


2号ボックス足場根拠図

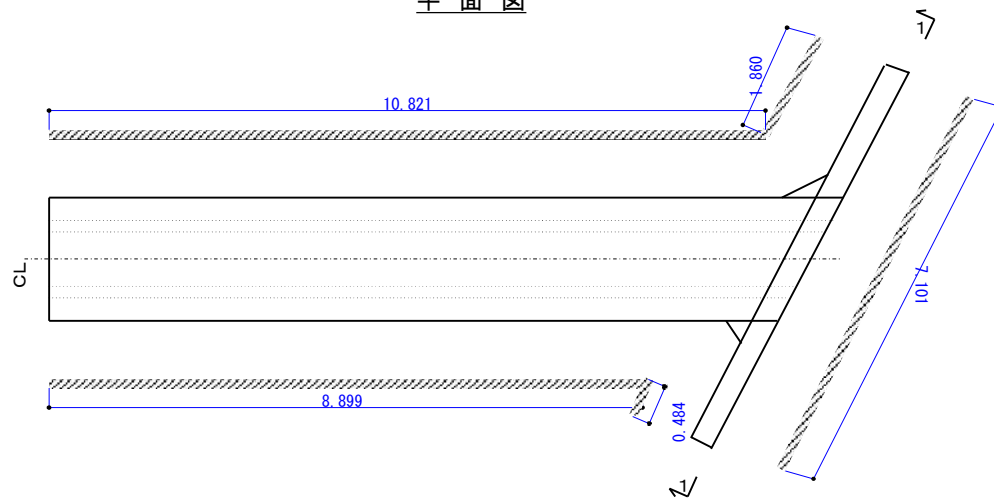
縦断図



断面図



平面図



細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
コンクリート	【 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 】			
	底版			
	$v = 2.150 \times 0.400 \times 11.500$	$= 9.890 \text{ m}^3$	$\Sigma v = \text{m}^3$	9.9
	側壁			
	$v1 = 0.400 \times 2.100 \times 11.500$	$= 9.660 \text{ m}^3$		
	$v2 = 0.400 \times 2.100 \times 11.500$	$= 9.660 \text{ ''}$		
	$v3 = 1/2 \times 0.200 \times 0.200 \times 11.500 \times 2$	$= 0.460 \text{ ''}$	$\Sigma v = \text{m}^3$	19.8
	頂版			
	$v = 2.150 \times 0.400 \times 11.500$	$= 9.890 \text{ m}^3$	$\Sigma v = \text{m}^3$	9.9
	翼壁			
	・ 前面			
	$A1 = 1/2 \times (3.356 + 4.574) \times 7.101$	$= 28.155 \text{ m}^2$		
	$A2 = -1/2 \times 1.150 \times 1.906 - 1/2 \times 1.700 \times 4.274$	$= -4.729 \text{ ''}$		
	$A3 = -2.351 \times 2.900$	$= -6.818 \text{ ''}$		
	ΣA	$= 16.608 \text{ m}^2$		
	・ 背面			
	$A'1 = 1/2 \times (3.371 + 4.589) \times 7.101$	$= 28.262 \text{ m}^2$		
	$A'2 = -1/2 \times 1.159 \times 1.921 - 1/2 \times 1.706 \times 4.289$	$= -4.772 \text{ ''}$		
	$A'3 = -2.351 \times 2.900$	$= -6.818 \text{ ''}$		
	$\Sigma A'$	$= 16.672 \text{ m}^2$		
	$v1 = 1/2 \times (16.608 + 16.672) \times 0.400$	$= 6.656 \text{ m}^3$		
	$v2 = 1/2 \times 0.437 \times 0.400 \times 2.900$	$= 0.253 \text{ ''}$		
	$v3 = 1/2 \times 0.437 \times 0.400 \times 2.900$	$= 0.253 \text{ ''}$	$\Sigma v = \text{m}^3$	7.2
	合計	$\Sigma v =$	m^3	46.8

細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
鉄筋	【SD345】	・ボックス D131,688 kg D16～D251,295 " D29～D320 " 2,983 " ・翼壁 D13206 kg D16～D25125 " D29～D321,115 " 1,446 " ・合計 D131,894 kg D16～D251,420 " D29～D321,115 " Σ w= kg		4429

細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
型枠		底版		
		A1= $0.400 \times 11.500 \times 2$	=	9.200 m ²
		A2= 0.400×2.351	=	0.940 "
		$\Sigma A=$	m ²	10.1
		側壁		
		A1= $2.100 \times 11.500 \times 2$	=	48.300 m ²
		A2= $1.900 \times 11.500 \times 2$	=	43.700 "
		A3= $0.283 \times 11.500 \times 2$	=	6.509 "
		A4= 0.437×2.100	=	0.918 "
		A5= 0.437×2.100	=	0.918 "
		A6= $1/2 \times 0.219 \times 0.200 \times 2$	=	0.044 "
		$\Sigma A=$	m ²	100.4
		頂版		
		A1= $0.400 \times 11.500 \times 2$	=	9.200 m ²
		A2= 0.950×11.507	=	10.932 "
		A3= 0.400×2.351	=	0.940 "
		$\Sigma A=$	m ²	21.1
		翼壁		
		・ 前面		
		A1= $1/2 \times (3.356 + 4.574) \times 7.101$	=	28.155 m ²
		A2= $-1/2 \times 1.150 \times 1.906 - 1/2 \times 1.700 \times 4.274$	=	-4.729 "
		A3= -2.351×2.900	=	-6.818 "
		・ 背面		
		A4= $1/2 \times (3.371 + 4.589) \times 7.101$	=	28.262 "
		A5= $-1/2 \times 1.159 \times 1.921 - 1/2 \times 1.706 \times 4.289$	=	-4.772 "
		A6= -2.351×2.900	=	-6.818 "
		側面		
		A7= 1.450×0.400	=	0.580 "
		A8= $1/2 \times (2.226 + 2.244) \times 0.400$	=	0.894 "
		A9= $1/2 \times (1.200 + 1.014) \times 0.400$	=	0.443 "
		A10= 0.300×0.400	=	0.120 "
		A11= $1/2 \times (4.599 + 4.616) \times 0.400$	=	1.843 "
		A12= $1/2 \times (0.700 + 0.871) \times 0.400$	=	0.314 "
		ハンチ		
		A13= 0.477×2.900	=	1.383 "
		控除		
		A14= -2.900×0.437	=	-1.267 "
		A15= $-0.437 \times 2.900 \times 2$	=	-2.535 "
		ハンチ		
		A16= 0.733×2.876	=	2.108 "
		控除		
		A17= -2.900×0.437	=	-1.267 "
		A18= $-0.437 \times 2.900 \times 2$	=	-2.535 "
		$\Sigma A=$	m ²	33.4
		合計 $\Sigma A=$	m ²	165.0

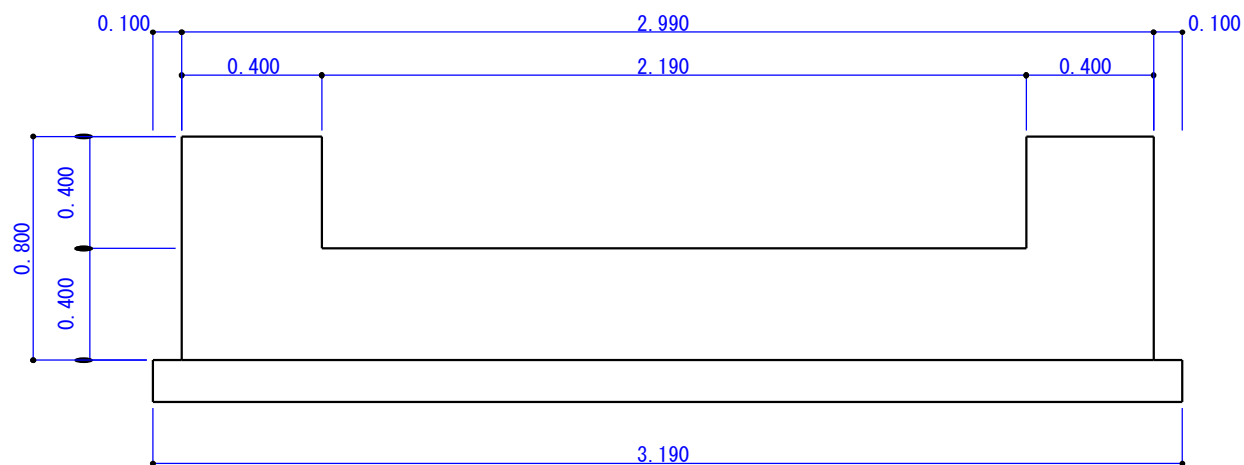
細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
目地材	【t=20mm】	$A1 = 2.150 \times 0.400 = 0.860 \text{ m}^2$ $A2 = 2.150 \times 2.500 = 5.375 \text{ ''}$ $A3 = -1.350 \times 2.100 = -2.835 \text{ ''}$ $A4 = 1/2 \times 0.200 \times 0.200 \times 2 = 0.040 \text{ ''}$ $\Sigma A = \text{m}^2$	m ²	3.4
支保	【パイプサポート支保工 (h<4.0m, 支保耐力40kN/m2以下)】	本体 $v1 = 1.350 \times 2.100 \times 11.500 = 32.603 \text{ 空m}^3$ $v2 = -1/2 \times 0.200 \times 0.200 \times 11.500 \times 2 = -0.460 \text{ ''}$ $\Sigma v = \text{空m}^3$	空m ³	32
	【くさび結合支保工 (h≤30m, 支保耐力40kN/m2を超え80kN/m2以下)】	翼壁 $v3 = 1/2 \times 1.155 \times 1.914 \times 0.400 = 0.442 \text{ ''}$ $v4 = 1/2 \times 1.703 \times 4.282 \times 0.400 = 1.458 \text{ ''}$ $\Sigma v = \text{空m}^3$	空m ³	2
足場	【枠組足場、h≤30m】	$A1 = (10.821 + 8.899) \times 2.900 = 57.188 \text{ 掛m}^2$ $A2 = (1.860 + 7.101 + 0.484) \times 3.970 = 37.497 \text{ ''}$ $\Sigma A = \text{掛m}^2$	掛m ²	95
段落ち防止枕	n=	1箇所 $\Sigma n =$	箇所	1
止水板	【B型、W=200】	$L = 2.500 \times 2 + 1.750 \times 2 = 8.500 \text{ m}$ $L = \text{m}$	m	8.5

均しコンクリート（全体当たり）				
細 別	規 格	計 算 式		単位 数 量
基礎コンクリート	【 $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 】 【平均厚 $t=230\text{mm}$ 】 枕部 $A=3.190 \times 2.200$ $V=7.018 \times 0.230$	$= 7.018 \text{ m}^2$ $= 1.614 \text{ m}^3$		m^3 1.6
		【平均厚 $t=240\text{mm}$ 】 1号ボックス $A=2.350 \times 10.610$ $V=24.934 \times 0.240$		m^3 6.0
		【平均厚 $t=240\text{mm}$ 】 2号ボックス $A=2.350 \times 10.610$ $V=24.934 \times 0.240$		m^3 6.0
		$\Sigma v=$		m^3 13.6
基礎コンクリート型枠	【平均厚 $t=230\text{mm}$ 】 枕部 $A=(3.190+2.200) \times 2 \times 0.230$	$= 2.479 \text{ m}^2$		m^2 2.5
	【平均厚 $t=240\text{mm}$ 】 1号ボックス $A=(2.350+10.610+10.610) \times 0.240$	$= 5.657 \text{ m}^2$		m^2 5.7
	【平均厚 $t=240\text{mm}$ 】 2号ボックス $A=(2.350+10.610+10.610) \times 0.240$	$= 5.657 \text{ m}^2$		m^2 5.7
		$\Sigma A=$		m^2 13.9

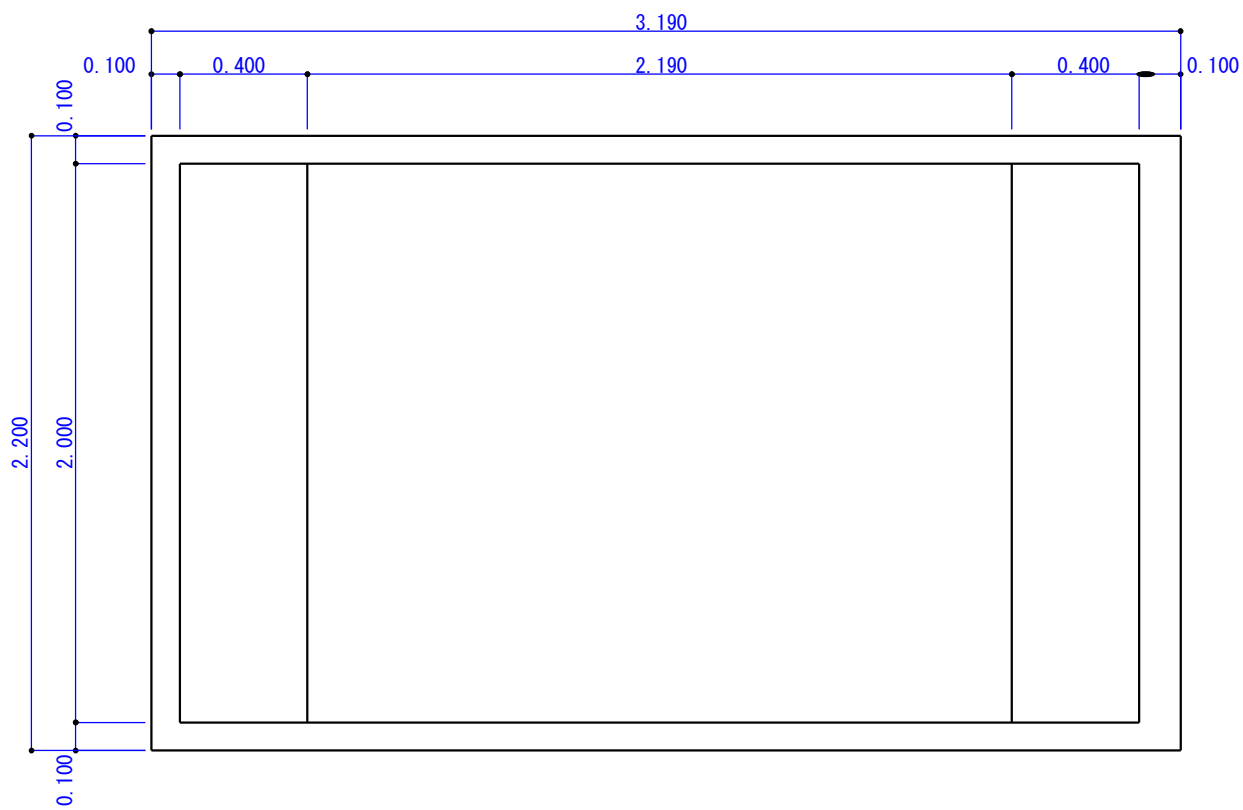
水路用コンクリート(全体当たり)							
細 別	規 格	計 算 式			単位	数 量	
水路壁工 ボックス内水路コンクリート	【σ ck=18N/mm2】	断面積					
		A=	0.150×0.300	=	0.045 m ²		
		1号ボックス					
		v1=	0.045×11.500	=	0.518 m ³	m ³	0.5
		2号ボックス					
		v1=	0.045×1/2×(11.644+11.577)	=	0.522 m ³	m ³	0.5
		Σ v=			m ³	1.0	
		1号ボックス					
		A1=	0.300×11.500×2	=	6.900 m ²		
		A2=	0.150×0.300×2	=	0.090 "		
型枠		Σ A=			m ²	7.0	
		2号ボックス					
		A1=	0.300×(11.644+11.577)	=	6.966 m ²		
		A2=	0.150×0.300×1.09329	=	0.049 "		
		Σ A=			m ²	7.0	
		Σ A=			m ²	14.0	
		1号ボックス					
		・土砂					
		v1=	1.000×0.300×11.500	=	3.450 m ³	m ³	3.5
		2号ボックス					
舗装工		・土砂					
		v1=	1.000×0.300×11.500	=	3.450 m ³	m ³	3.5
		Σ v=			m ³	7.0	

段落ち防止枕

断面図



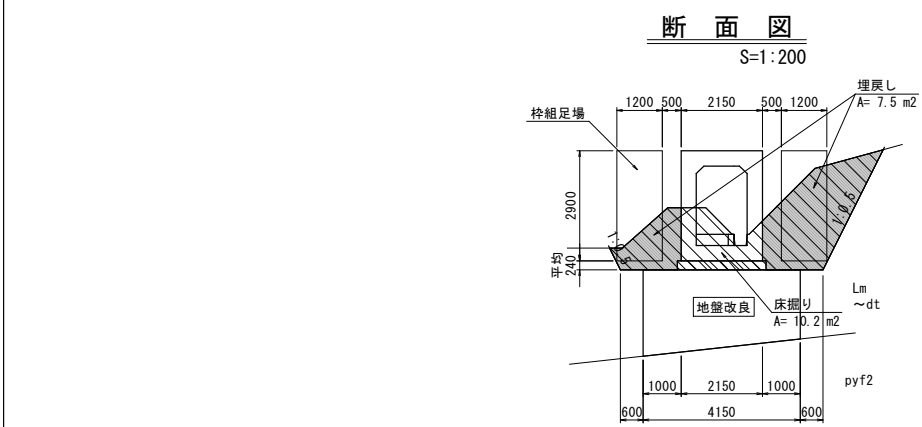
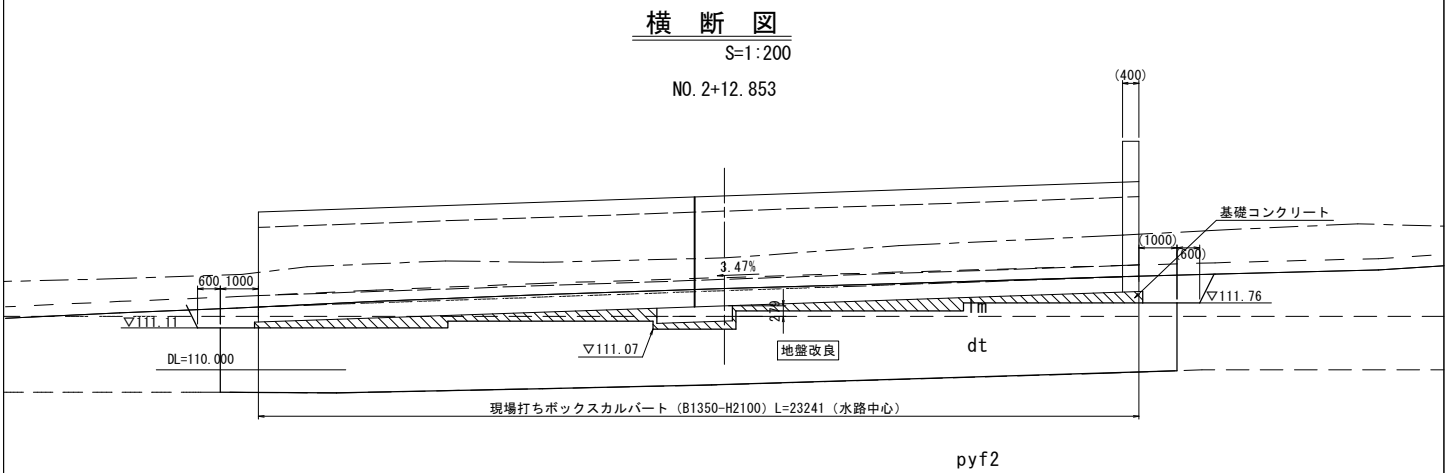
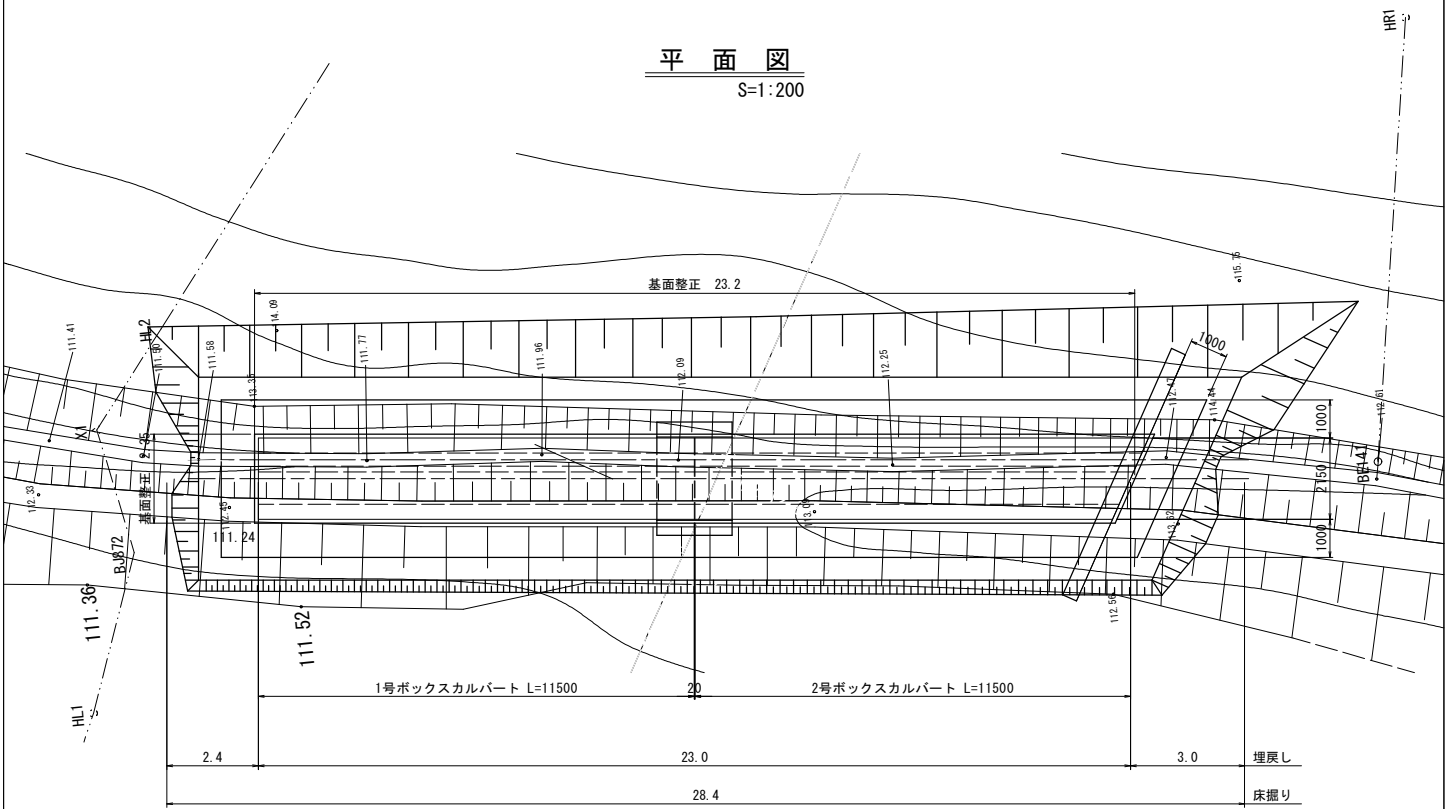
平面図



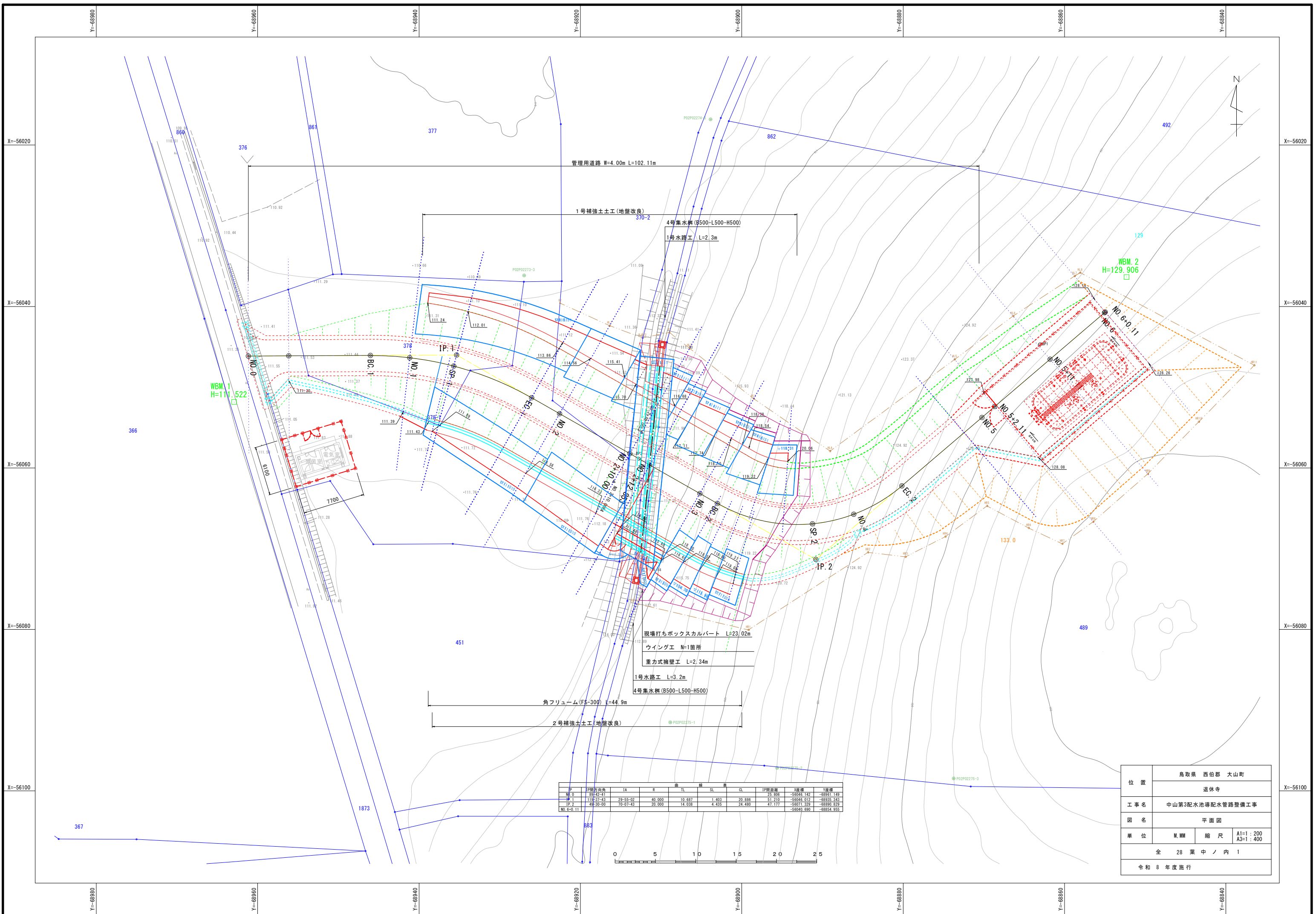
段落ち防止枕					
細 別	規 格	計 算 式		単位	数 量
コンクリート	【 σ ck=24N/mm2】				
		v1=	0. 400×0. 400×2. 000×2	0. 640 m ³	
		v2=	0. 400×2. 990×2. 000	2. 392 "	
		Σ v=		m ³	3. 0
鉄筋	【SD345】				
		D13	9 kg		
		D16～D25	311 "		
		D29～D32	0 "		
		Σ w=	kg	320	
型枠					
		A1=	0. 800×2. 000×2	3. 200 m ²	
		A2=	0. 400×0. 400×4	0. 640 "	
		A3=	0. 400×2. 990×2	2. 392 "	
		A4=	0. 400×2. 000×2	1. 600 "	
		Σ A=	m ²	7. 8	
目地材	【 t=20mm】				
		A=	0. 400×2. 000×2	= 1. 600 m ²	
		Σ A=	m ²	1. 6	

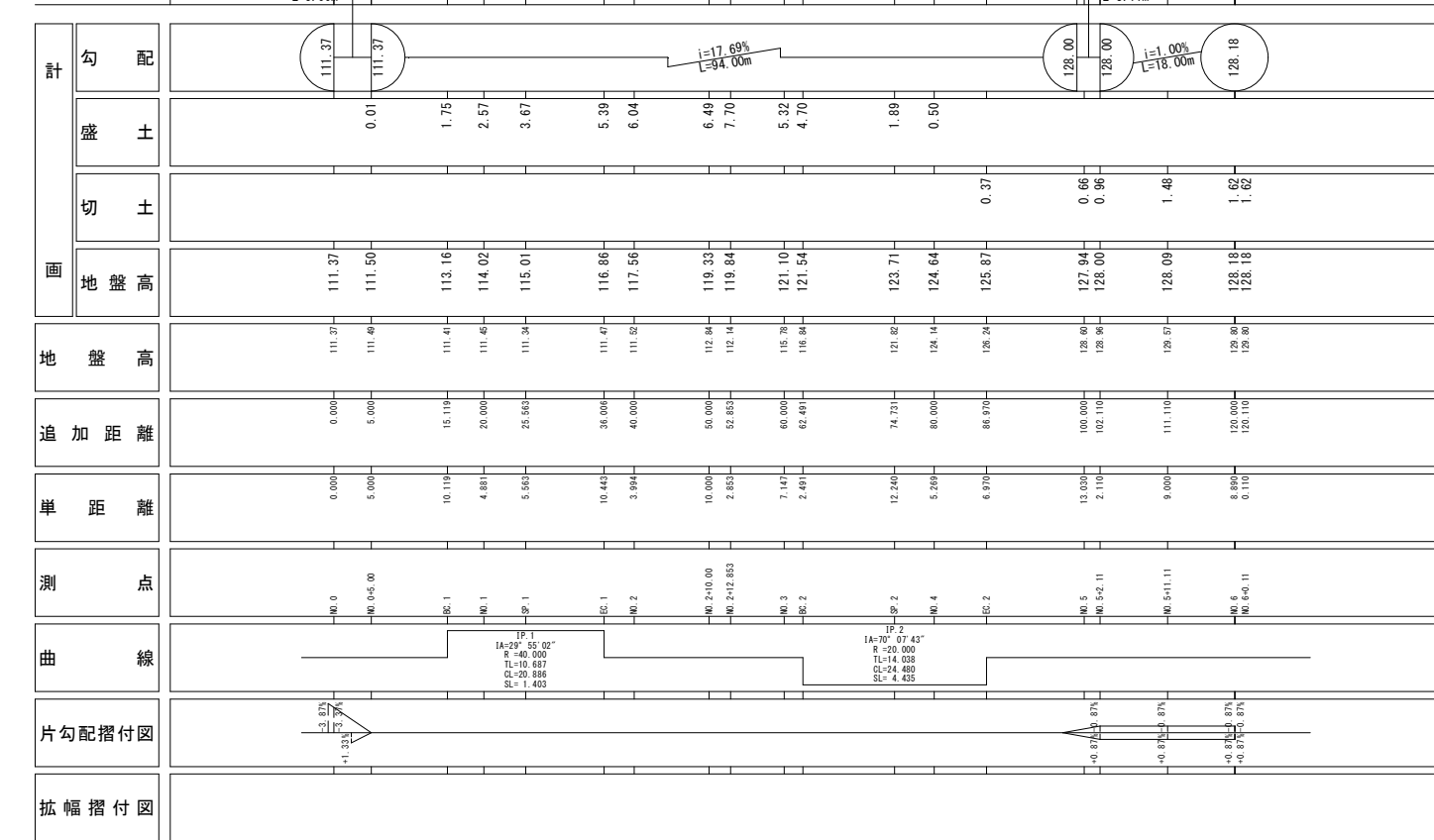
4.3 土工数量

ボックスカルバート土工図



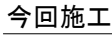
作業土工				
細 別	規 格	計 算 式		単位 数 量
床掘り	【土砂】	$V = 28.4 \times 10.2$ 289.7 m^3 $\Sigma v =$	m ³	289.7
埋戻し	【最大埋戻し幅：1m以上4m未満】	$V1 = 10.2 \times (2.4 + 3.0)$ $V2 = 7.5 \times 23.0$ 55.1 m^3 172.5 m^3 $\Sigma v =$	m ³	227.6
基面整正		$A = 2.35 \times 23.2$ 54.5 m^2 $\Sigma A =$	m ²	54.5



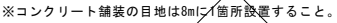


位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	縦断面図		
単 位	M	縮 尺	V=1:200 H=1:500
全 28 葉 中 ノ 内 2			
令和 8 年度 施行			

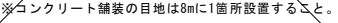
S=1:50



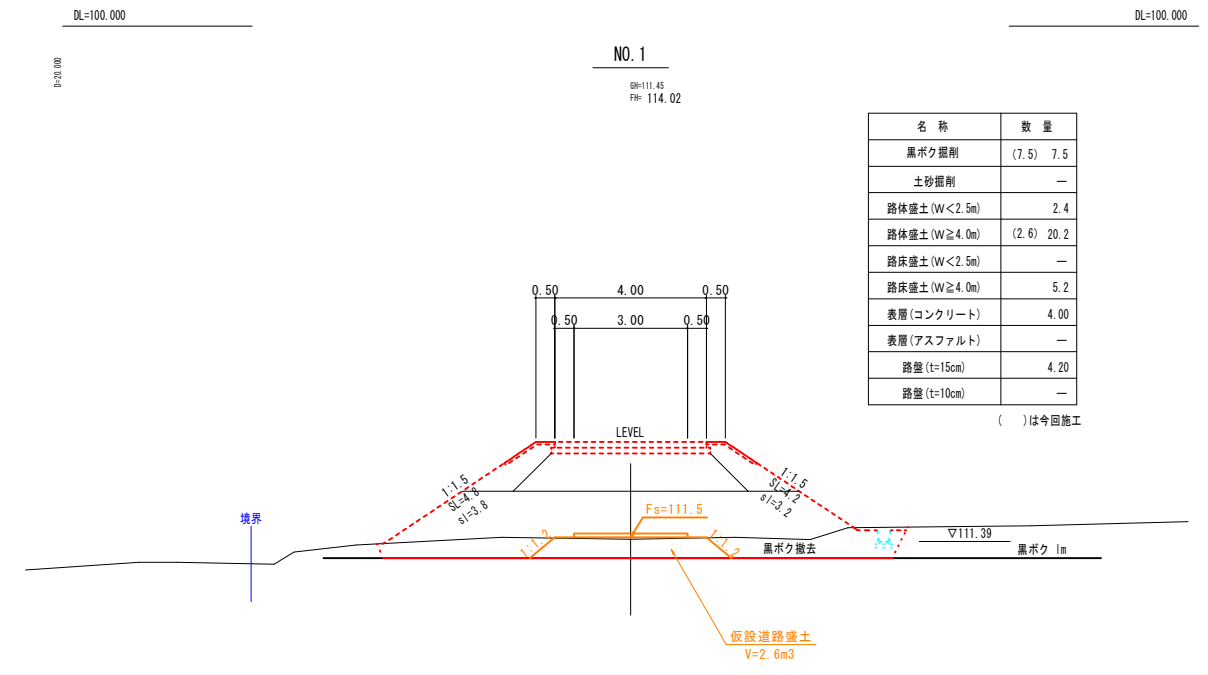
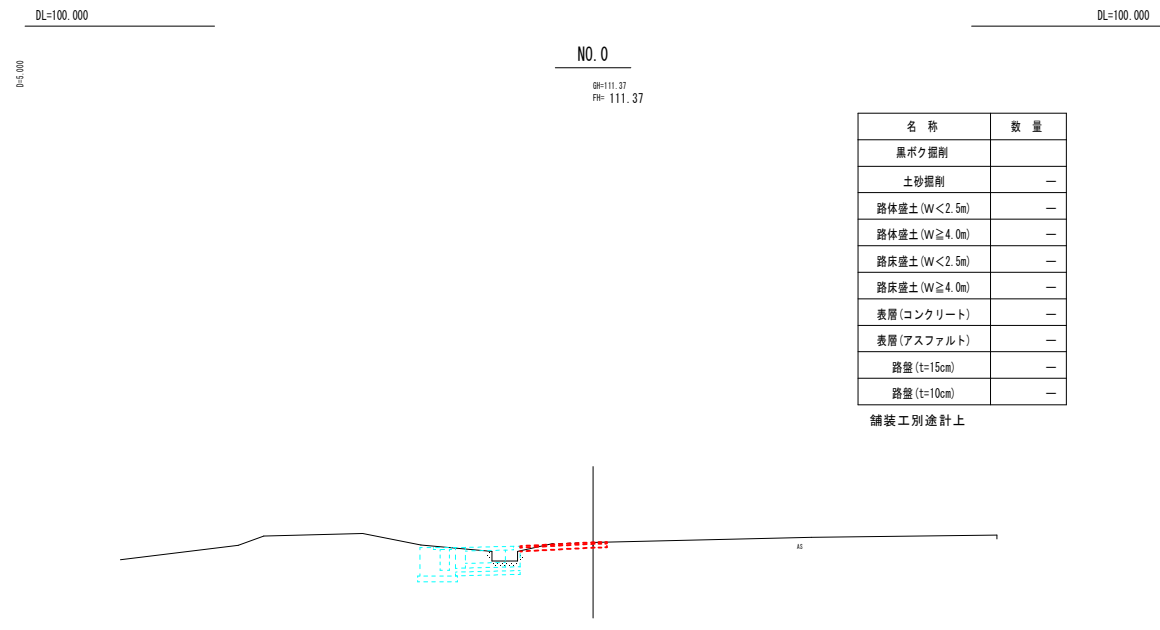
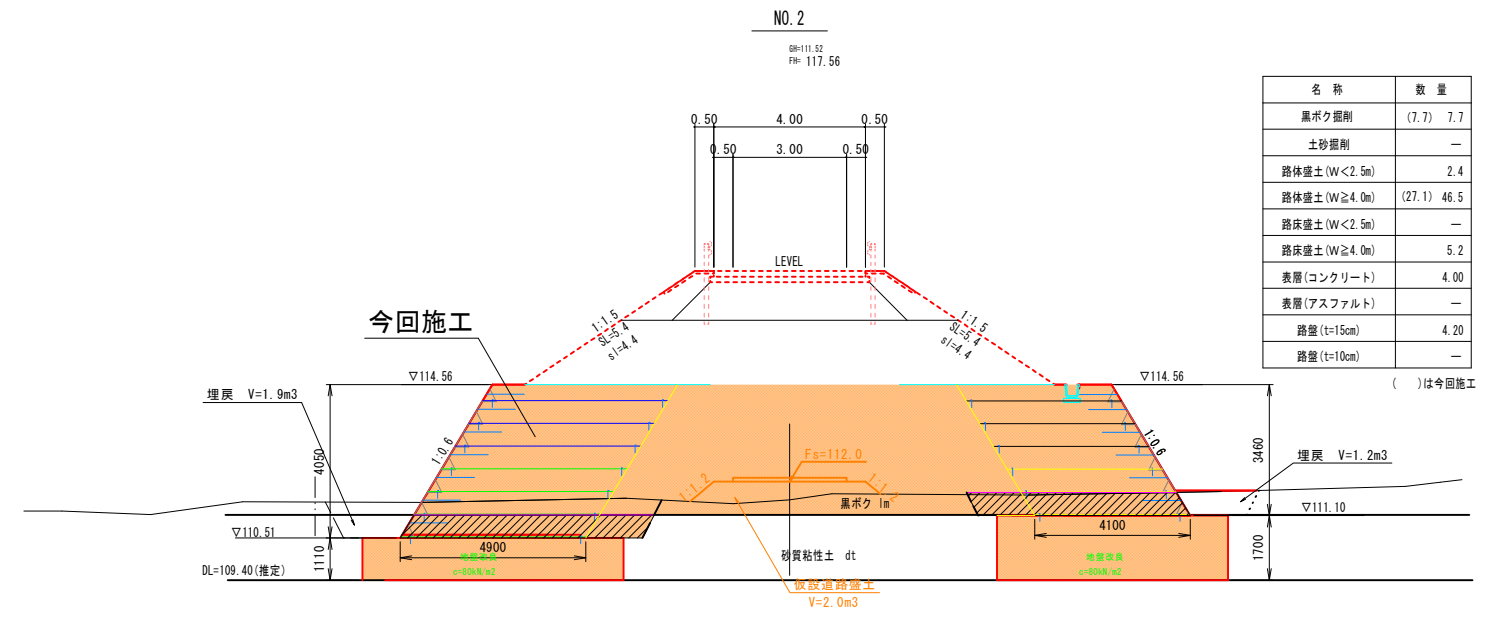
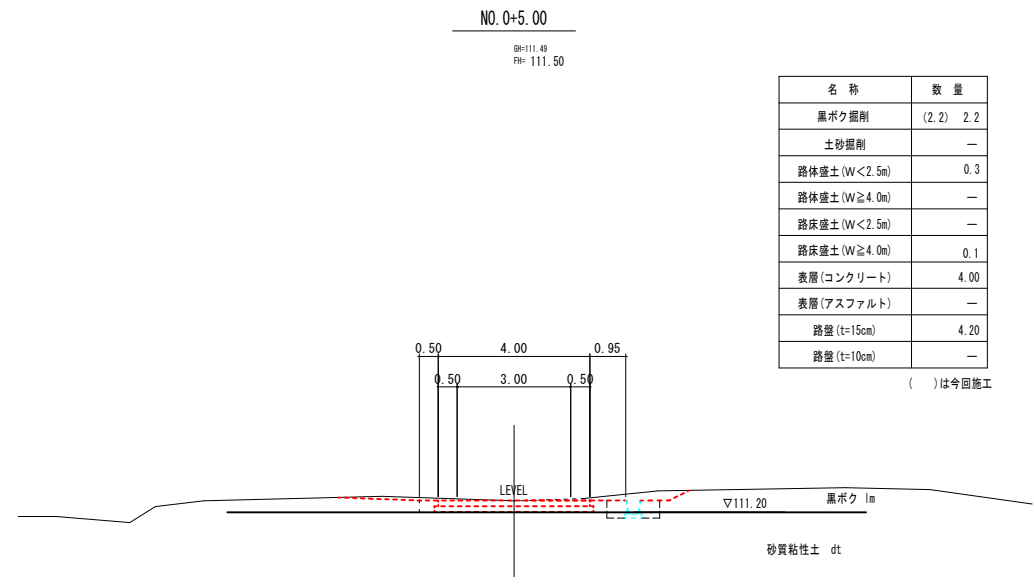
S=1:10



NO. 5+11. 11



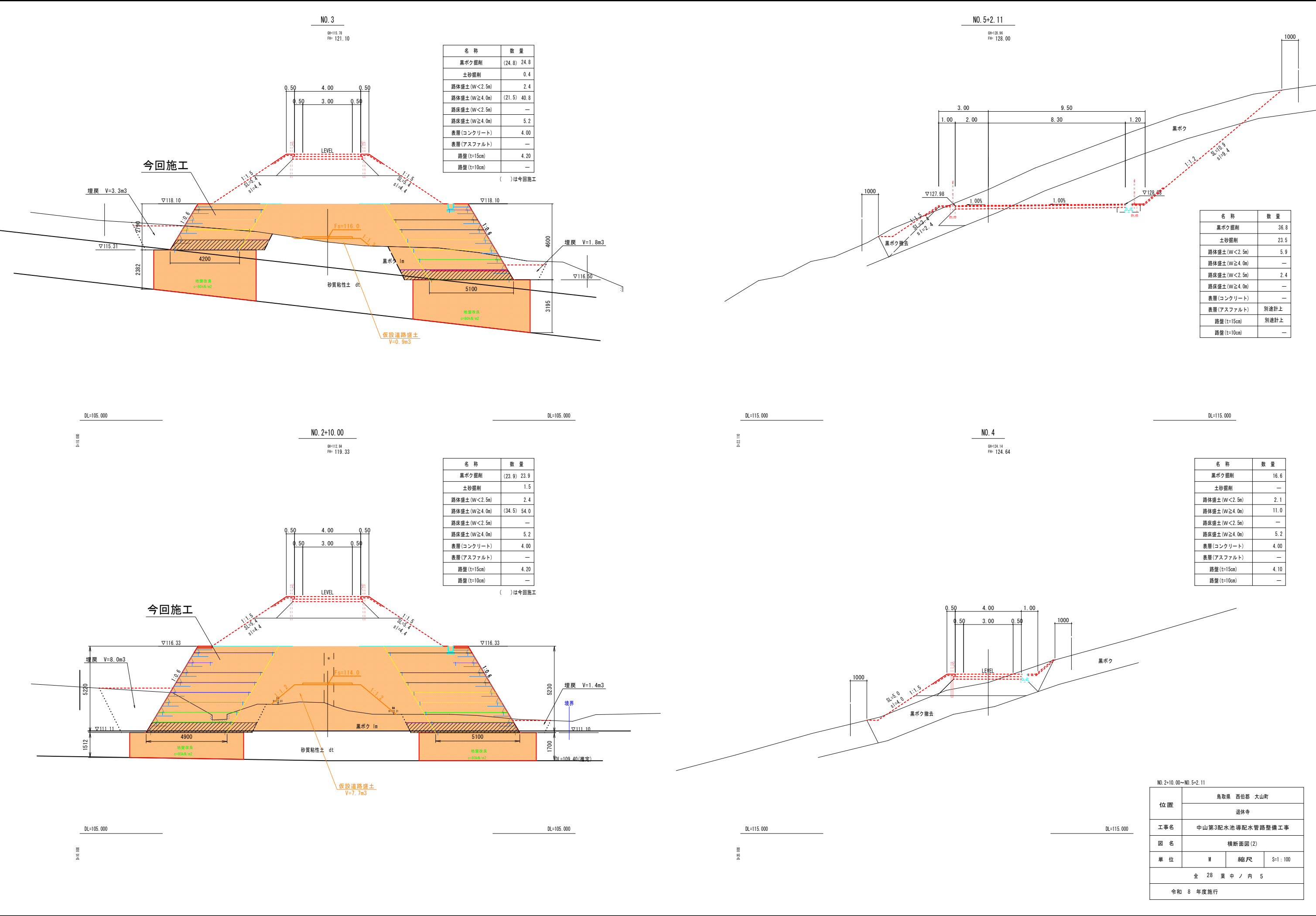
位 置	鳥 取 県 西 伯 郡 大 山 町		
	退 休 寺		
工 事 名	中 山 第 3 配 水 池 導 配 水 管 路 整 備 工 事		
図 名	標 準 断 面 図		
単 位	M、MM	縮 尺	図 示
全 28 葉 中 ノ 内 3			
令 和 8 年 度 能 行			



DL=100.000

DL=100.000

NO. 0~NO. 2			
位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	横断面図(1)		
単 位	Ⅱ	縮 尺	S=1 : 100
全 28 葉 中 / 内 4			
令和 8 年度施行			



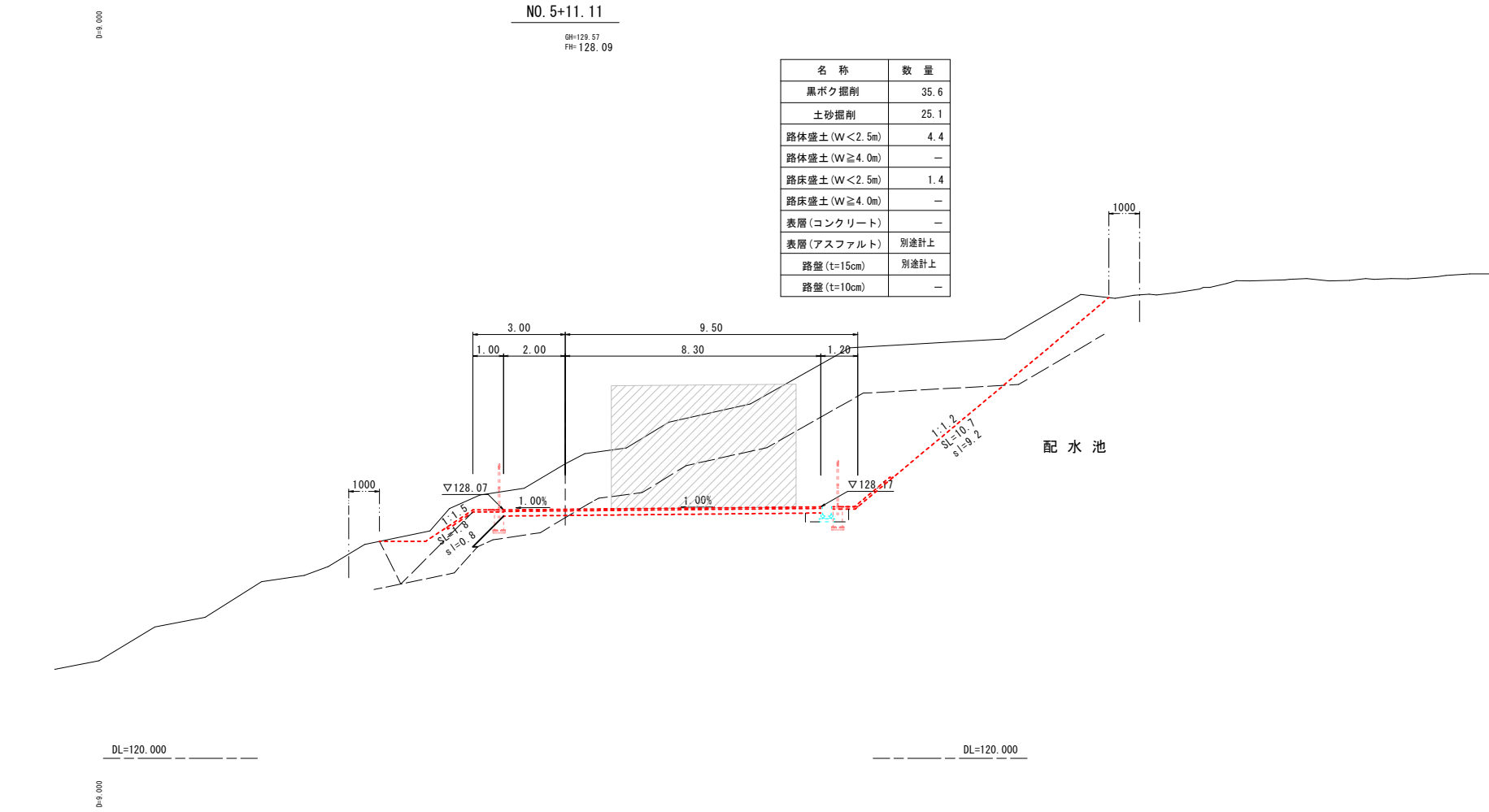
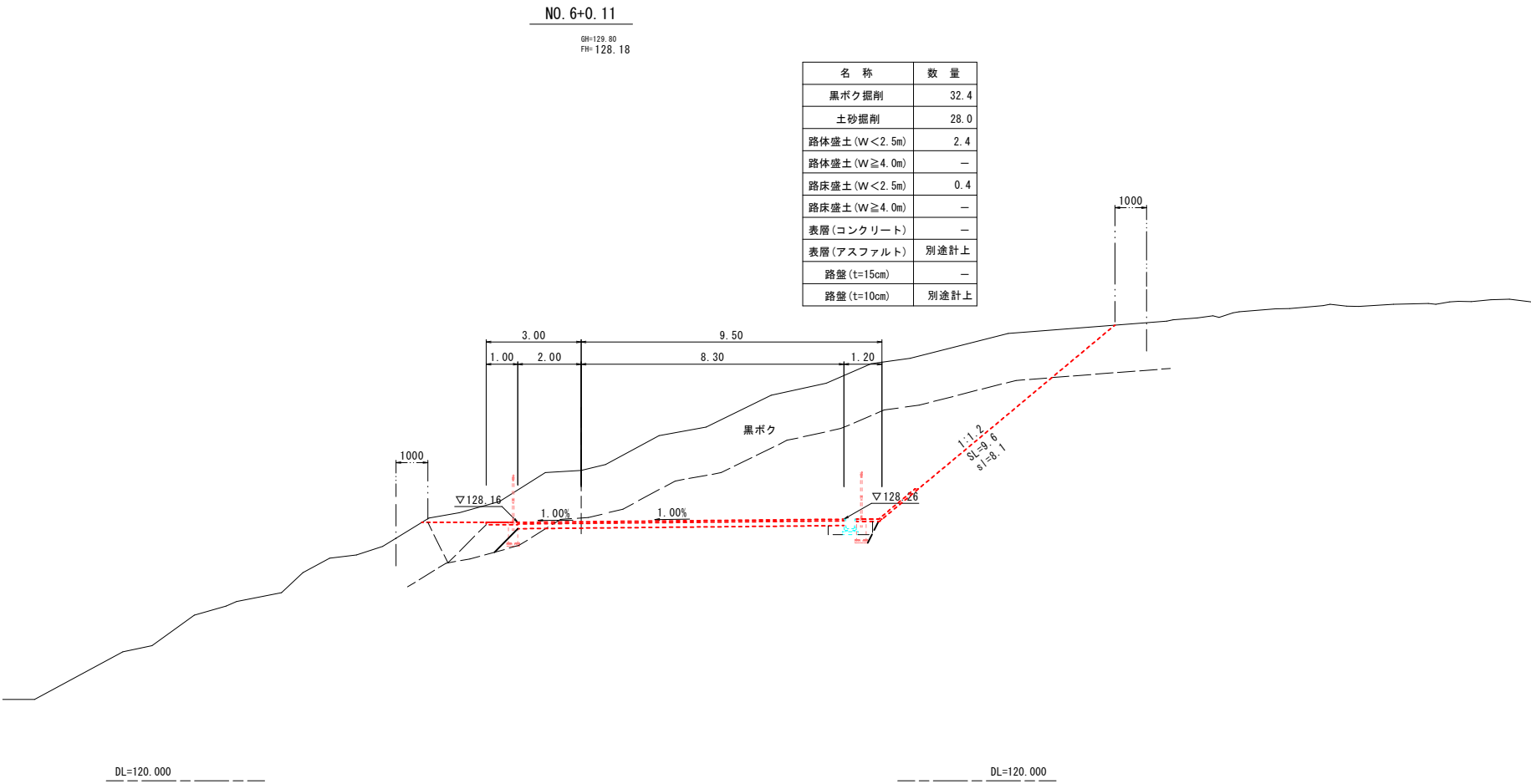
名 称	数 量
黒ボク掘削	(24.8) 24.8
土砂掘削	0.4
路体盛土 (W<2.5m)	2.4
路体盛土 (W≥4.0m)	(21.5) 40.8
路床盛土 (W<2.5m)	—
路床盛土 (W≥4.0m)	5.2
表層 (コンクリート)	4.00
表層 (アスファルト)	—
路盤 (t=15cm)	4.20
路盤 (t=10cm)	—

名 称	数 量
黒ボク掘削	36.8
土砂掘削	23.5
路体盛土 (W<2.5m)	5.9
路体盛土 (W≥4.0m)	—
路床盛土 (W<2.5m)	2.4
路床盛土 (W≥4.0m)	—
表層 (コンクリート)	—
表層 (アスファルト)	別途計上
路盤 (t=15cm)	別途計上
路盤 (t=10cm)	—

名 称	数 量
黒ボク掘削	(23.9) 23.9
土砂掘削	1.5
路体盛土 (W<2.5m)	2.4
路体盛土 (W≥4.0m)	(34.5) 54.0
路床盛土 (W<2.5m)	—
路床盛土 (W≥4.0m)	5.2
表層 (コンクリート)	4.00
表層 (アスファルト)	—
路盤 (t=15cm)	4.20
路盤 (t=10cm)	—

名 称	数 量
黒ボク掘削	16.6
土砂掘削	—
路体盛土 (W<2.5m)	2.1
路体盛土 (W≥4.0m)	11.0
路床盛土 (W<2.5m)	—
路床盛土 (W≥4.0m)	5.2
表層 (コンクリート)	4.00
表層 (アスファルト)	—
路盤 (t=15cm)	4.10
路盤 (t=10cm)	—

NO. 2+10.00~NO. 5+2.11			
位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	横断面図 (2)		
単 位	M	縮 尺	S=1 : 100
全 28 葉 中 / 内 5			
令和 8 年度施行			



NO. 5+11.11~NO. 6+0.11

位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工 事 名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	横断面図(3)		
単 位	M	縮 尺	S=1 : 100
全 28 葉 中 ノ 内 6			
令和 年度施行			

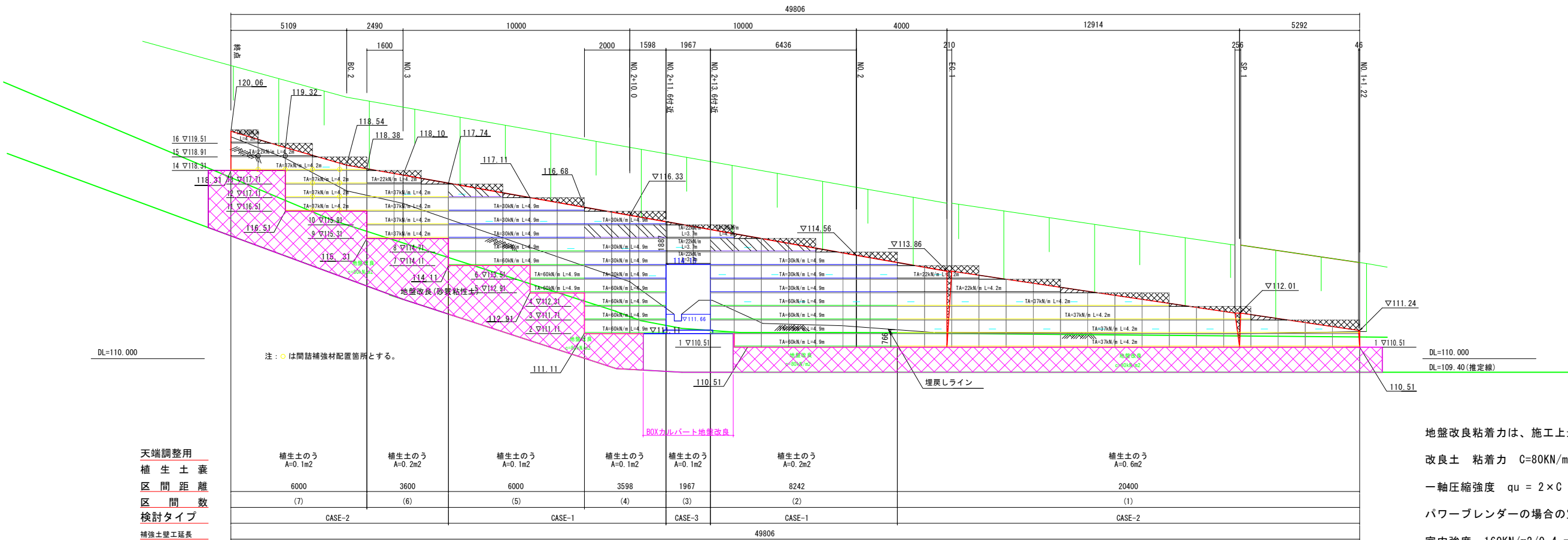
1号補強盛土（ジオテキスタイル）工法計画図

(No. 1+1.0付近～SP. 2付近左側)

1号補強土盛土展開図

NO. 1+1.0～SP. 2（左側）

S=1:100



地盤改良粘着力は、施工上最も高い粘着力に統一した。

改良土 粘着力 C=80KN/m2

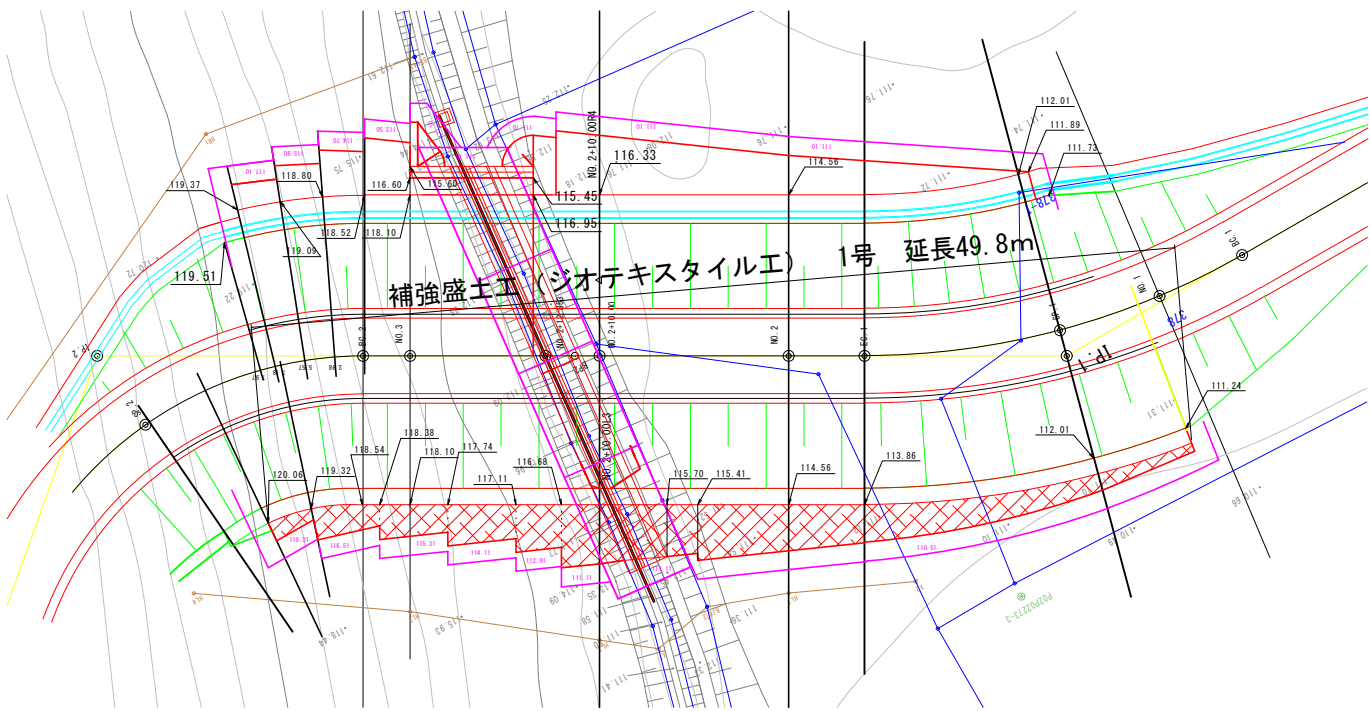
一軸圧縮強度 $qu = 2 \times C = 80 \times 2 = 160\text{KN/m}^2$

パワーブレンダーの場合の室内強度比40%

室内強度 $160\text{KN/m}^2 / 0.4 = 400\text{KN/m}^2$

単位添加量 80Kg/m^3 (粘性土の参考資料より)

平面位置図 S=1:200



特記事項

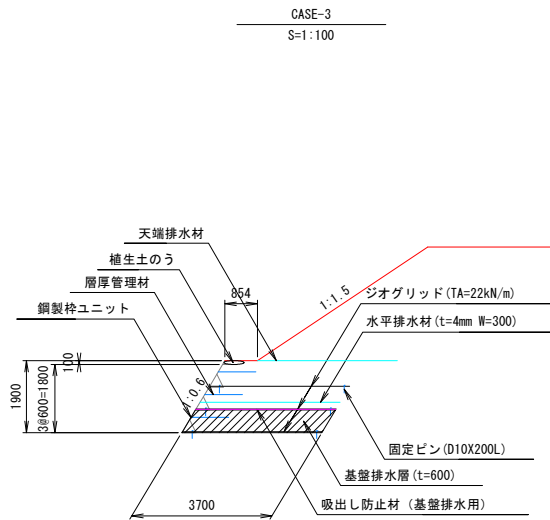
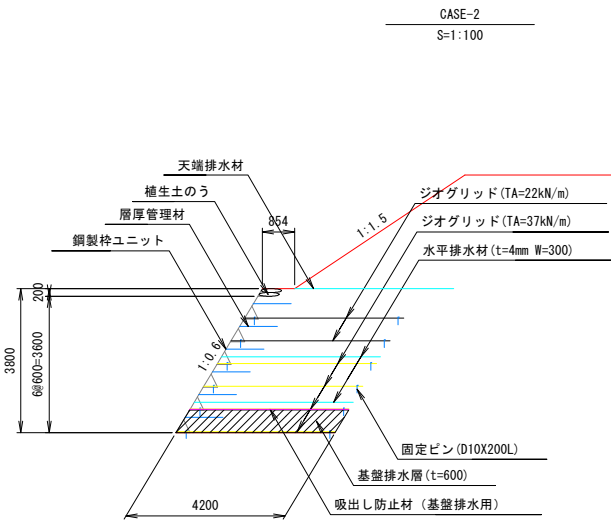
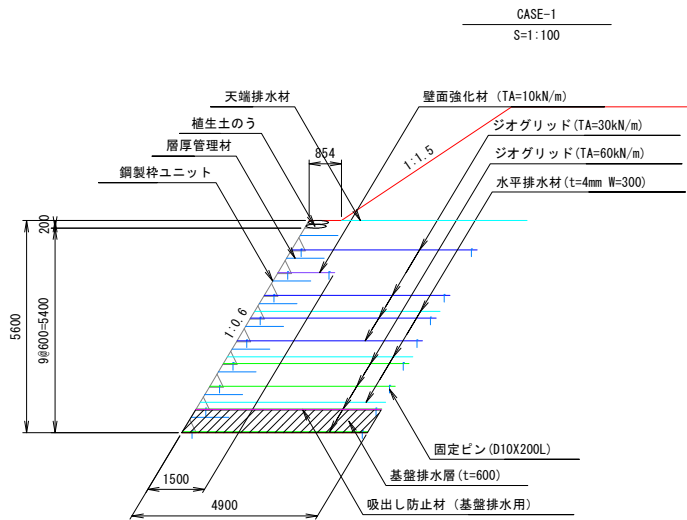
補強土壁工	面状補強材（ジオテキスタイル）を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断力を補強し、安定した盛土構造物を構築する
盛土材料	・施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する ・発注機関の定める規定値に従い、締め管理を行う ・盛土材料は適切な含水比とする
基礎地盤	・良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする ・床掘り完了後に所定の支持力を満足するか確認する
排水工	・適切な排水処理を施す ・予期せぬ湧水が確認された場合は速やかに排水対策を行う ・施工中は仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面部へ水を導かないよう排水処理を行う ・補強土壁の底盤は排水対策を施す
壁面材	・鋼製壁面材は、盛土材を拘束し所定の締め度度が得られる十分な剛性（断面係数：0.8cm ³ /m以上）を有すること ・壁面材の座屈や回転等を防止するため、斜部材、横方向部材および回転防止部材を用いた構造とする
補強材	・主補強材は（財）土木研究センターの建設技術審査証明報告書を有する製品とする ・主補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする ・磯材等による主補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする ・隣接する主補強材の敷設は、突合せを基本とする（ラップする必要はない） ・曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める
安全管理	・労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する

材 料 表						
凡 例	名 称	規格寸法	単 位	材 質	寸法・形状	特 記 事 項
	ジオグリッド （主補強材）	TA=22KN/m	m ²	芯材：アラミド繊維 表層材：高密度ポリエチレン	部材詳細図参照	伸度4.5%
		TA=30KN/m	m ²			
		TA=37KN/m	m ²			
		TA=60KN/m	m ²			
	壁面強化材	UC-20	m ²			
	のり面ユニット	UC-60P	set		部材詳細図参照	
	水平排水材	EF-3	m		W=300	
	調整の為、土のう積み					
	延長調整の為、ユニットカット					
	壁面強化材敷設ののり面ユニット UC-20 L=1500					

位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	1号補強盛土計画図		
単 位	MM	縮尺	図示
全 28 案 中 ノ 内 7			
令和 8 年度施行			

1号補強盛土（ジオテキスタイル）工法標準断面図 S=1:100

(No. 1+1.0付近～SP. 2付近左側)



設計条件

盛土材	単位体積重量	$\gamma =$	19.00 kN/m ³
	内部摩擦角	$\phi =$	30.00 °
	粘着力	$c =$	0.00 kN/m ²
水平震度	内的・外的安定	$k_h =$	0.13
	全体安定	$k_h =$	0.09

* 設計水平震度（レベル1地震動 地盤Ⅱ種 地域区分B）

* 上記支持力を確保できるよう、地盤改良等の処理を行うこと。

設計安全率

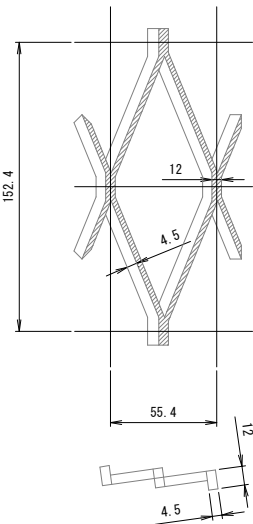
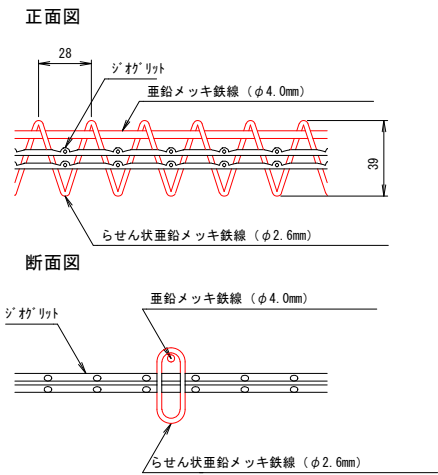
項目	安全率の種類	常時	地震時
内的安定	引抜きに対する安全率	$F_s \geq 2.00$	$F_s \geq 1.20$
	滑动に対する安全率	$F_s \geq 1.50$	$F_s \geq 1.20$
外的安定	転倒に対する許容値	$e \leq LB/6$	$e \leq LB/3$
	支持力に対する安全率	$F_s \geq 3.00$	$F_s \geq 2.00$
全体安定	基礎地盤を含むすべりに対する安全率	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$

接続部詳細図（ジ'オ'リット+ジ'オ'リット）

S=1:2

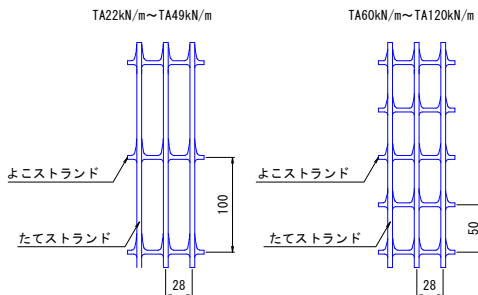
のり面ユニット菱目詳細図

S=1:2



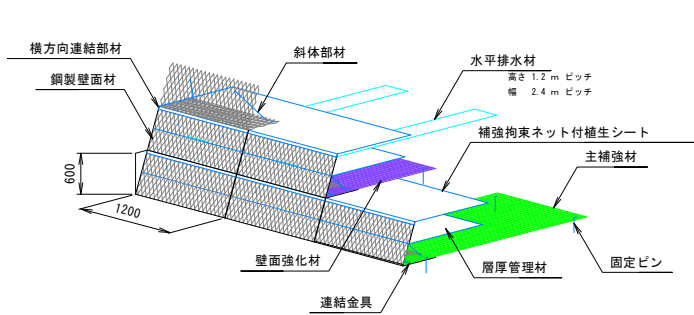
ジ'オ'リット詳細図

S=1:4

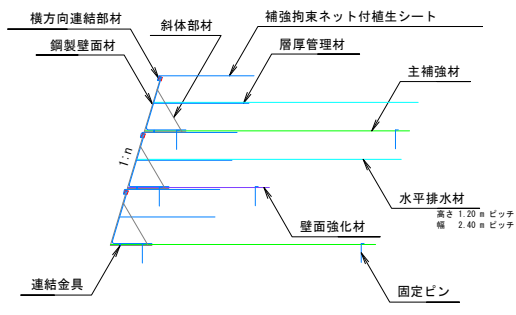


概念図(斜壁)

のり面詳細図



壁面部詳細図



位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	1号補強盛土工法標準断面図		
単位	MM	縮尺	図示
全 28 案 中 ノ 内 8			
令和 8 年度施行			

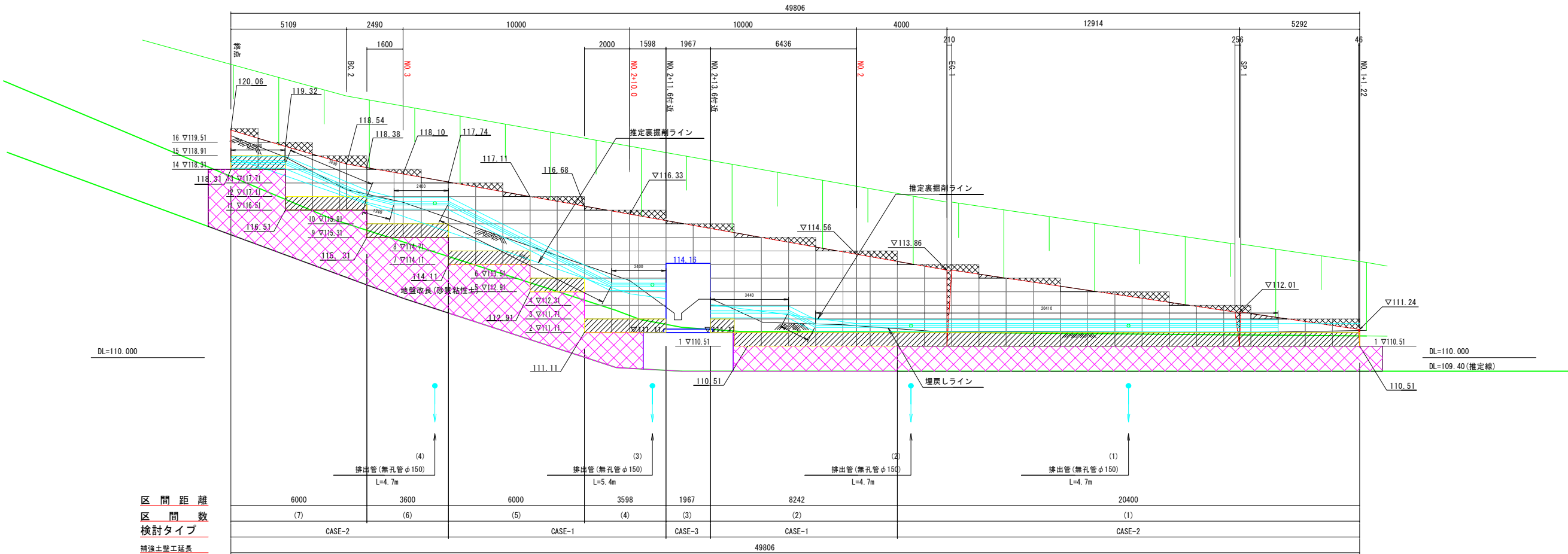
1号補強盛土（ジオテキスタイル）工法地下排水工図

(No. 1+1.0付近～SP. 2付近左側)

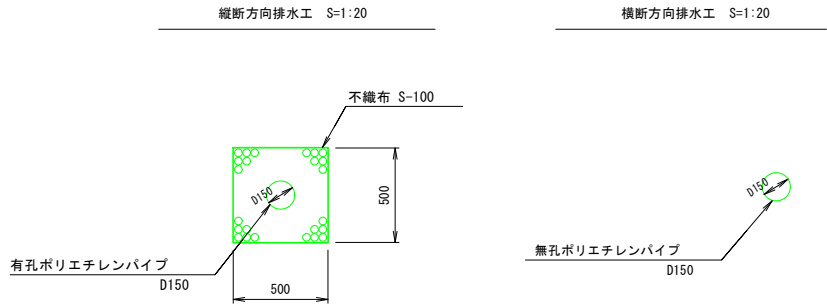
1号補強土盛土展開図

NO. 1+1.0～SP. 2（左側）

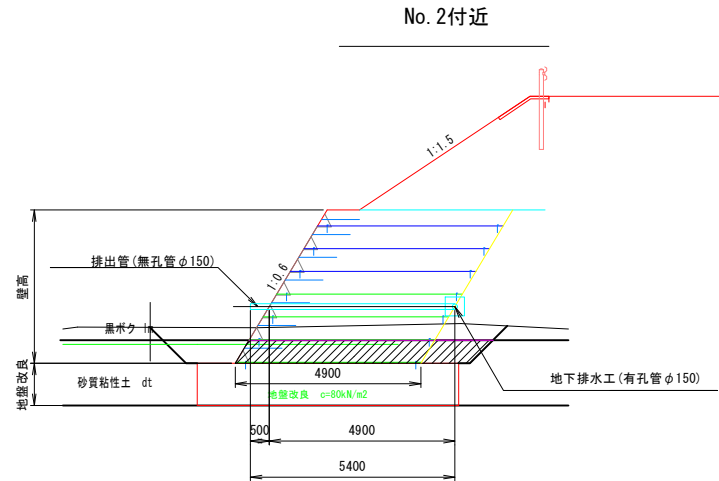
S=1:100



地下排水工詳細図



暗渠排水材標準断面図 S=1:100



位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	1号補強盛土工法地下排水工図		
単位	MM	縮尺	図示
全 28 案 中 ノ 内 9			
令和 8 年度施行			

特記事項

基礎排水工	補強土壁の底面には、地下水および地山からの湧水等による補強領域内への浸入を防止し、速やかに補強領域外に排除するため、基礎地盤の表面に厚さ50cm程度の基礎排水工を設置する。 基礎排水工には、砕石または砂等の透水性が高く、せん断強度の大きい止質材料を用いるものとし、透水係数は1×10 ⁻¹ ～1×10 ⁻² (cm/s) 程度以上、かつ盛土材料の透水係数の100倍程度以上とする。 基礎排水工に幅粒分が浸入することが考えられる場合は、基礎排水工の上面に吸出し防止材（ジオフリースなど）を敷設する。
水平排水層	補強領域内への浸透水を排除するため、盛土の一定厚さごとに、補強領域内に適切な排水勾配で水平排水層を設ける。 排水材料としては、砕石や砂または高い排水機能を有する不織布や透水マット（エンドレンフィルター）を用いる。 補強領域の水平排水層は、湧水等を補強領域内に導水しないように切盛境に設置する縦断排水工と連絡しない。
切盛境排水工	水が集まりやすい切盛境や掘削のり面には切盛境排水溝を設ける。排水材料としては、砕石または砕石と同等の排水機能を有する透水マット（裏面排水材）を用いる。 この場合の設置間隔の目安は、裏面排水材は5mを目安とするが、湧水の状況に応じて設置間隔や配置を決定する。 調査の時点では予測されなかった湧水があるときは、その程度に応じて別途適切な排水施設を計画する。
横断方向排水工	補強土壁の横断方向には、横断方向排水工を10mの間隔で設け、補強土壁の最深部には2箇所設置する。
縦断方向排水工	水が集まりやすい切盛境や掘削のり面の小段には、湧水量の程度に応じて適切な縦断方向排水工を設ける。
留意事項	地盤改良工は、BOX 橋台完成後の施工は掘削が困難な可能性があるため、BOX 橋台施工時に行うこと。

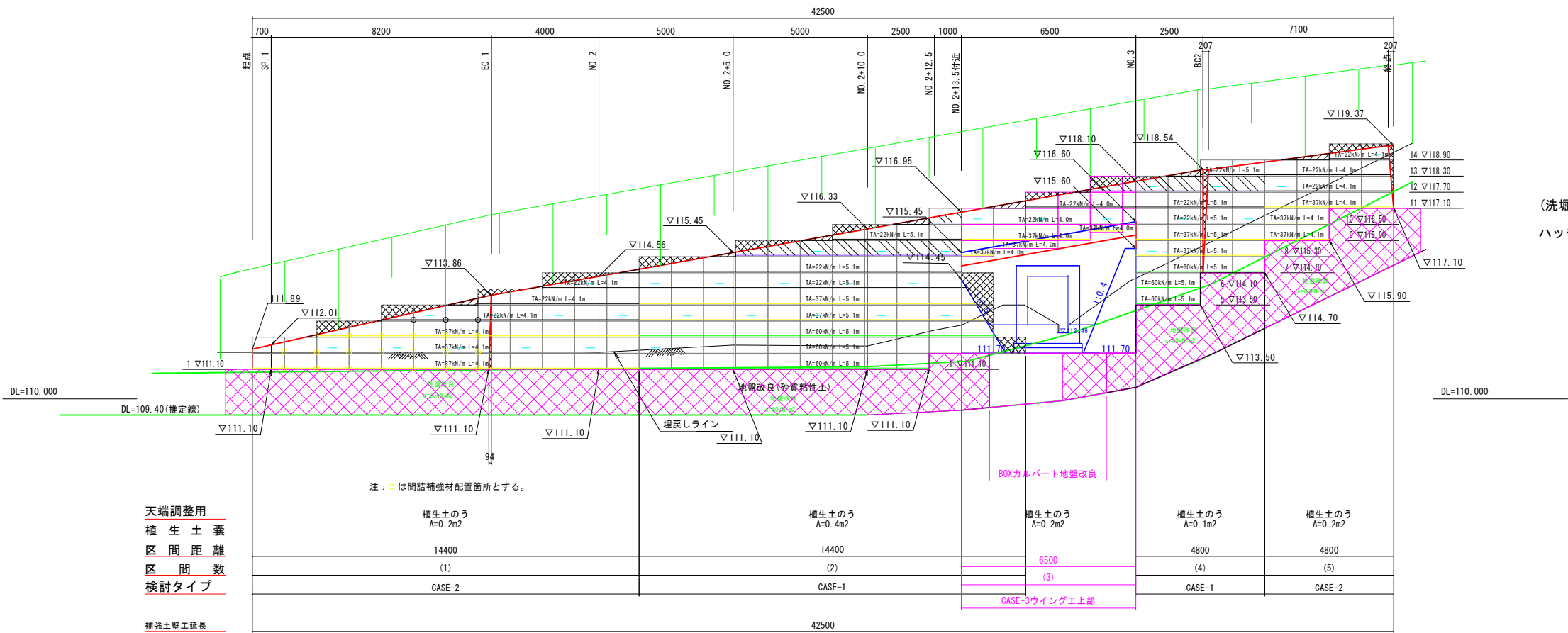
2号補強盛土（ジオテキスタイル）工法計画図 S=1:100

(No. 1+4.0付近～No. 3+8.0付近右側)

2号補強土盛土展開図

No. 1+4.0～No. 3+8.0 (右側)

S=1:100



BOXカルバート上部工参考図

(洗堀防止用)根入れが50cm以下になるので、
ハッチング部をコンクリートで間詰処理を行う。

地盤改良粘着力は、施工上最も高い粘着力に統一した。

改良土 粘着力 C=80KN/m2

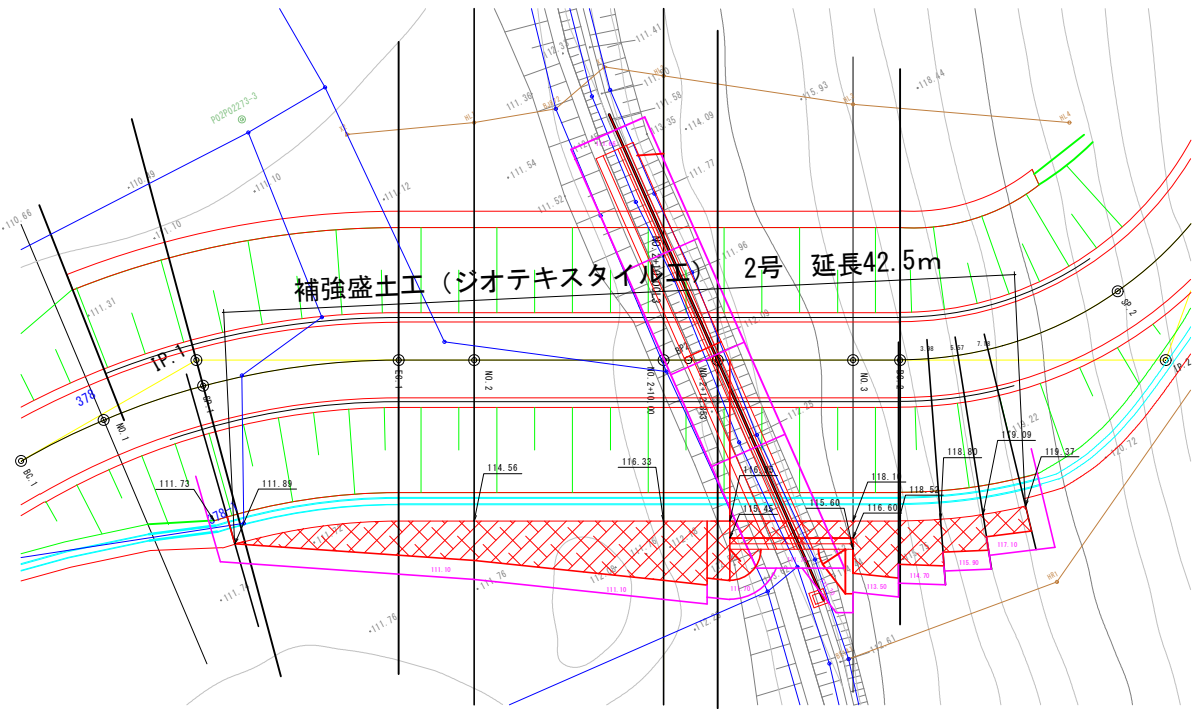
一軸圧縮強度 $qu = 2 \times C = 80 \times 2 = 160\text{KN/m}^2$

パワーブレンダーの場合の室内強度比40%

室内強度 $160\text{KN/m}^2 / 0.4 = 400\text{KN/m}^2$

単位添加量 80Kg/m3(粘性土の参考資料より)

平面位置図 S=1:200



特記事項

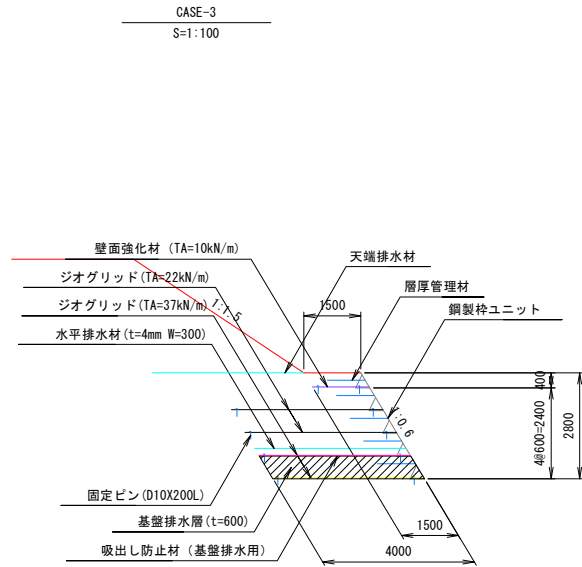
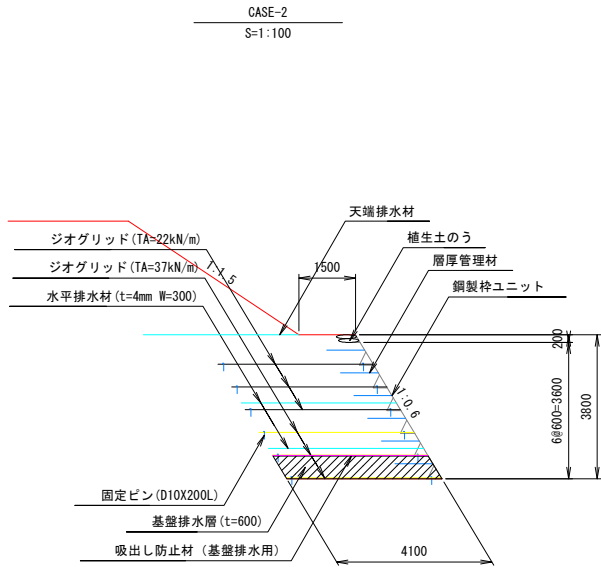
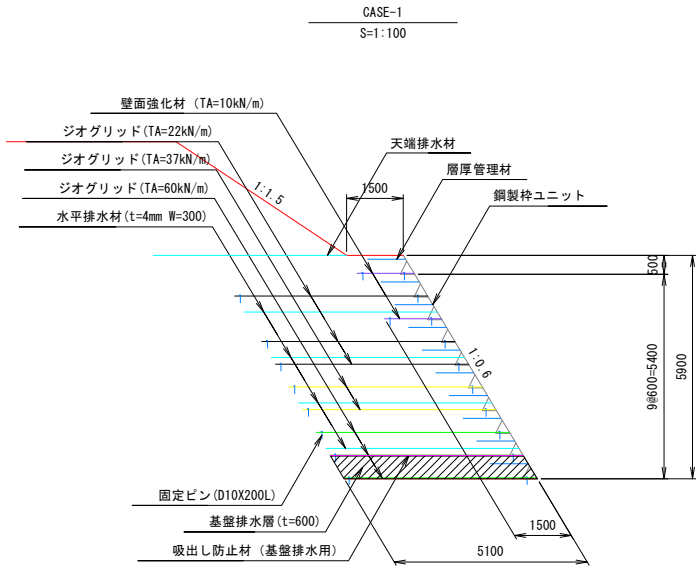
補強土壁工	面状補強材（ジオテキスタイル）を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断強さを補強し、安定した盛土構造物を構築する
盛土材料	・施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する ・発注機関の定める規定値に従い、締固め管理を行う ・盛土材料は適切な含水比とする
基礎地盤	・良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする ・床掘り完了後に所定の支持力を満足するか確認する
排水工	・適切な排水処理を施す ・予期せぬ湧水が確認された場合は速やかに排水対策を行う ・施工中は仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面部へ水を導かないよう排水処理を行う ・補強土壁の底盤は排水対策を施す
壁面材	・鋼製壁面材は、盛土材を拘束し所定の締固め度が得られる十分な剛性（断面係数：0.8cm ³ /m以上）を有すること ・壁面材の座屈や回転等を防止するため、斜体部材、横方向部材および回転防止部材を用いた構造とする
補強材	・主補強材は（財）土木研究センターの建設技術審査証明報告書を有する製品とする ・主補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする ・礫材等による主補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする ・隣接する主補強材の敷設は、突合せを基本とする（ラップする必要は無い） ・曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める
安全管理	・労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する

材 料 表						
凡 例	名 称	規格寸法	単位	材 質	寸法・形状	特 記 事 項
	ジオグリッド （主補強材）	TA=22KN/m	m ²	芯材：アラミド繊維 表面材：高密度ポリエチレン	部材詳細図参照	伸度4.5%
		TA=37KN/m	m ²			
		TA=60KN/m	m ²			
	壁面強化材	UC-20	m ²			
	のり面ユニット	UC-60P	set		部材詳細図参照	
	水平排水材	EF-3	m		W=300	
	調整の為、土のう積み					
	延長調整の為、ユニットカット					
	壁面強化材敷設ののり面ユニット UC-20 L=1500					

位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	2号補強盛土工法計画図		
単 位	MM	縮尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 10			
令和 8 年度施行			

2号補強盛土（ジオテキスタイル）工法標準断面図 S=1:100

(No. 1+4.0付近～No. 3+8.0付近右側)



設計条件

盛土材	単位体積重量	$\gamma =$	19.00 kN/m ³
	内部摩擦角	$\phi =$	30.00 °
	粘着力	$c =$	0.00 kN/m ²
水平震度	内的・外的安定	$kh =$	0.13
	全体安定	$kh =$	0.09

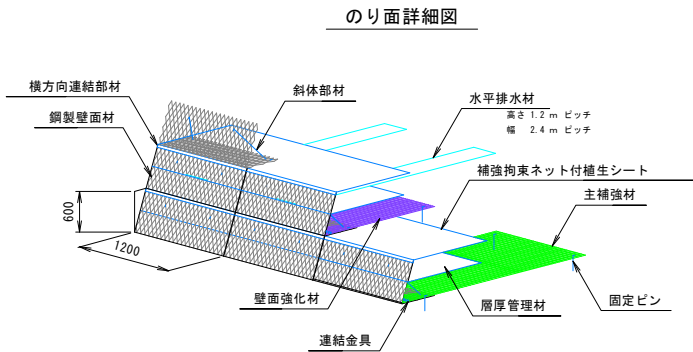
* 設計水平震度（レベル1地震動 地盤Ⅱ種 地域区分B）

* 上記支持力を確保できるよう、地盤改良等の処理を行うこと。

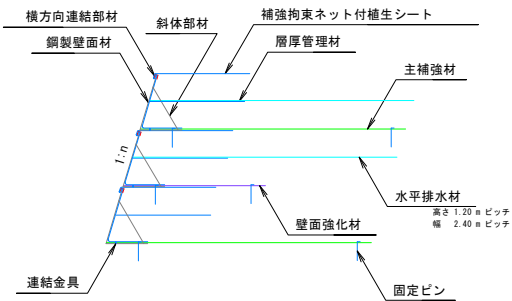
設計安全率

項目	安全率の種類	常時	地震時
内的安定	引抜きに対する安全率	$F_s \geq 2.00$	$F_s \geq 1.20$
	滑動に対する安全率	$F_s \geq 1.50$	$F_s \geq 1.20$
外的安定	転倒に対する許容値	$e \leq LB/6$	$e \leq LB/3$
	支持力に対する安全率	$F_s \geq 3.00$	$F_s \geq 2.00$
全体安定	基礎地盤を含むすべりに対する安全率	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$

概念図(斜壁)



壁面部詳細図

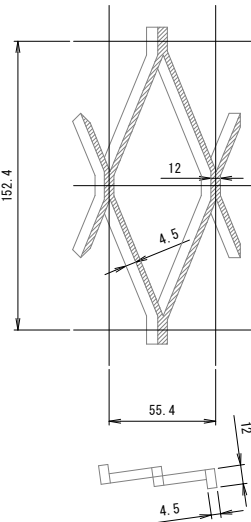
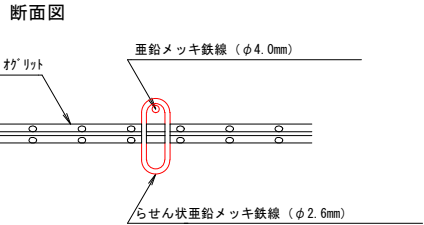
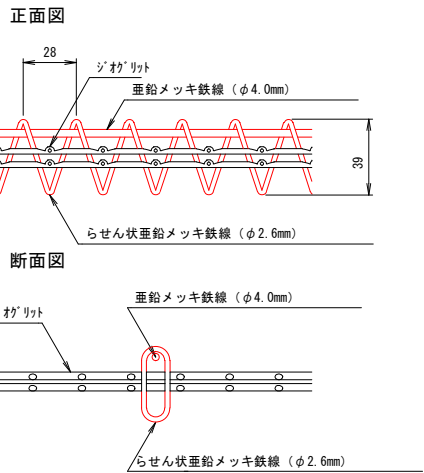


接続部詳細図（ジ`オ`グ`リット+ジ`オ`グ`リット）

S=1:2

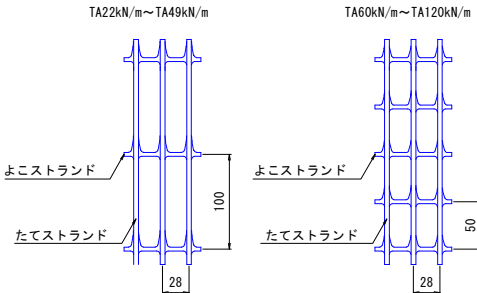
のり面ユニット菱目詳細図

S=1:2



ジ`オ`グ`リット詳細図

S=1:4



位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	2号補強盛土工法標準断面図		
単 位	MM	縮尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 11			
令和 8 年度施行			

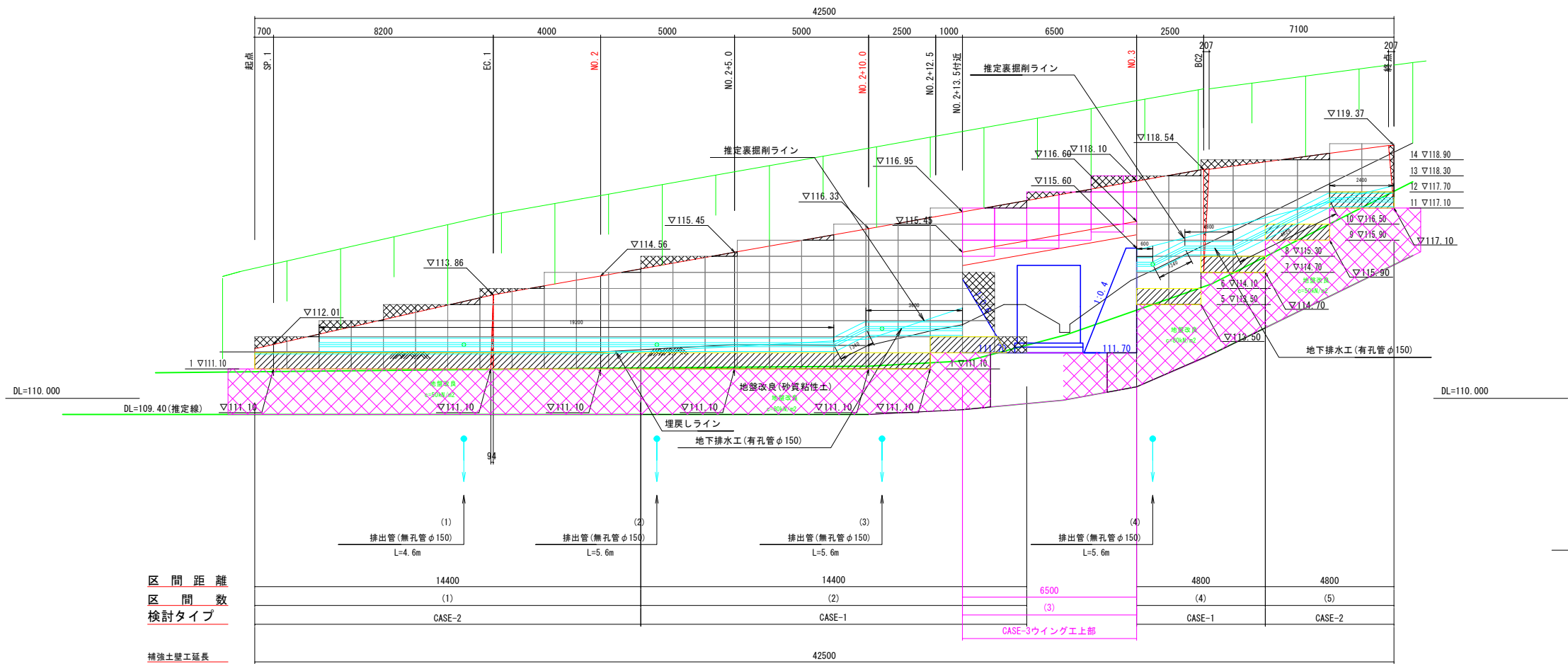
2号補強盛土（ジオテキスタイル）工法地下排水工図

(No. 1+4. 0付近～No. 3+8. 0付近右側)

2号補強土盛土展開図

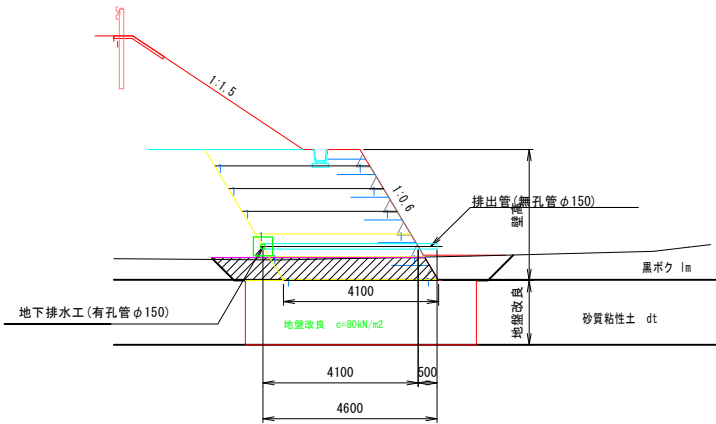
No. 1+4. 0～No. 3+8. 0（右側）

S=1:100

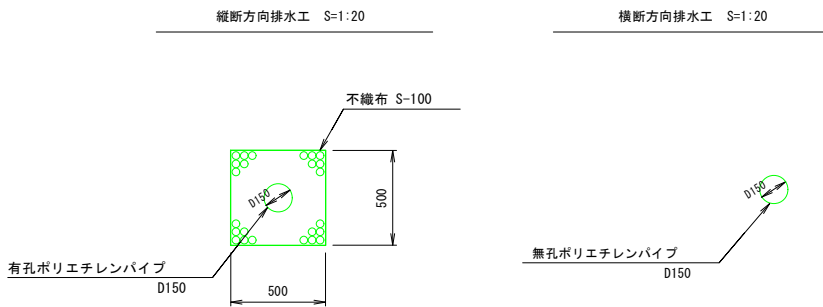


暗渠排水材標準断面図 S=1:100

No. 2付近



地下排水工詳細図

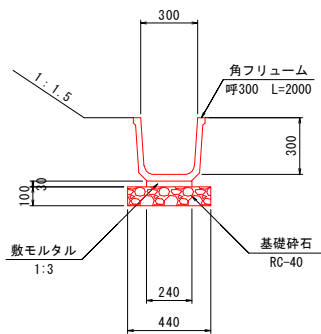


特記事項

基礎排水工	補強土壁の底面には、地下水および地山からの湧水等による補強領域内への浸入を防止し、速やかに補強領域外に排除するため、基礎地盤の表面に厚さ50cm程度の基礎排水工を設置する。 基礎排水工には、砕石または砂等の透水性が高く、せん断強度の大きい止質材料を用いるものとし、透水係数は1×10 ⁻² ～1×10 ⁻³ (cm/s) 程度以上、かつ盛土材料の透水係数の100倍程度以上とする。 基礎排水工に細粒分が浸入することが考えられる場合は、基礎排水工の上面に吸出し防止材（ジオフリースなど）を敷設する。
水平排水層	補強領域内への浸透水を排除するため、盛土の一定厚さごとに、補強領域内に適切な排水勾配で水平排水層を設ける。 排水材料としては、砕石や砂または高い排水機能を有する不織布や透水マット（エンドレンフィルター）を用いる。 補強領域の水平排水層は、湧水等を補強領域内に導水しないように切盛境に設置する縦断排水工と連絡しない。
切盛境排水工	水が集まりやすい切盛境や掘削のり面には切盛境排水溝を設ける。排水材料としては、砕石または砕石と同等の排水機能を有する透水マット（裏面排水材）を用いる。 この場合の設置間隔の目安は、裏面排水材は5mを目安とするが、湧水の状況に応じて設置間隔や配置を決定する。 調査の時点では予測されなかった湧水があるときは、その程度に応じて別途適切な排水施設を計画する。
横断方向排水工	補強土壁の横断方向には、横断方向排水工を10mの間隔で設け、補強土壁の最深部には2箇所設置する。
縦断方向排水工	水が集まりやすい切盛境や掘削のり面の小段には、湧水量の程度に応じて適切な縦断方向排水工を設ける。
留意事項	地盤改良工は、BOX 橋台完成後の施工は掘削が困難な可能性があるため、BOX 橋台施工時に行うこと。

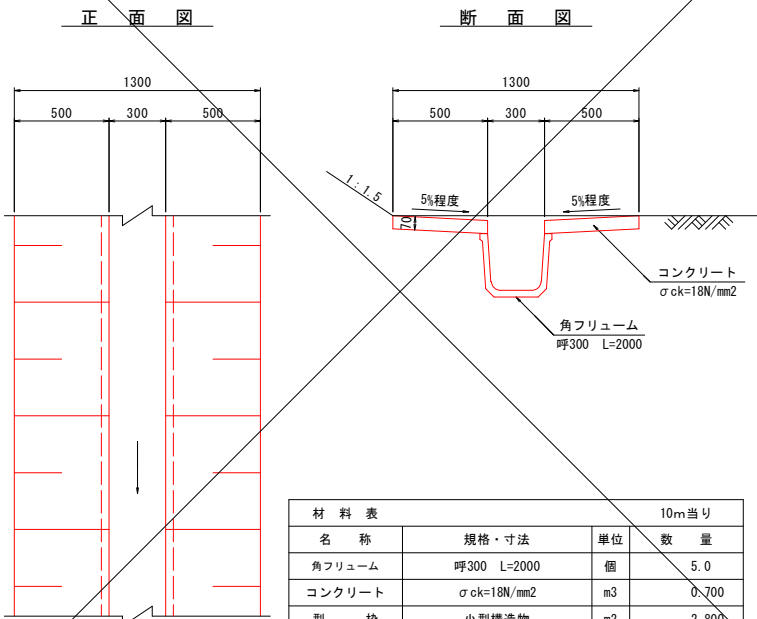
位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	2号補強盛土工法地下排水工図		
単位	MM	縮尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 12			
令和 年度施行			

角フリューム
FS-300 S=1:20



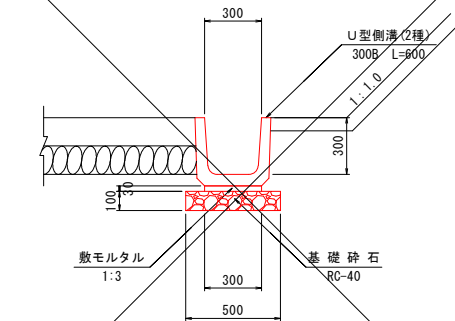
材 料 表					10m当り
名 称	規格・寸法	単位	数	量	
角フリューム	呼300 L=2000	個	5.0		
敷モルタル	1:3	m3	0.072		
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	4.400		

道路用縦排水路
土羽部 S=1:20



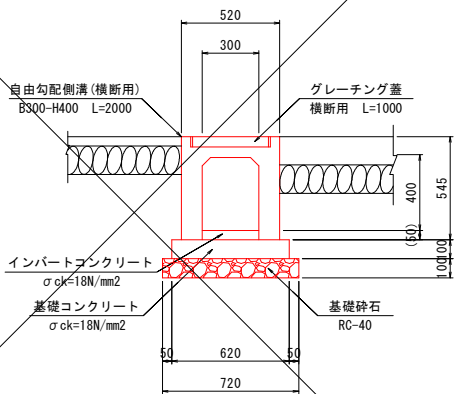
材 料 表					10m当り
名 称	規格・寸法	単位	数	量	
角フリューム	呼300 L=2000	個	5.0		
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.700		
型 枠	小型構造物	m2	2.800		
目 地 材	t=10mm	m2	0.070		

プレキャスト上ふた式U型側溝
PU3-300B S=1:20



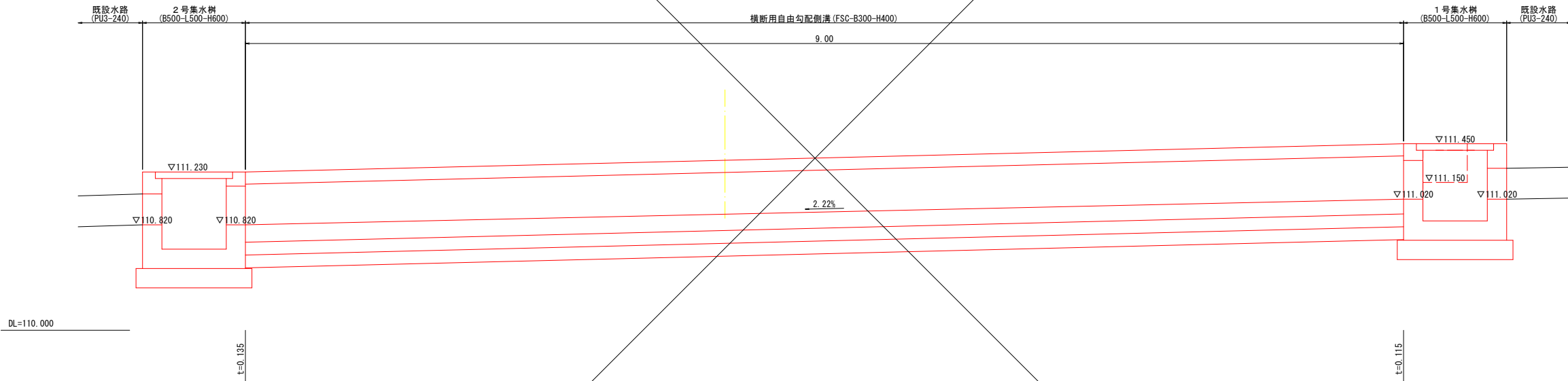
材 料 表					10m当り
名 称	規格・寸法	単位	数	量	
U 型 側 溝	2種 300B L=600	個	16.5		
敷モルタル	1:3	m3	0.090		
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	5.000		

横断用自由勾配側溝
FSC-B300-H400 S=1:20



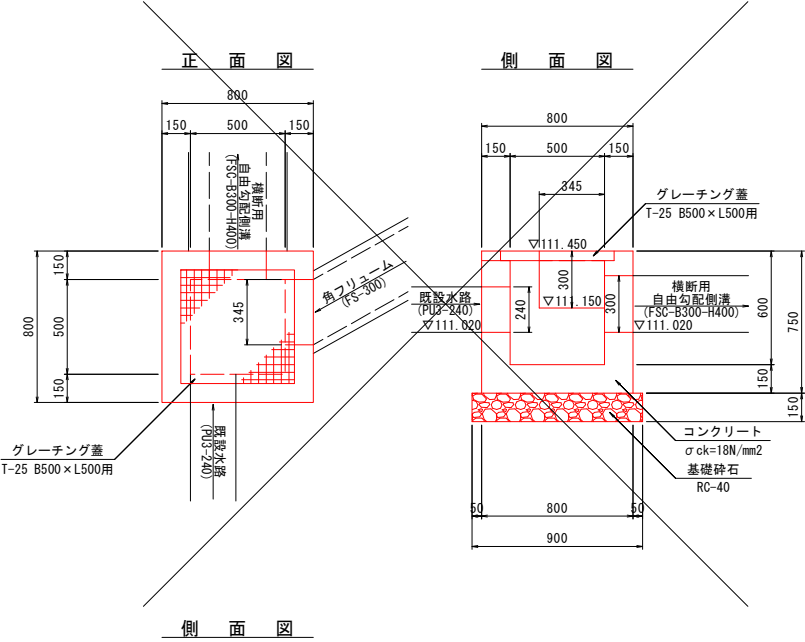
材 料 表					10m当り
名 称	規格・寸法	単位	数	量	
自由勾配側溝	横断用 B300-H400 L=2000	本	5.0		
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.375		
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.620		
基礎コン型枠	均し基礎コンクリート	m2	2.000		
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	7.200		
グレーチング蓋	横断用 L=1000	枚	5.0		

自由勾配側溝展開図
NO. 0付近 S=1:20

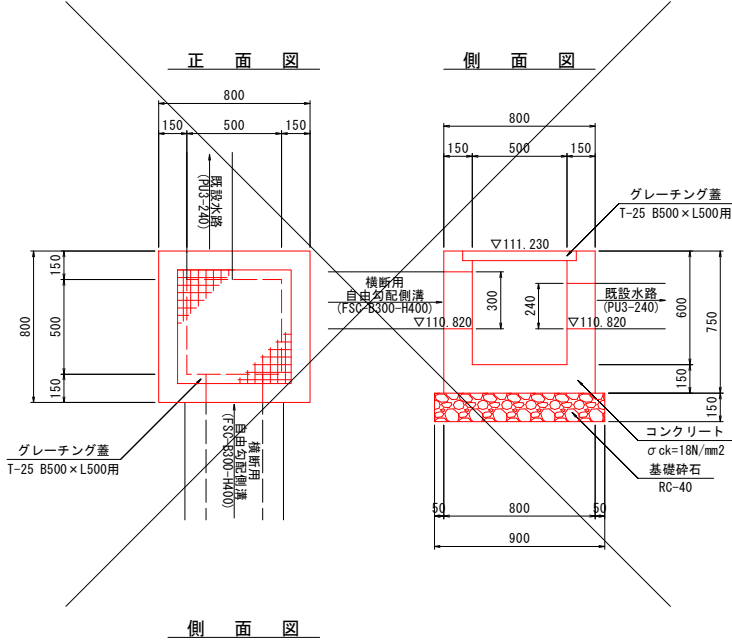


位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工 事 名	中山第3配水池導排水管路整備工事		
図 名	排水構造物工構造図 (1/2)		
単 位	M, MM	縮 尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 13			
令和 8 年度施行			

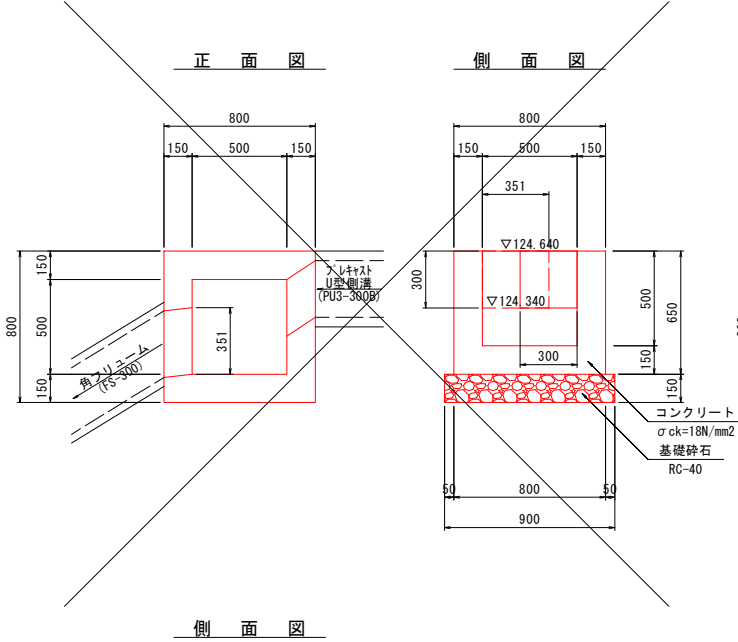
1号集水樹
B500-L500-H600 S=1:20



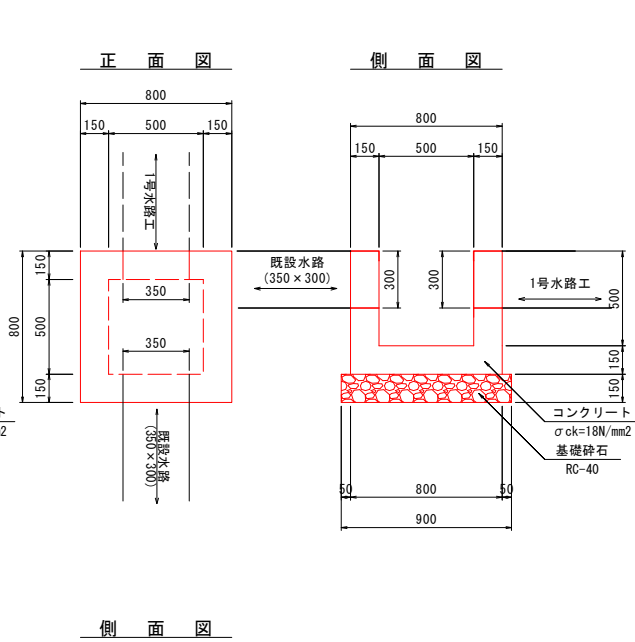
2号集水樹
B500-L500-H600 S=1:20



3号集水樹
B500-L500-H500 S=1:20



4号集水樹
B500-L500-H500 S=1:20



材 料 表				1箇所当り	
名 称	規格・寸法	単位	数 量		
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.292		
型 枠	小型構造物	m2	3.864		
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	0.810		
グレーチング蓋	T-25 B500×L500用	組	1.0		

材 料 表				1箇所当り	
名 称	規格・寸法	単位	数 量		
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.308		
型 枠	小型構造物	m2	3.929		
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	0.810		
グレーチング蓋	T-25 B500×L500用	組	1.0		

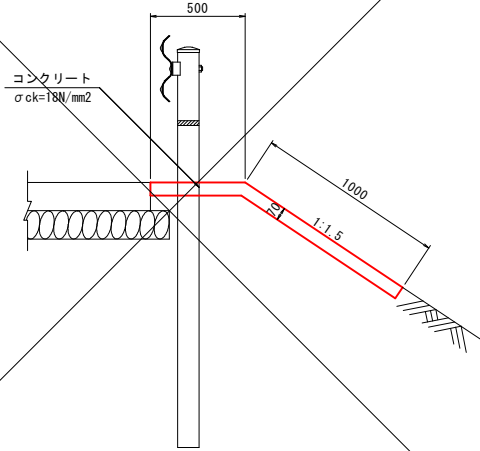
材 料 表				1箇所当り	
名 称	規格・寸法	単位	数 量		
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.262		
型 枠	小型構造物	m2	3.267		
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	0.810		

材 料 表				1箇所当り	
名 称	規格・寸法	単位	数 量		
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.260		
型 枠	小型構造物	m2	2.960		
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	0.810		

位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工 事 名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	排水構造物工構造図(2/2)		
単 位	MM	縮 尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 14			
令和 8 年度施行			

1号路肩保護コンクリート

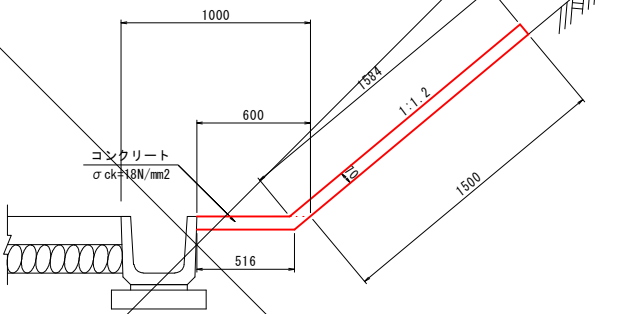
(管理用道路 盛土部) S=1:20



材 料 表 10m当り				
名 称	規格・寸法	単位	数	量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.050	
型 枠	小型構造物	m2	0.700	
目 地 材	t=10mm	m2	0.263	

3号路肩保護コンクリート

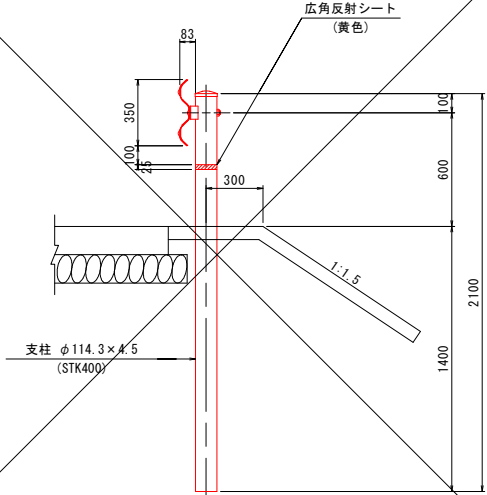
(管理用道路 切土部) S=1:20



材 料 表 10m当り				
名 称	規格・寸法	単位	数	量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.470	
型 枠	小型構造物	m2	1.400	
目 地 材	t=10mm	m2	0.368	

ガードレール

Gr-C-4E S=1:20

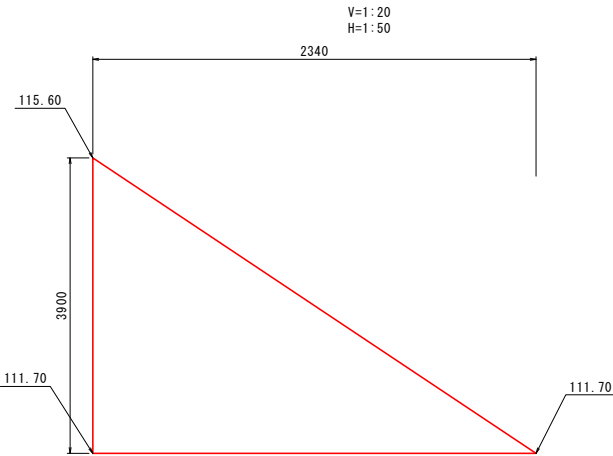


材 料 表 10m当り				
名 称	規格・寸法	単位	数	量
ガードレール	Gr-C-4E	m	10.0	

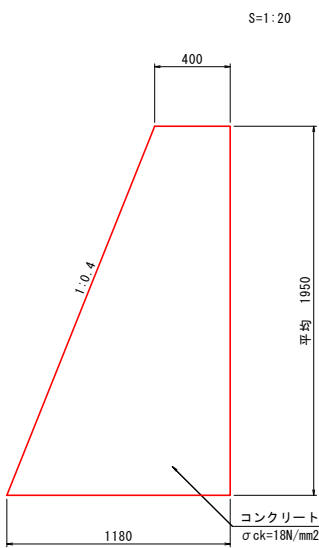
重力式擁壁工

(GW76) S=1:20

擁壁展開図



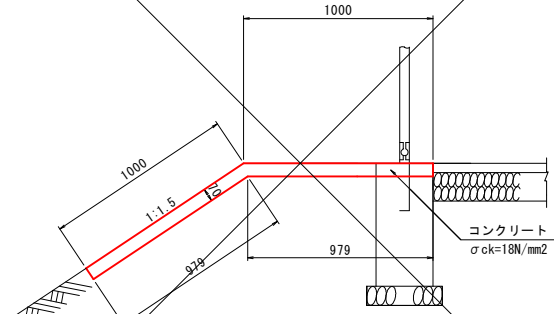
擁壁平均断面図



材 料 表 10m当り			
名 称	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	15.405
型 枠	小型構造物	m2	40.502

2号路肩保護コンクリート

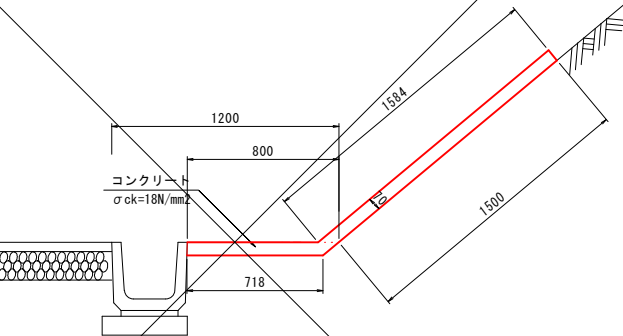
(配水池 盛土部) S=1:20



材 料 表 10m当り				
名 称	規格・寸法	単位	数	量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.385	
型 枠	小型構造物	m2	0.700	
目 地 材	t=10mm	m2	0.346	

4号路肩保護コンクリート

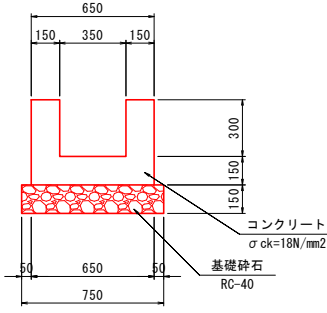
(配水池 切土部) S=1:20



材 料 表 10m当り				
名 称	規格・寸法	単位	数	量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.611	
型 枠	小型構造物	m2	1.400	
目 地 材	t=10mm	m2	0.403	

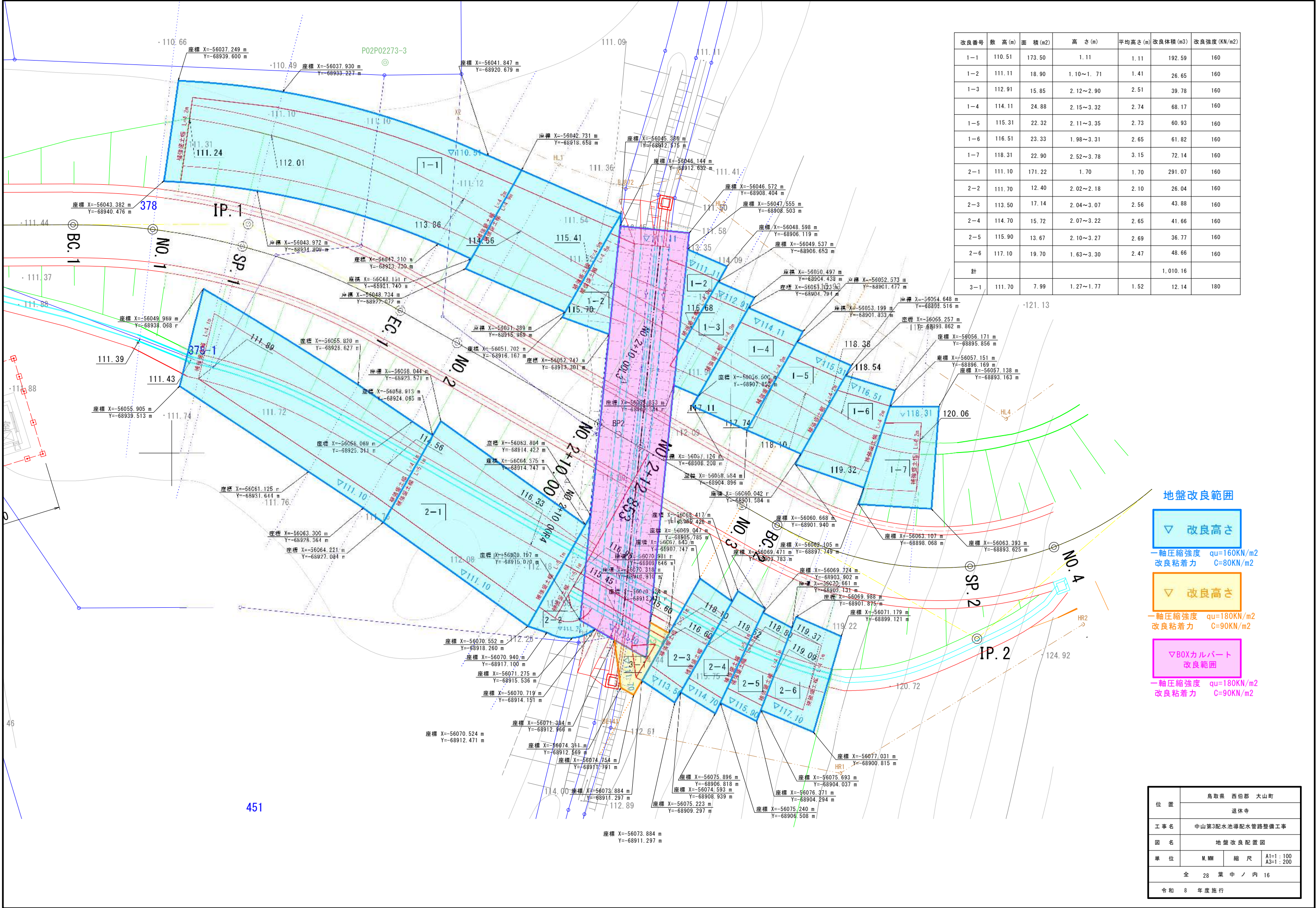
1号水路工

B350-H300 S=1:20



材 料 表 10m当り				
名 称	規格・寸法	単位	数	量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.875	
型 枠	小型構造物	m2	18.000	
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	7.500	

位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工 事 名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	緑石工、擁壁工構造図 防護柵工構造図(1/2)		
単 位	MM	縮 尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 15			
令和 8 年度施行			



改良番号	敷 高 (m)	面 積 (m2)	高 さ (m)	平均高さ (m)	改良体積 (m3)	改良強度 (KN/m2)
1-1	110.51	173.50	1.11	1.11	192.59	160
1-2	111.11	18.90	1.10~1.71	1.41	26.65	160
1-3	112.91	15.85	2.12~2.90	2.51	39.78	160
1-4	114.11	24.88	2.15~3.32	2.74	68.17	160
1-5	115.31	22.32	2.11~3.35	2.73	60.93	160
1-6	116.51	23.33	1.98~3.31	2.65	61.82	160
1-7	118.31	22.90	2.52~3.78	3.15	72.14	160
2-1	111.10	171.22	1.70	1.70	291.07	160
2-2	111.70	12.40	2.02~2.18	2.10	26.04	160
2-3	113.50	17.14	2.04~3.07	2.56	43.88	160
2-4	114.70	15.72	2.07~3.22	2.65	41.66	160
2-5	115.90	13.67	2.10~3.27	2.69	36.77	160
2-6	117.10	19.70	1.63~3.30	2.47	48.66	160
計					1,010.16	
3-1	111.70	7.99	1.27~1.77	1.52	12.14	180

地盤改良範囲

▽ 改良高さ

一軸圧縮強度 $qu=160\text{KN/m}^2$
改良粘着力 $C=80\text{KN/m}^2$

▽ 改良高さ

一軸圧縮強度 $qu=180\text{KN/m}^2$
改良粘着力 $C=90\text{KN/m}^2$

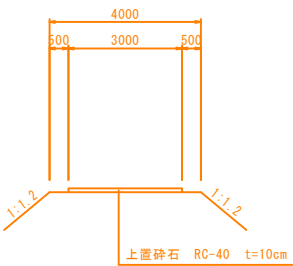
▽B70Xカルバート
改良範囲

一軸圧縮強度 $qu=180\text{KN/m}^2$
改良粘着力 $C=90\text{KN/m}^2$

位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工 事 名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	地盤改良配置図		
単 位	M,MM	縮 尺	A1=1 : 100 A3=1 : 200
全 28 葉 中 ノ 内 16			
令和 8 年度施行			

仮設道路計画

S=1:100



地盤改良範囲

▽ 改良高さ

施工手順

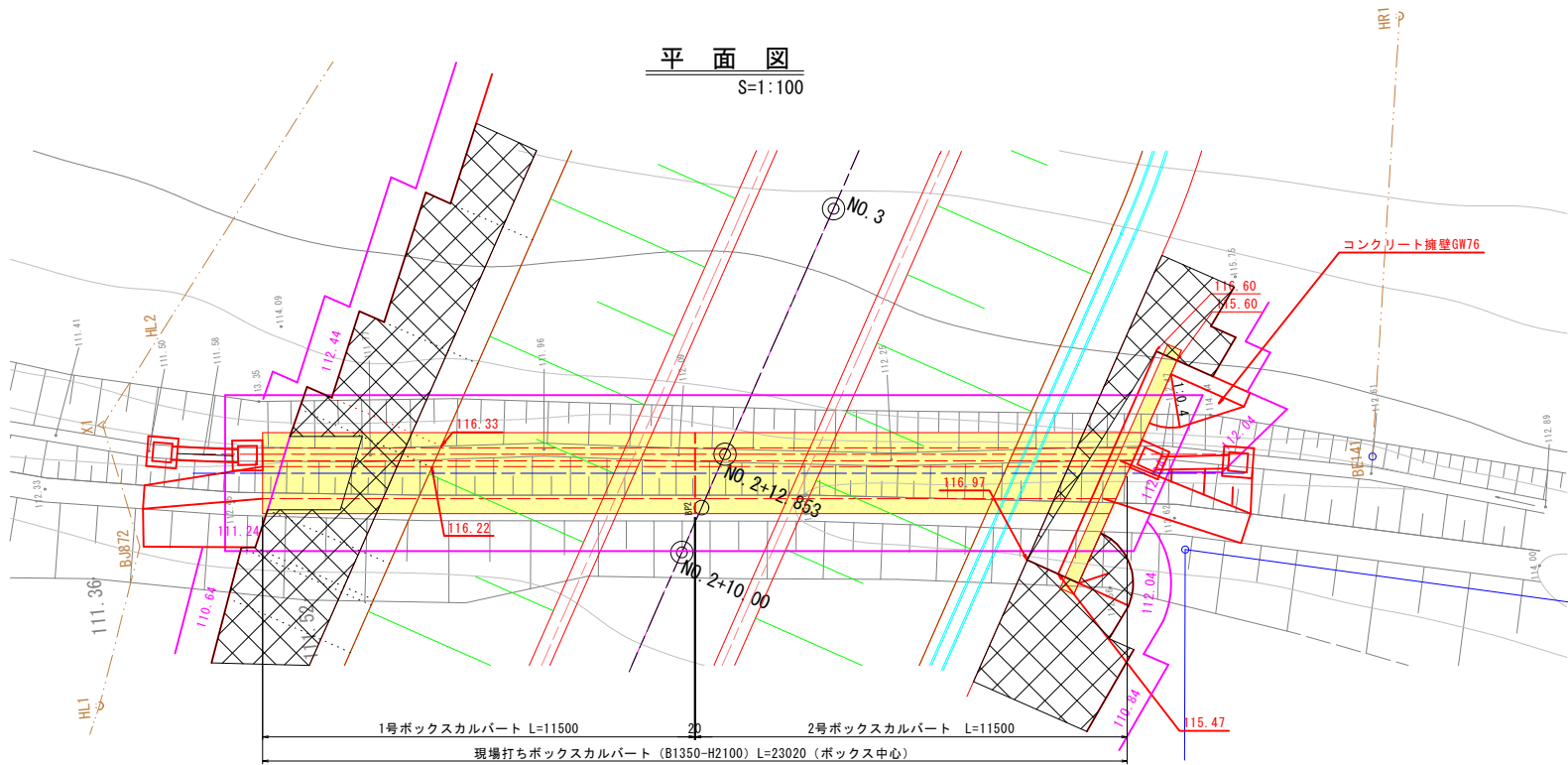
- BOXカルバート範囲地盤改良
- ↓
- 仮設道路構築
- ↓
- 補強盛土範囲地盤改良
- ↓
- BOXカルバート構築
- ↓
- 補強盛土及び道路構築

位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	仮設道路計画		
単位	M,MM	縮尺	A1=1:100 A3=1:200
全 28 葉 中 ノ 内 17			
令和 8 年度施行			

ボックスカルバート一般図

平面図

S=1:100



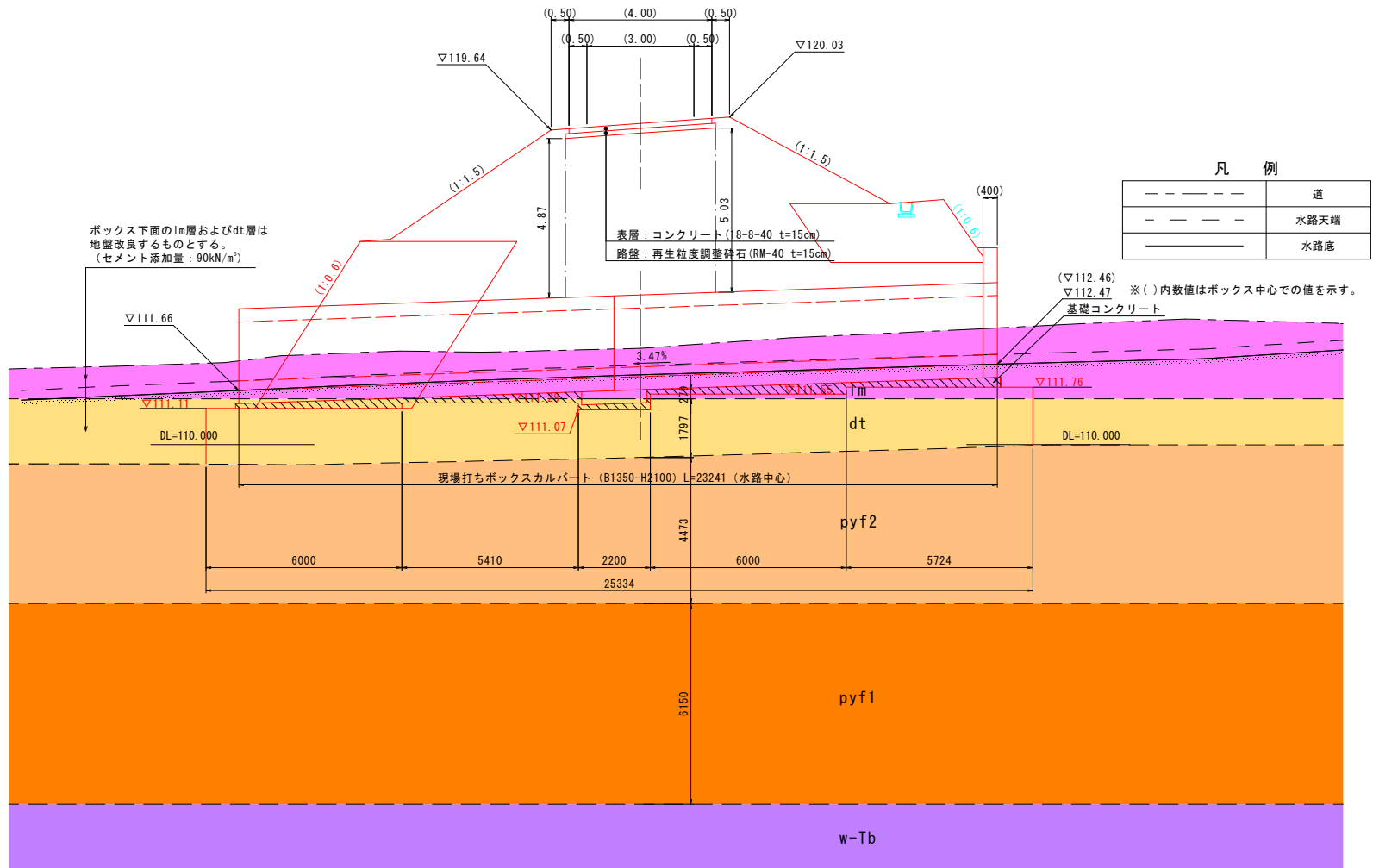
横断図

S=1:100

NO. 2+12.853

GH=112.14

FH=119.84



凡例

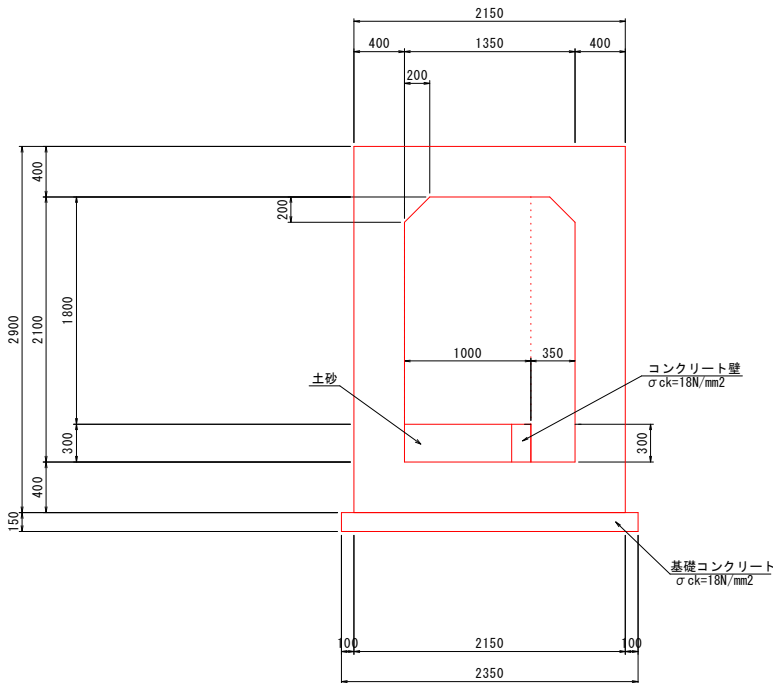
---	道
- - - -	水路天端
=====	水路底

(凡例) ※ () 内数値はボックス中心での値を示す。
基礎コンクリート

現場打ちボックスカルバート

B1350-H2100

S=1:30

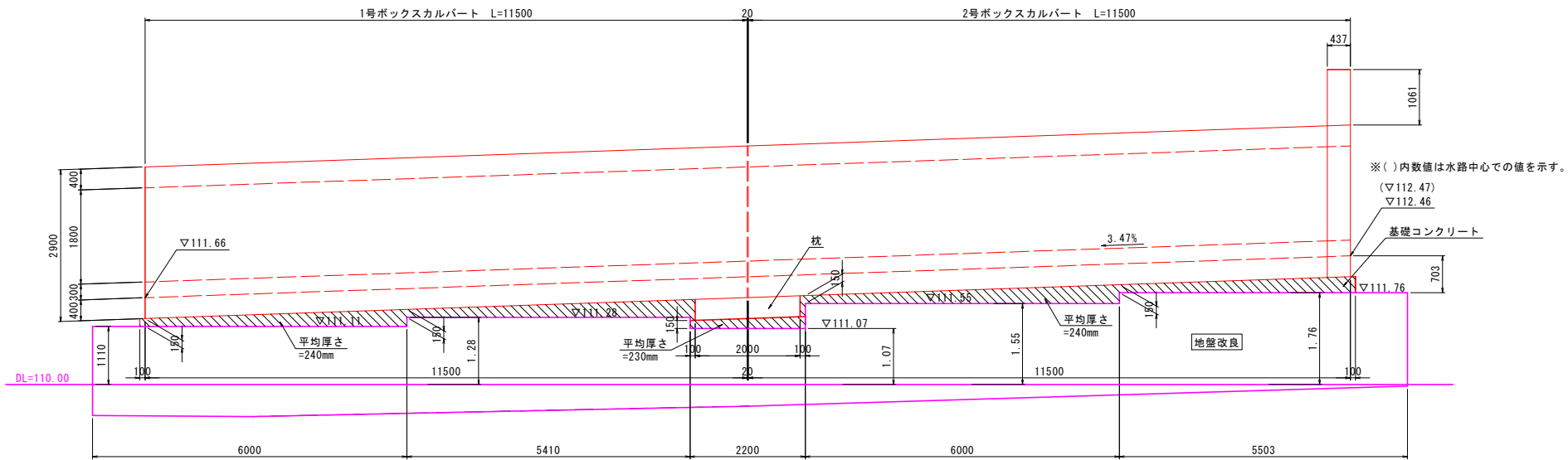


地層名	記号	代表N値 (N値の範囲)	確認層厚 (m)	層相
表土層(黒ボク)	lm	2 (2~3)	1.48~1.60	黒ボク(粘性土)を主体とする。 細砂分が少量混入する。 植物根が少量混入する。 含水: 中位
崩積土層	dt	3 (3~4)	1.82~4.47	粘性土分を主体とする。 細砂分が少量混入する。 黒色の細礫が点在する。 細礫は指圧で容易に崩れる。 含水: 小位~中位
第二火砕流堆積物層	pyf2	33 (25~42)	4.45~8.93	砂礫状で採取。 最大コア長L=14cmの玉石あり。 亀裂に沿って風化が顕著である。 最大コア長L=90cmの転石あり。
第一火砕流堆積物層	pyf1	8 (3~15)	6.15~8.00	礫混じり砂質粘性土状で採取。 最大コア長L=26cmの玉石あり。 細礫は指圧で容易に崩れる。 亀裂に沿って風化が顕著である。
風化凝灰角礫岩	w-Tb	185 (50~300)	4.00~5.23	凝灰角礫岩の風化帯。 短柱状~柱状コアを主体とする。 土区分は軟岩である。 ハンマー打撃でやや鈍い音を発する。 マトリックスは土丹状を呈する。 RQD: 50~60%

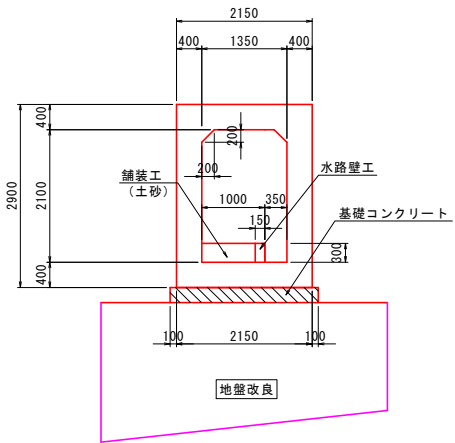
位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	ボックスカルバート一般図		
単位	M, MM	縮尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 18			
令和 8 年度施行			

ボックスカルバート構造図

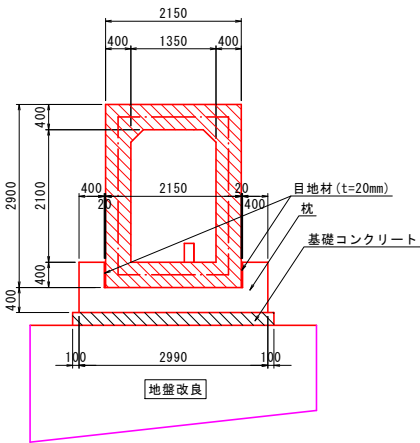
縦断図 S=1:60
(ボックス中心)



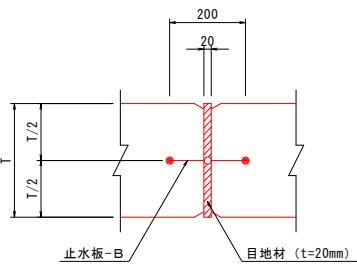
断面図 S=1:60



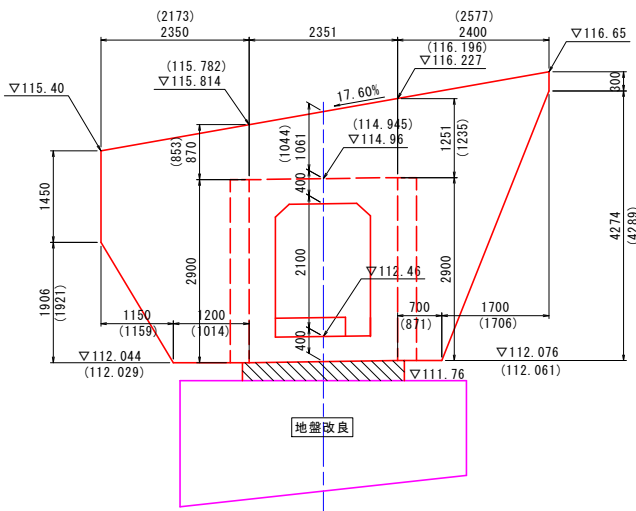
目地部断面図 S=1:60



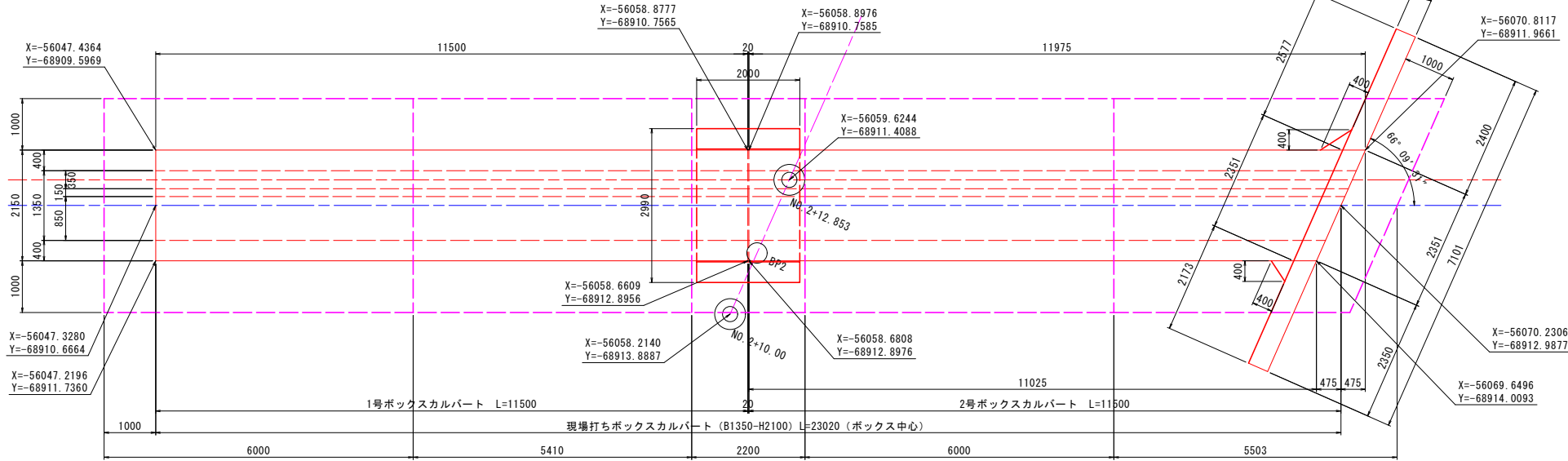
伸縮継手 S=1:10
(I型)



ウイング正面図 S=1:60



平面図 S=1:60



使用材料

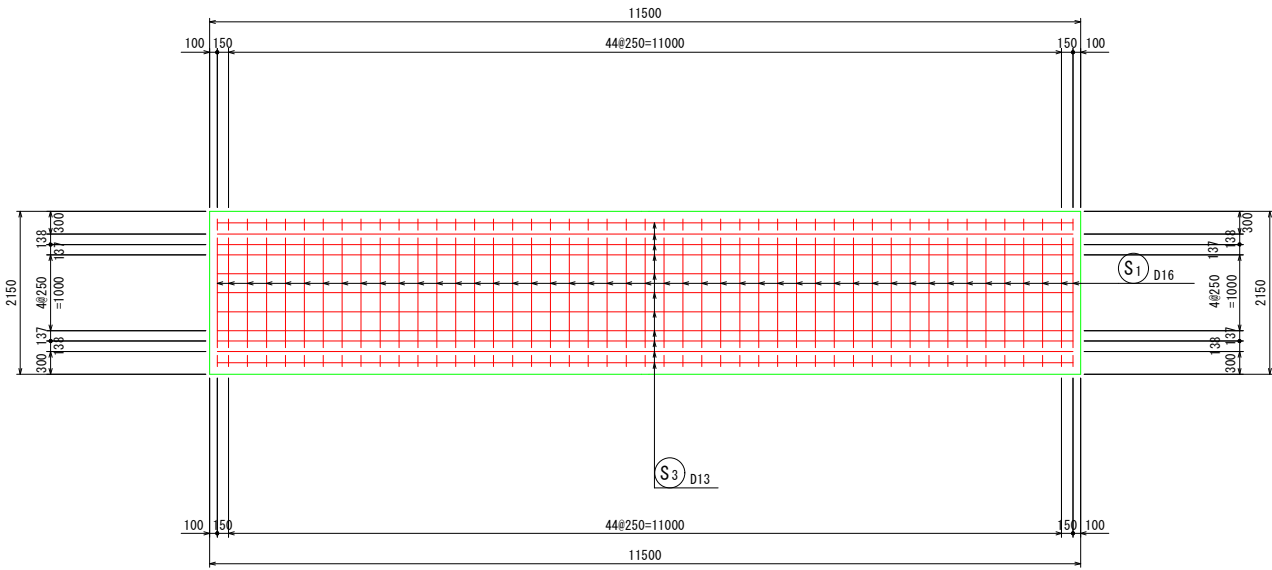
名 称	規 格	摘 要
コンクリート	ボックス、枕	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
水路壁工		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
基礎コンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄 筋	SD345	

※地盤改良のセメント添加量は 90kN/m^3 とする。

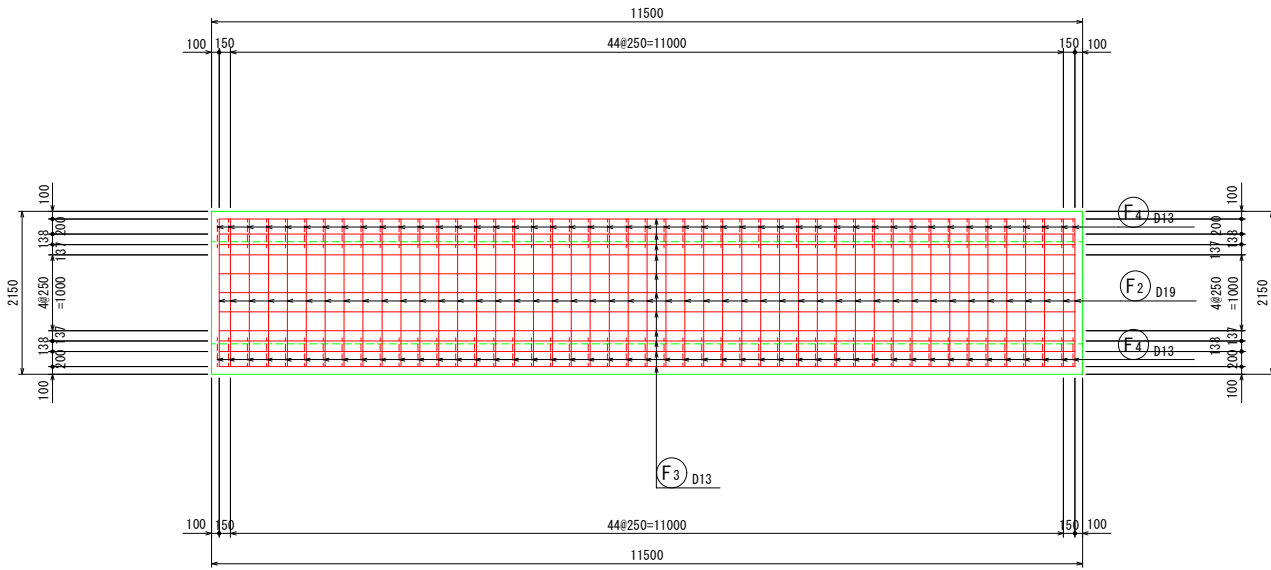
位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	ボックスカルバート構造図		
単 位	MM	縮尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 19			
令和 8 年度施行			

1号ボックスカルバート配筋図（その1） S=1:50

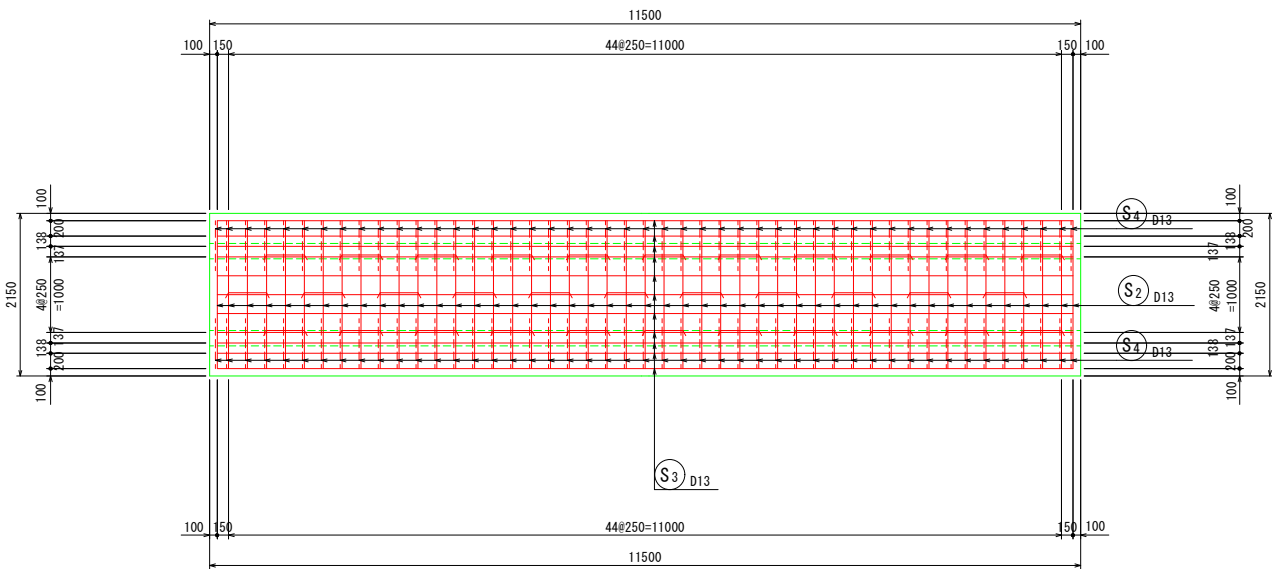
頂版上面 (1 - 1)



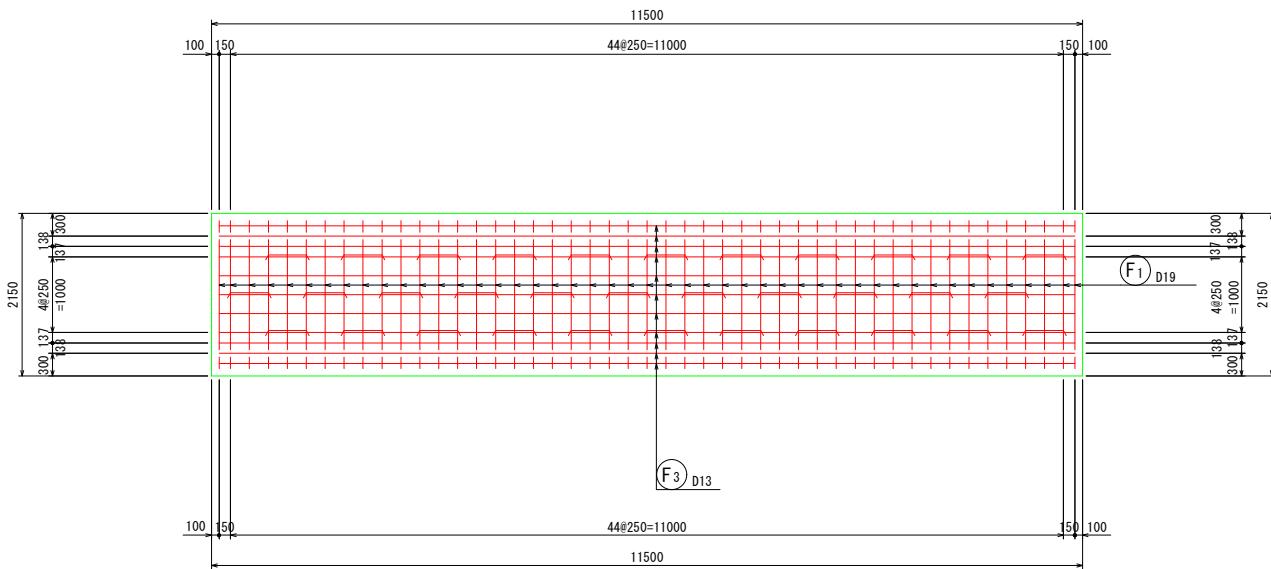
底板上面 (3 - 3)



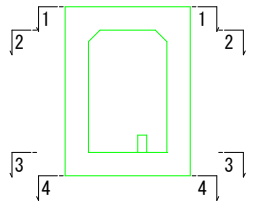
頂版下面 (2 - 2)



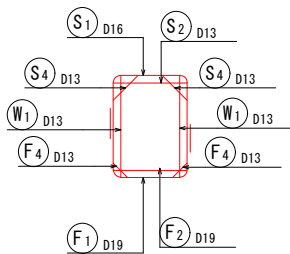
底板下面 (4 - 4)



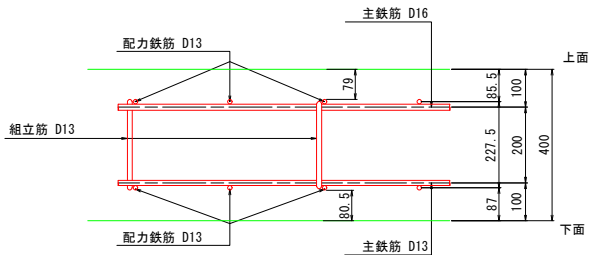
位置図



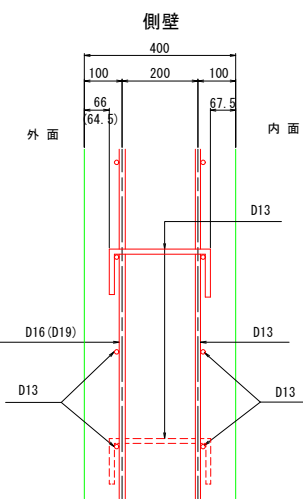
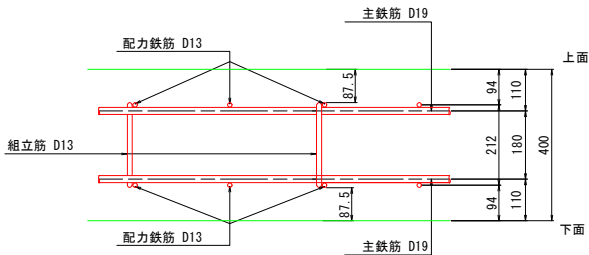
主鉄筋組立図



頂版



底板

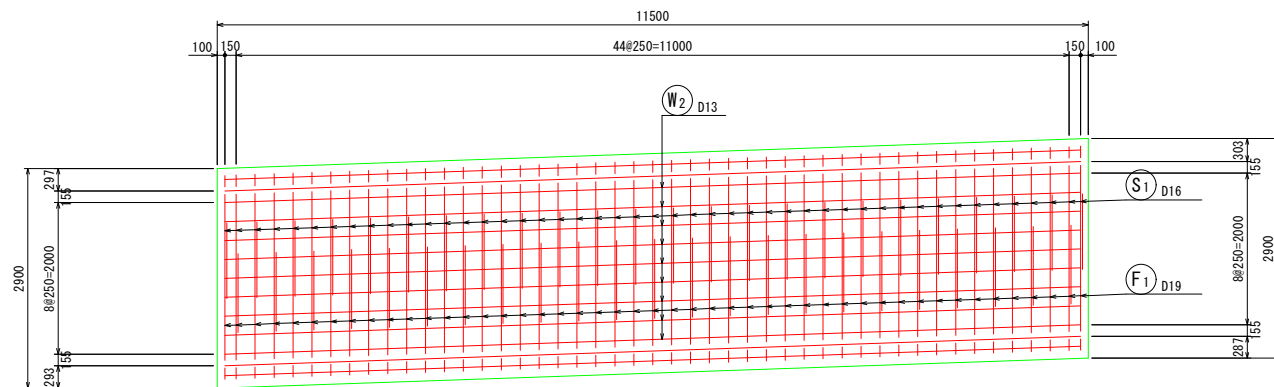


* () 内は底板鉄筋を示す。

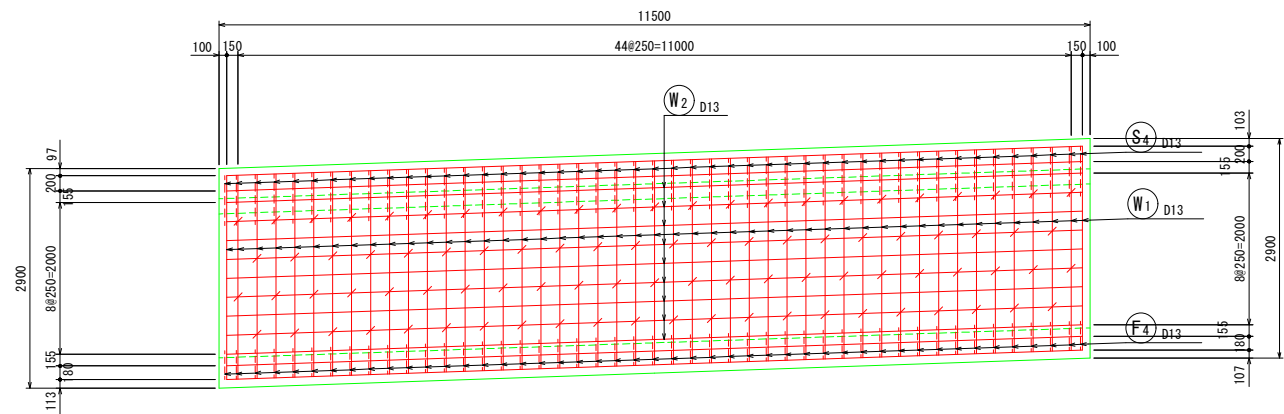
位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	1号ボックスカルバート配筋図（その1）		
単位	M, MM	縮尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 20			
令和 8 年度施行			

1号ボックスカルバート配筋図（その2） S=1:50

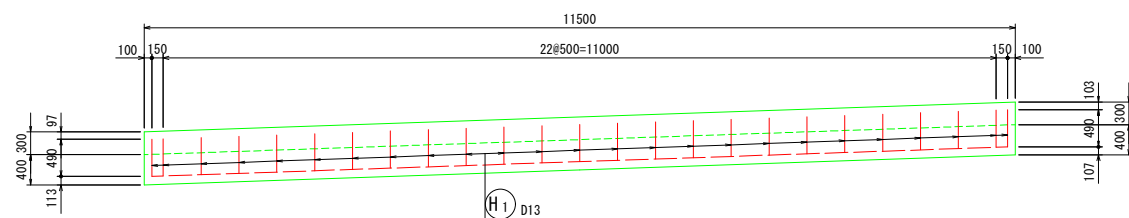
側壁外面 (5 - 5)



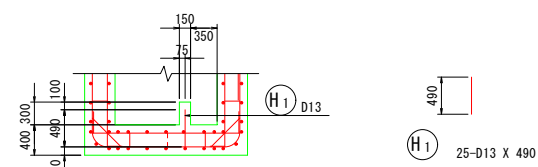
側壁内面(6 - 6)



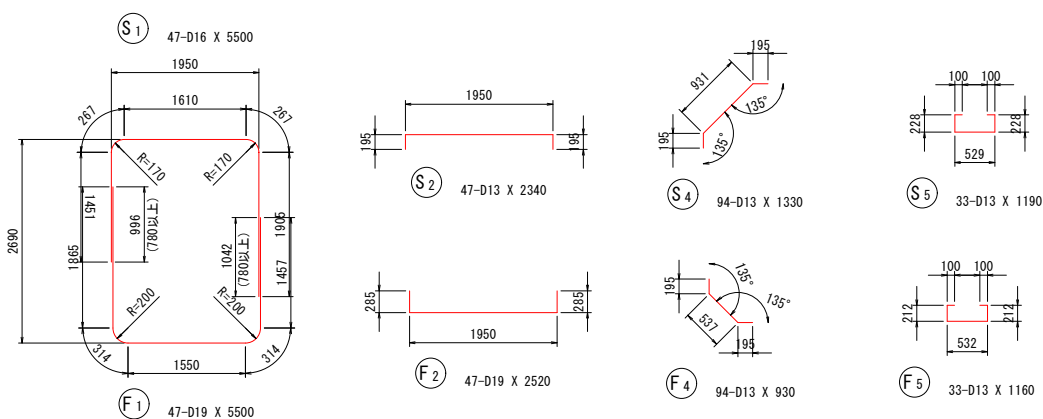
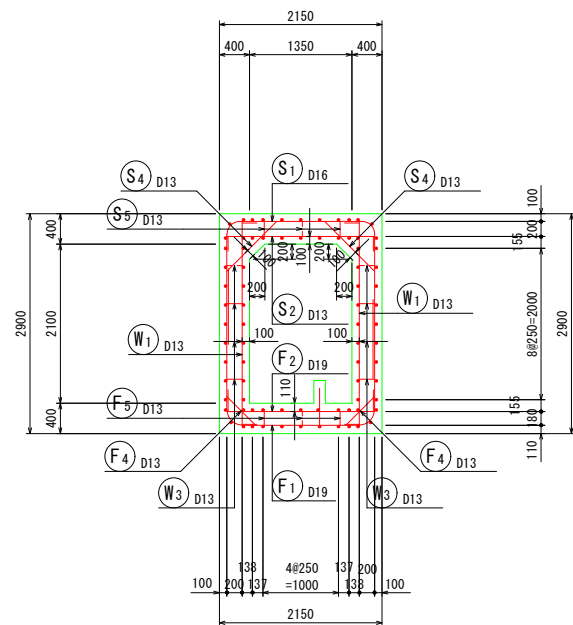
水路壁側面図



水路壁断面図

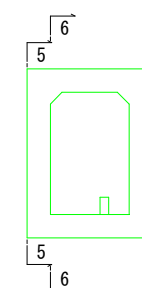


断面図



注) 側壁部の主鉄筋の重ね継手については、継手の離れが25φ以上とれない為、重ね継手長は、定着長の1.3倍以上(L=780以上)確保すること。

位置図

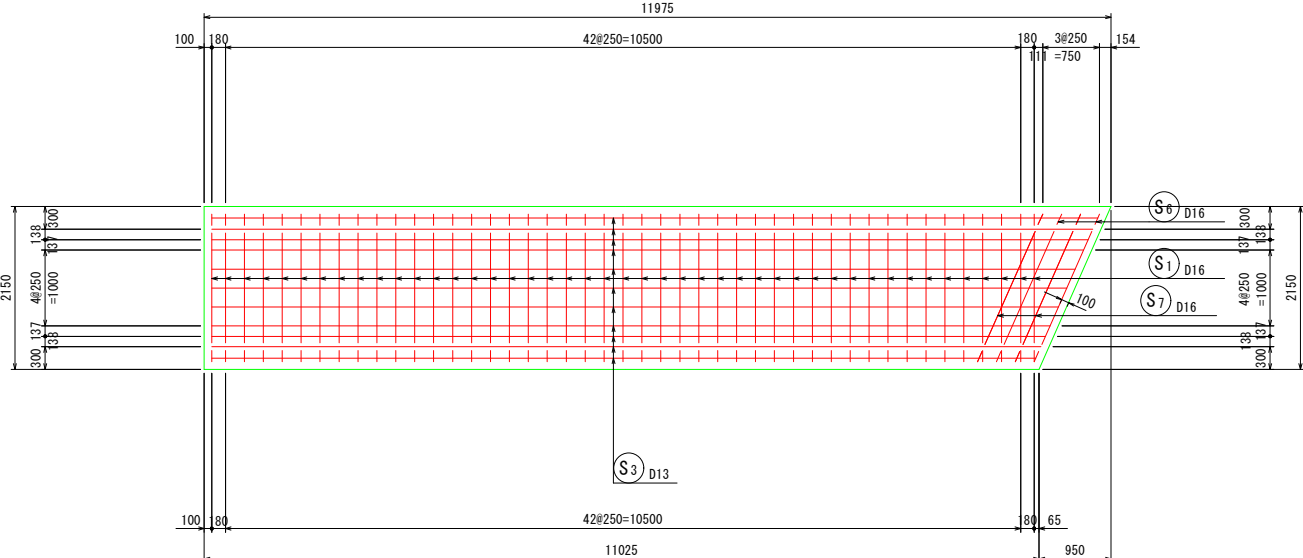
鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D16	5500	47	1.56	8.58	403	┌
S 2	D13	2340	47	0.995	2.33	110	┌───┐
S 3	D13	11310	22	0.995	11.25	248	───
S 4	D13	1330	94	0.995	1.32	124	└─┘
S 5	D13	1190	33	0.995	1.18	39	┌┐
924 kg							
W 1	D13	3080	94	0.995	3.06	288	┌
W 2	D13	11310	36	0.995	11.25	405	───
W 3	D13	460	180	0.995	0.46	83	┌┐
776 kg							
F 1	D19	5500	47	2.25	12.38	582	┌
F 2	D19	2520	47	2.25	5.67	266	┌───┐
F 3	D13	11310	22	0.995	11.25	248	───
F 4	D13	930	94	0.995	0.93	87	└─┘
F 5	D13	1160	33	0.995	1.15	38	┌┐
1221 kg							
H 1	D13	490	25	0.995	0.49	12	┌
12 kg							
合 計 D19							
				848 kg			
D16				403 kg			
D13				1682 kg			
総質量				2933 kg			

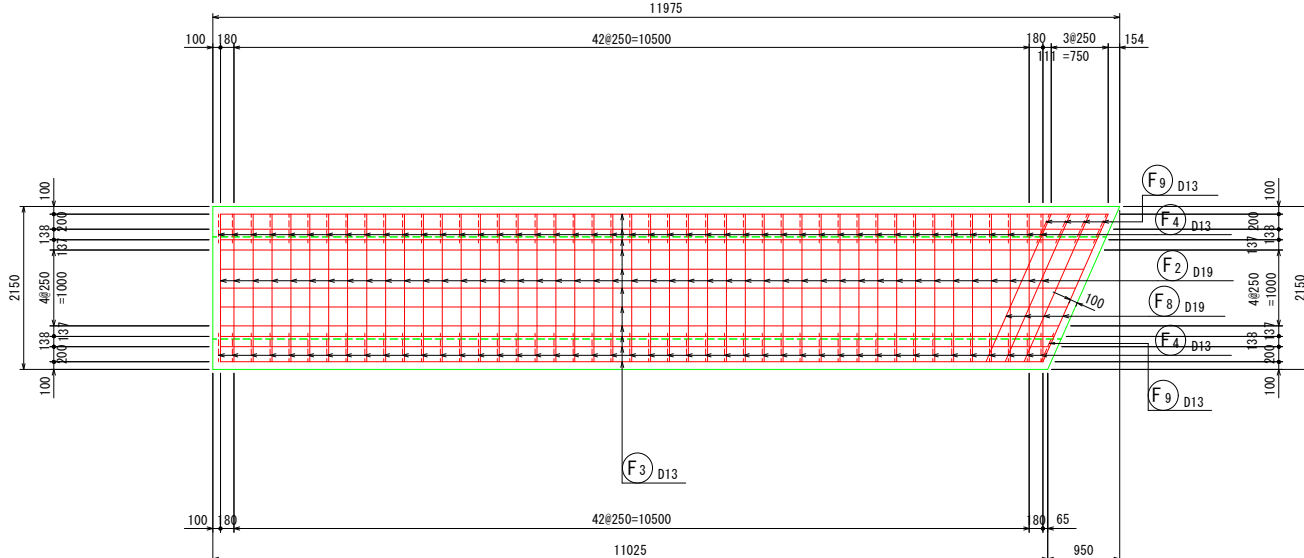
位 置	鳥 取 県 西 伯 郡 大 山 町		
	退 休 寺		
工 事 名	中山第3配水池灌配水管路整備工事		
図 名	1号ボックスカルバート配筋図（その2）		
単 位	M、MM	縮 尺	図 示
全 28 葉 中 ノ 内 21			
令和 8 年 度 施 行			

2号ボックスカルバート配筋図 (その1) S=1:50

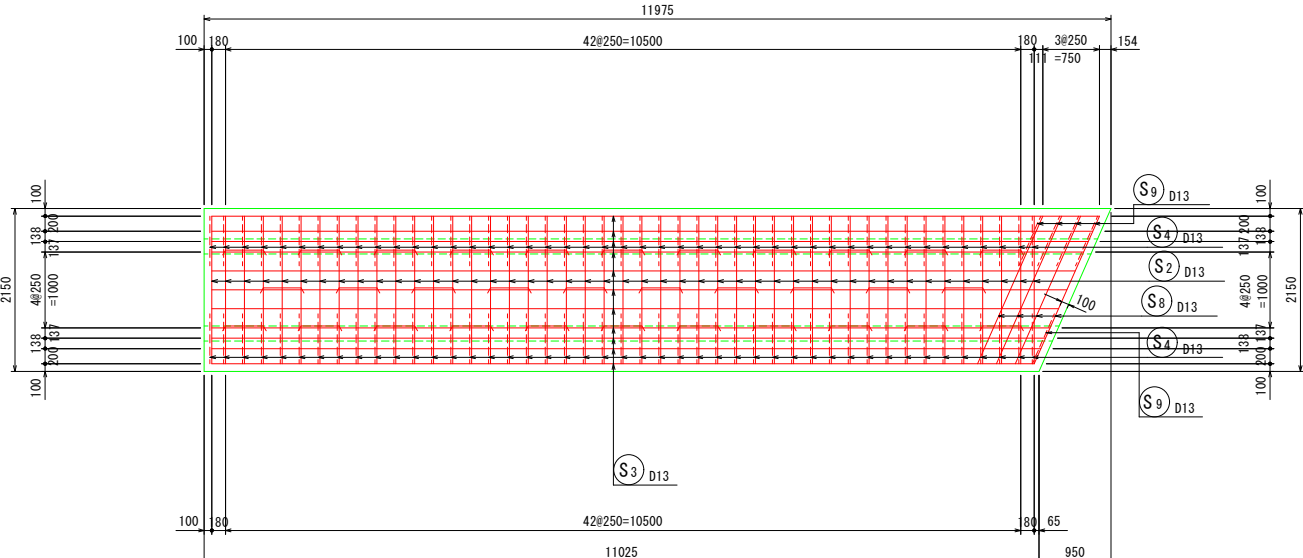
頂版上面(1 - 1



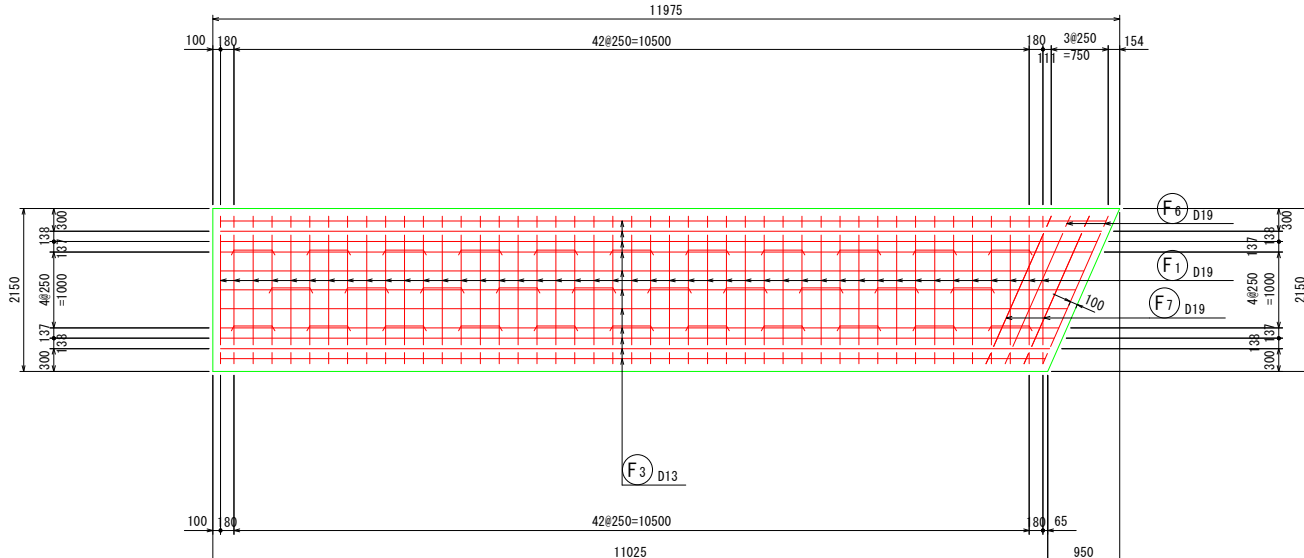
底版上面 (3 - 3)



頂版下面 (2 - 2)

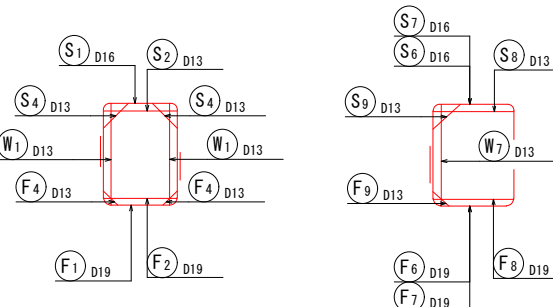


底版下面(4 - 4

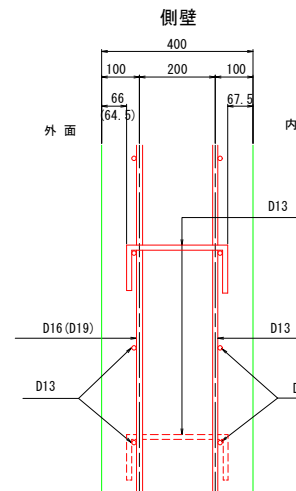
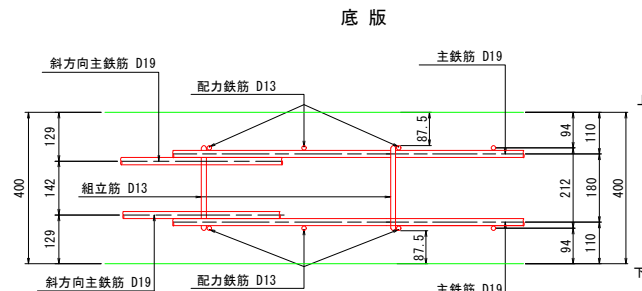
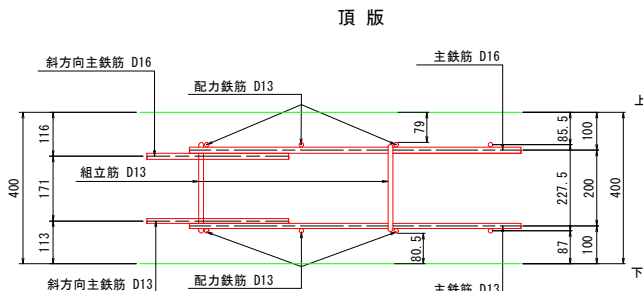


位置图

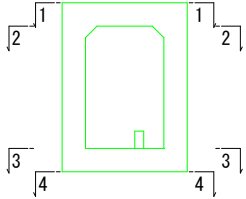
主鉄筋組立図



主鉄筋かぶり模式図 S=1:1



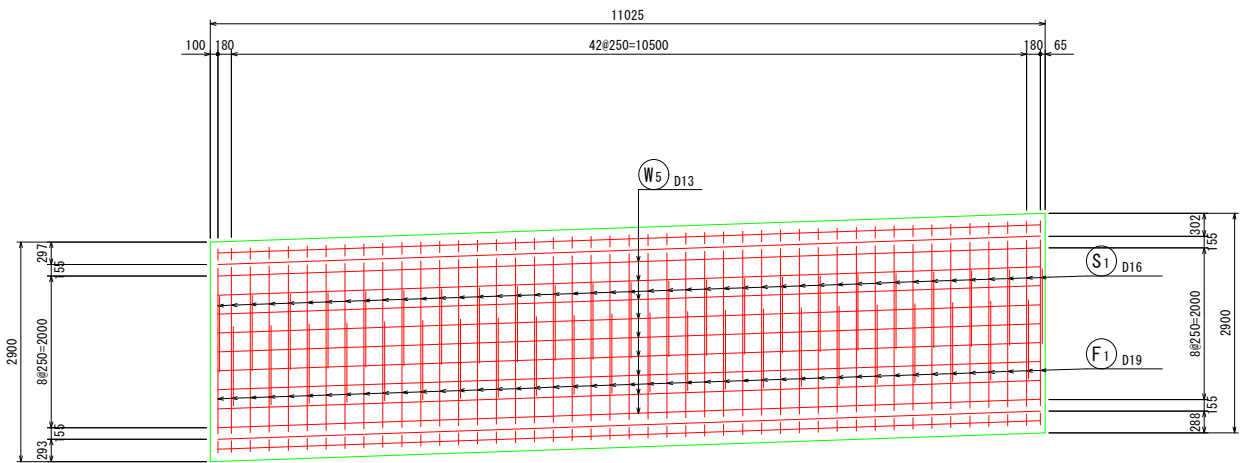
* () 内は底版鉄筋を示す



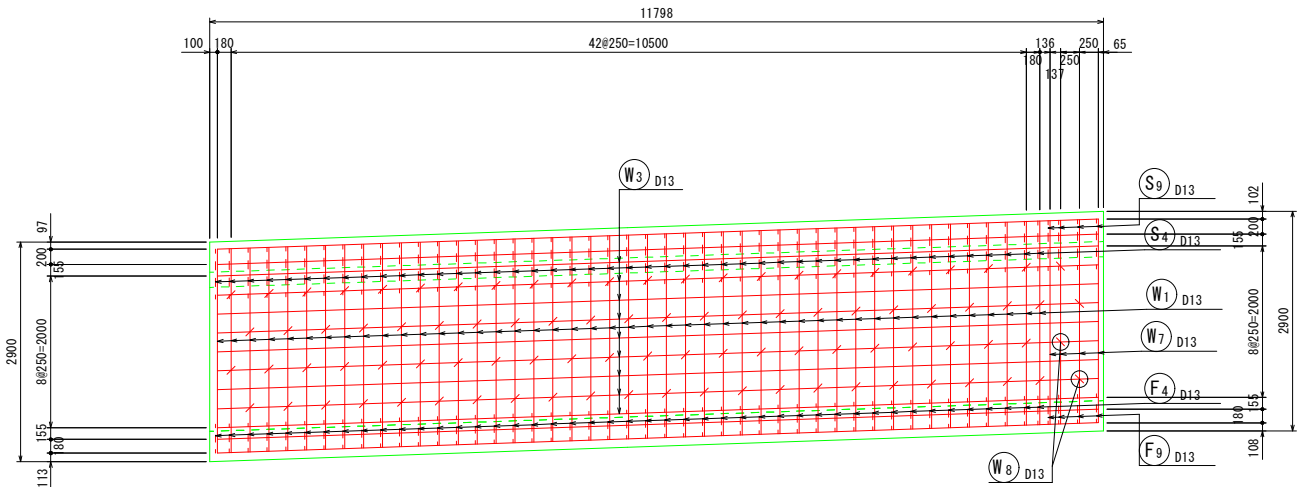
位 置	鳥 取 県 西 伯 郡 大 山 町		
	退 休 寺		
工 事 名	中山第3配水池灌配水管路整備工事		
図 名	2号ボックスカルバート配筋図（その1）		
単 位	M、MM	縮 尺	図 示
全 28 葉 中 ノ 内 22			
令和 8 年度 施 行			

2号ボックスカルバート配筋図（その2） S=1:50

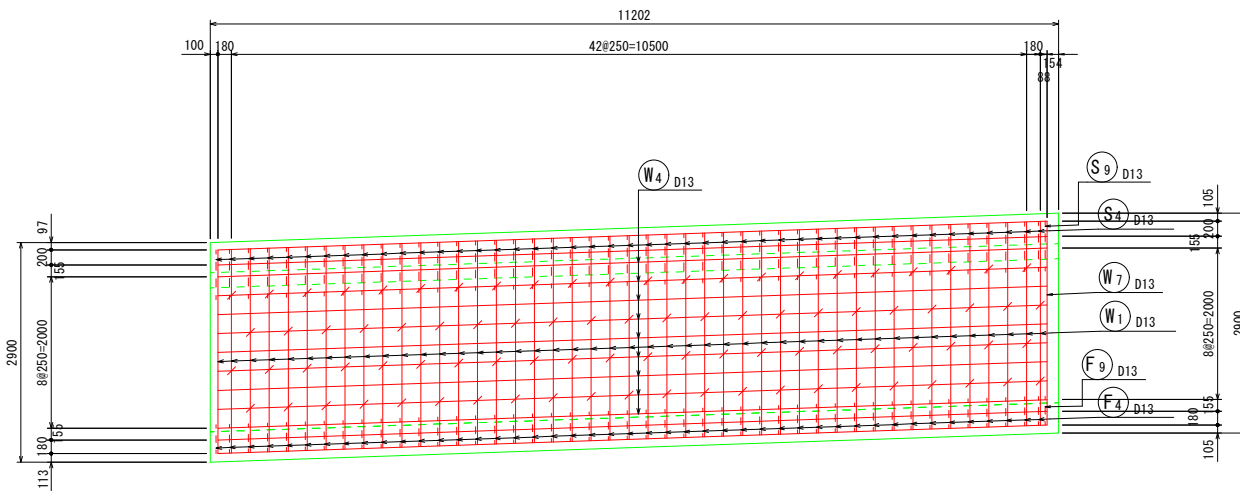
左側側壁外面(5 - 5)



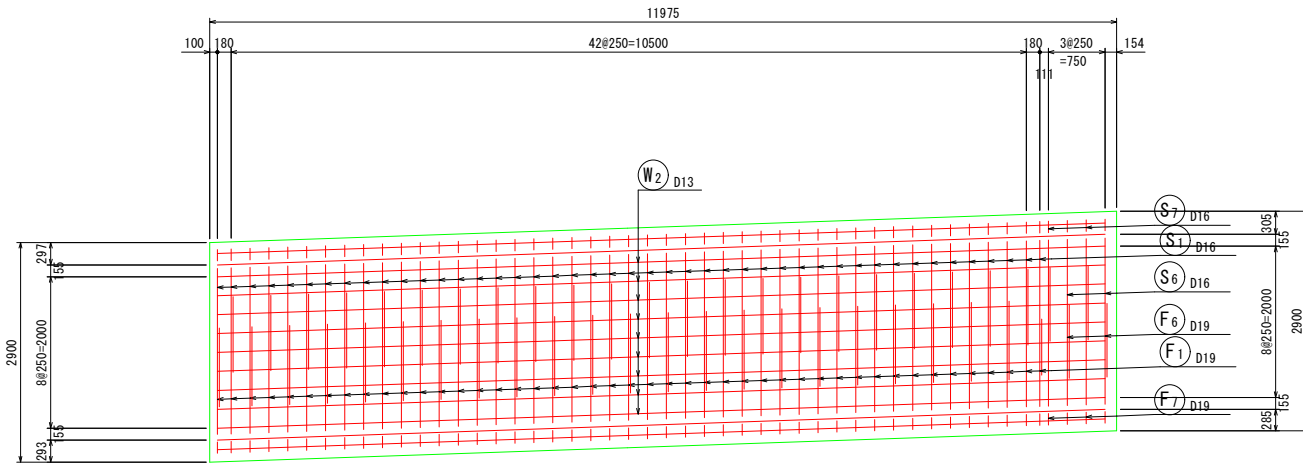
右側側壁内面(7 - 7)



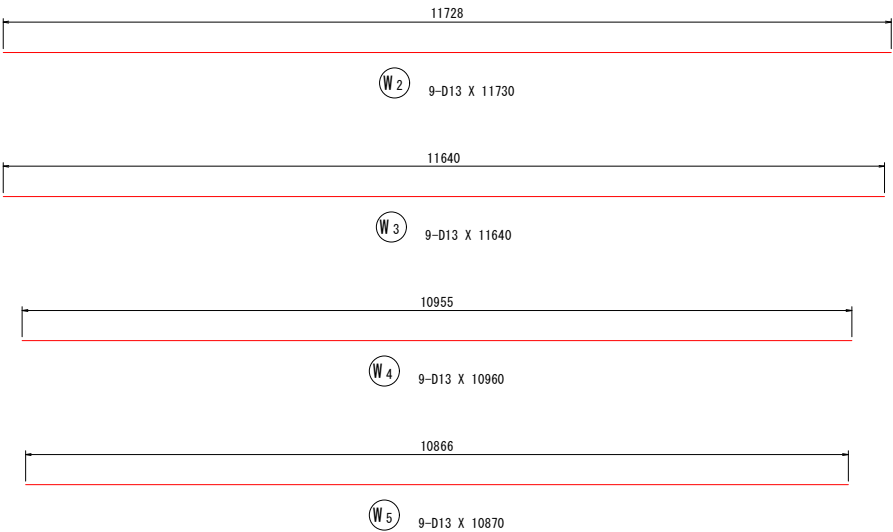
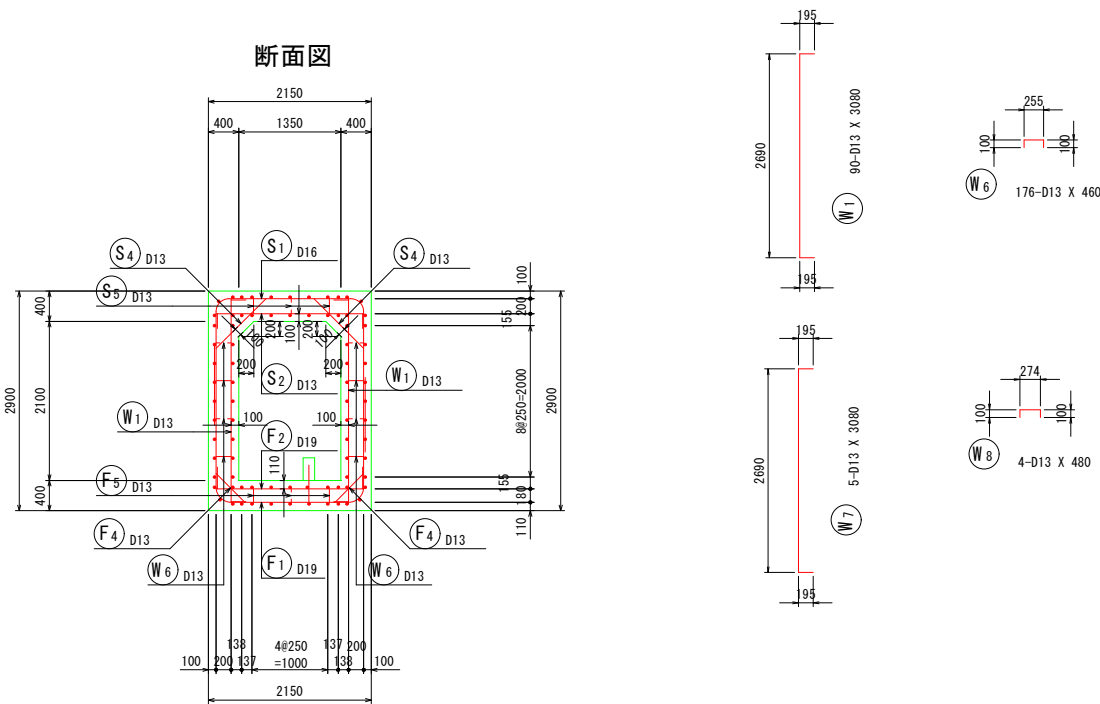
左側側壁内面(6 - 6)



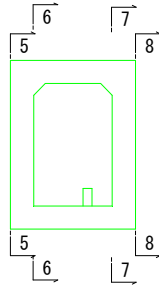
右側側壁外面(8 - 8)



断面図

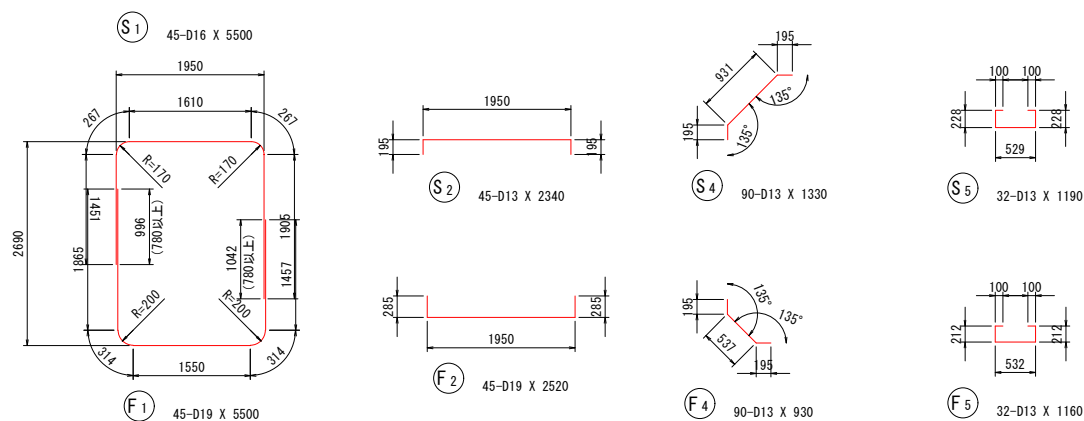


位置図

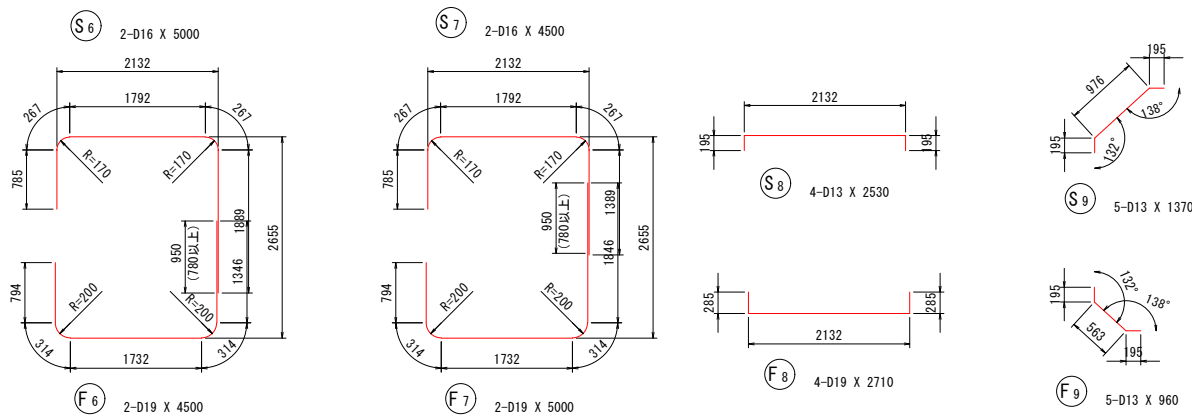
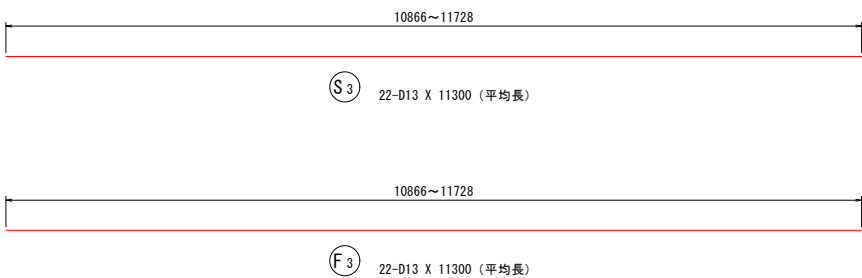


位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	2号ボックスカルバート配筋図（その2）		
単位	M, MM	縮尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 23			
令和 8 年度施行			

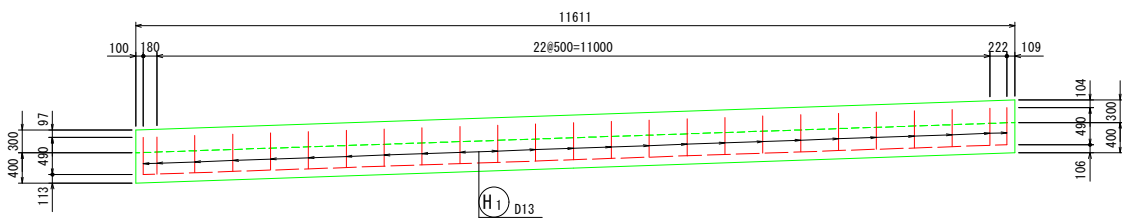
2号ボックスカルバート配筋図（その3）S=1:50



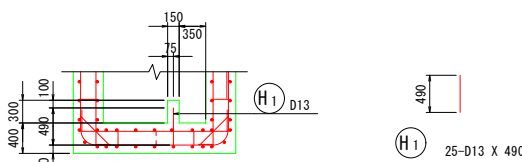
注）側壁部の主鉄筋の重ね継手については、継手の離れが25φ以上とれない為、重ね継手長は、定着長の1.3倍以上(L=780以上) 確保すること。



水路壁側面図



水路壁断面図



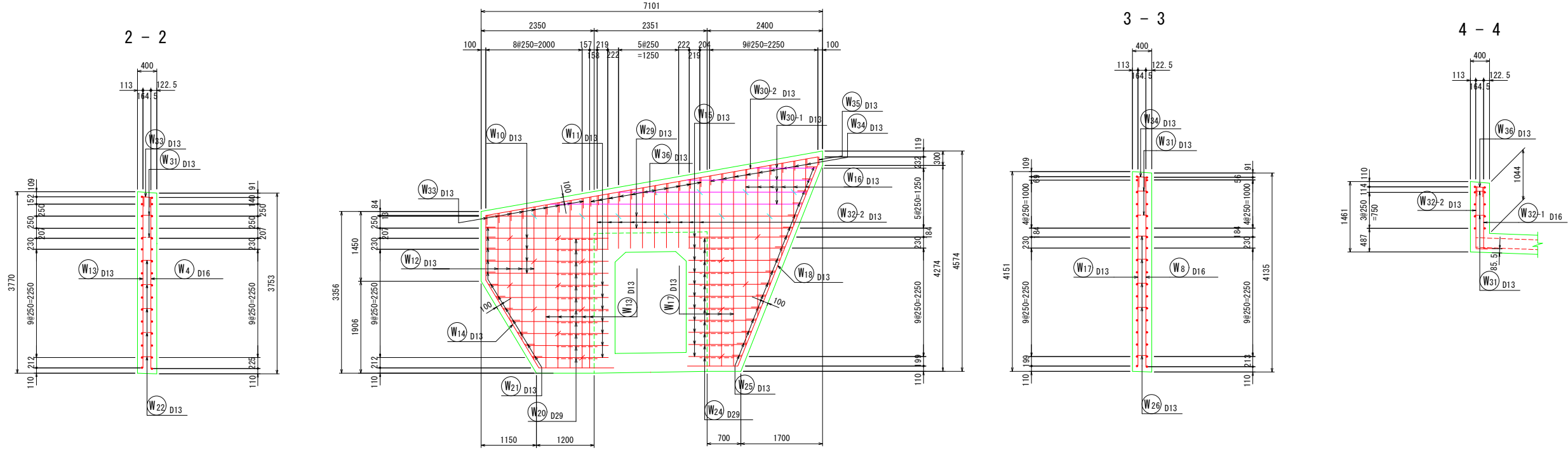
鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D16	5500	45	1.56	8.58	386	└┐
S 2	D13	2340	45	0.995	2.33	105	└┐
S 3	D13	11300	22	0.995	11.24	247	└┐ (平均長)
S 4	D13	1330	90	0.995	1.32	119	└┐
S 5	D13	1190	32	0.995	1.18	38	└┐
S 6	D16	5000	2	1.56	7.80	16	└┐
S 7	D16	4500	2	1.56	7.02	14	└┐
S 8	D13	2530	4	0.995	2.52	10	└┐
S 9	D13	1370	5	0.995	1.36	7	└┐
942 kg							
W 1	D13	3080	90	0.995	3.06	275	└┐
W 2	D13	11730	9	0.995	11.67	105	└┐
W 3	D13	11640	9	0.995	11.58	104	└┐
W 4	D13	10960	9	0.995	10.91	98	└┐
W 5	D13	10870	9	0.995	10.82	97	└┐
W 6	D13	460	176	0.995	0.46	81	└┐
W 7	D13	3080	5	0.995	3.06	15	└┐
W 8	D13	480	4	0.995	0.48	2	└┐
777 kg							
F 1	D19	5500	45	2.25	12.38	557	└┐
F 2	D19	2520	45	2.25	5.67	255	└┐
F 3	D13	11300	22	0.995	11.24	247	└┐ (平均長)
F 4	D13	930	90	0.995	0.93	84	└┐
F 5	D13	1160	32	0.995	1.15	37	└┐
F 6	D19	4500	2	2.25	10.13	20	└┐
F 7	D19	5000	2	2.25	11.25	23	└┐
F 8	D19	2710	4	2.25	6.10	24	└┐
F 9	D13	960	5	0.995	0.96	5	└┐
1252 kg							
H 1	D13	490	25	0.995	0.49	12	└┐
12 kg							
合 計 D19 879 kg							
D16 416 kg							
D13 1688 kg							
総質量 2963 kg							

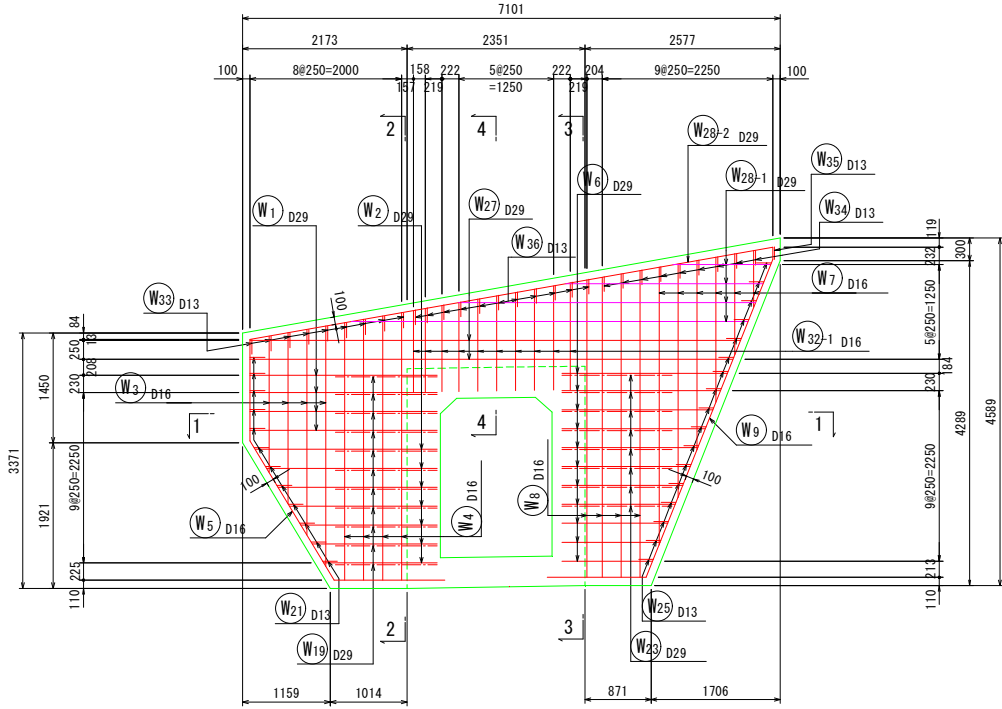
位 置	鳥 取 県 西 伯 郡 大 山 町		
	退 休 寺		
工 事 名	中 山 第 3 配 水 池 導 配 水 管 路 整 備 工 事		
図 名	2号ボックスカルバート配筋図（その3）		
単 位	M, MM	縮 尺	図 示
全 28 葉 中 ノ 内 24			
令 和 8 年 度 施 行			

2号ボックスウイング配筋図（その1）S=1:50

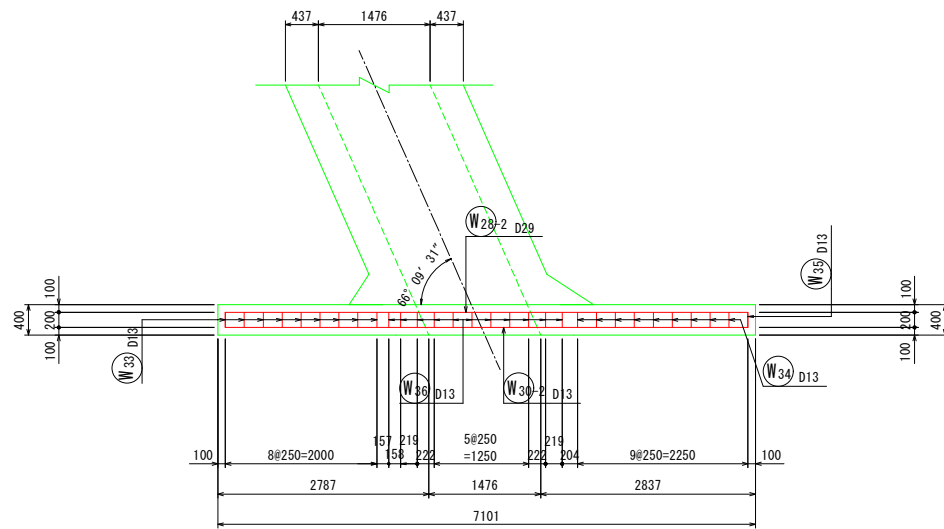
前面図



背面図

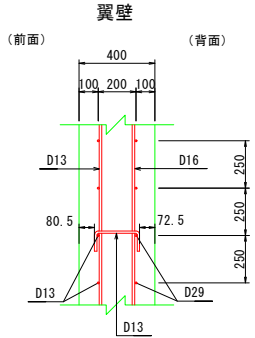


平面図



かぶり詳細図

S=1:20



位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
工事名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図名	2号ボックスウイング配筋図（その1）		
単位	M, MM	縮尺	図示
全 28 葉 中 ノ 内 25			
令和 8 年度 施行			

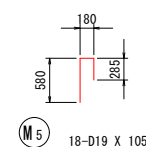
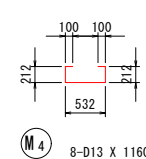
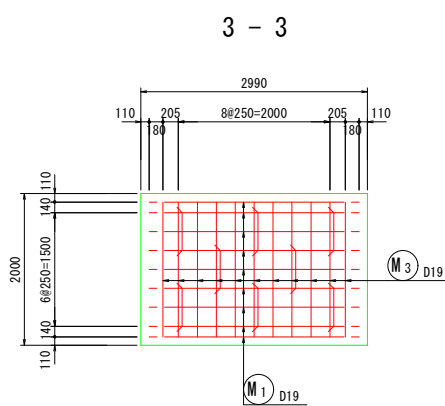
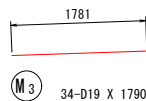
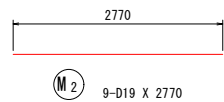
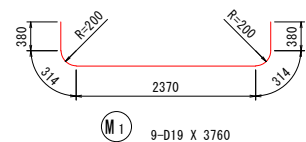
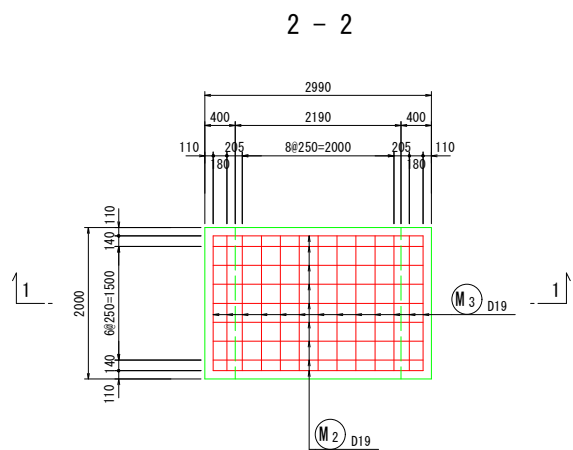
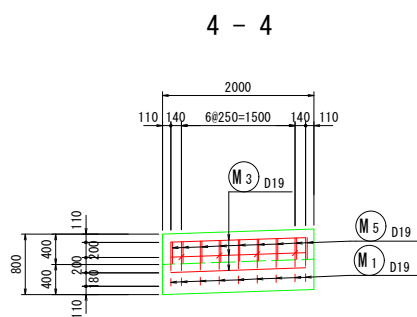
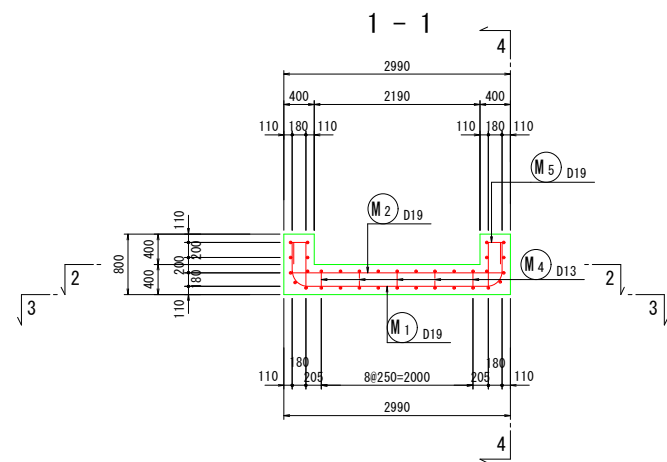
2号ボックスウイング配筋図（その2）S=1:50

鉄筋質量表（SD345）

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
W 1	D29	3310	4	5.04	16.68	67	└─┘
W 2	D29	2790	7	5.04	14.06	98	└─┘ (平均長)
W 3	D16	2490	4	1.56	3.88	16	(平均長)
W 4	D16	3470	4	1.56	5.41	22	(平均長)
W 5	D16	5000	1	1.56	7.80	8	└─┘
W 6	D29	2390	11	5.04	12.05	133	└─┘ (平均長)
W 7	D16	2210	6	1.56	3.45	21	(平均長)
W 8	D16	3990	4	1.56	6.22	25	(平均長)
W 9	D16	5990	1	1.56	9.34	9	└─┘
W 10	D13	2750	4	0.995	2.74	11	└─┘
W 11	D13	2230	7	0.995	2.22	16	└─┘ (平均長)
W 12	D13	2490	4	0.995	2.48	10	(平均長)
W 13	D13	3470	5	0.995	3.45	17	(平均長)
W 14	D13	5030	1	0.995	5.00	5	└─┘
W 15	D13	1790	11	0.995	1.78	20	└─┘ (平均長)
W 16	D13	2210	6	0.995	2.20	13	(平均長)
W 17	D13	4000	3	0.995	3.98	12	(平均長)
W 18	D13	5760	1	0.995	5.73	6	└─┘
W 19	D29	1960	11	5.04	9.88	109	└─┘
W 20	D29	4000	11	5.04	20.16	222	└─┘
W 21	D13	590	12	0.995	0.59	7	└─┘
W 22	D13	630	10	0.995	0.63	6	└─┘
W 23	D29	2440	8	5.04	12.30	98	└─┘
W 24	D29	4000	11	5.04	20.16	222	└─┘
W 25	D13	590	17	0.995	0.59	10	└─┘
W 26	D13	630	5	0.995	0.63	3	└─┘
W 27	D29	6430	2	5.04	32.41	65	└─┘ (平均長)
W 28-1	D29	3270	4	5.04	16.48	66	└─┘ (平均長)
W 28-2	D29	7010	1	5.04	35.33	35	└─┘
W 29	D13	6430	2	0.995	6.40	13	└─┘ (平均長)
W 30-1	D13	3270	4	0.995	3.25	13	└─┘ (平均長)
W 30-2	D13	7010	1	0.995	6.97	7	└─┘
W 31	D13	630	10	0.995	0.63	6	└─┘
W 32-1	D16	1540	10	1.56	2.40	24	└─┘ (平均長)
W 32-2	D13	1470	10	0.995	1.46	15	└─┘ (平均長)
W 33	D13	560	9	0.995	0.56	5	└─┘
W 34	D13	560	9	0.995	0.56	5	└─┘
W 35	D13	490	1	0.995	0.49	0	└─┘
W 36	D13	560	11	0.995	0.56	6	└─┘
1446 kg							
合 計 D29				1115 kg			
D16				125 kg			
D13				206 kg			
総質量				1446 kg			

位 置	鳥 取 県 西 伯 郡 大 山 町		
	退 休 寺		
工 事 名	中 山 第 3 配 水 池 導 配 水 管 路 整 備 工 事		
図 名	2 号 ボ ッ ク ス ウ イ ン グ 配 筋 図 (そ の 2)		
単 位	M, MM	縮 尺	図 示
全 28 葉 中 ノ 内 26			
令 和 8 年 度 施 行			

枕配筋図 S=1:50



鉄筋質量表 (SD345)

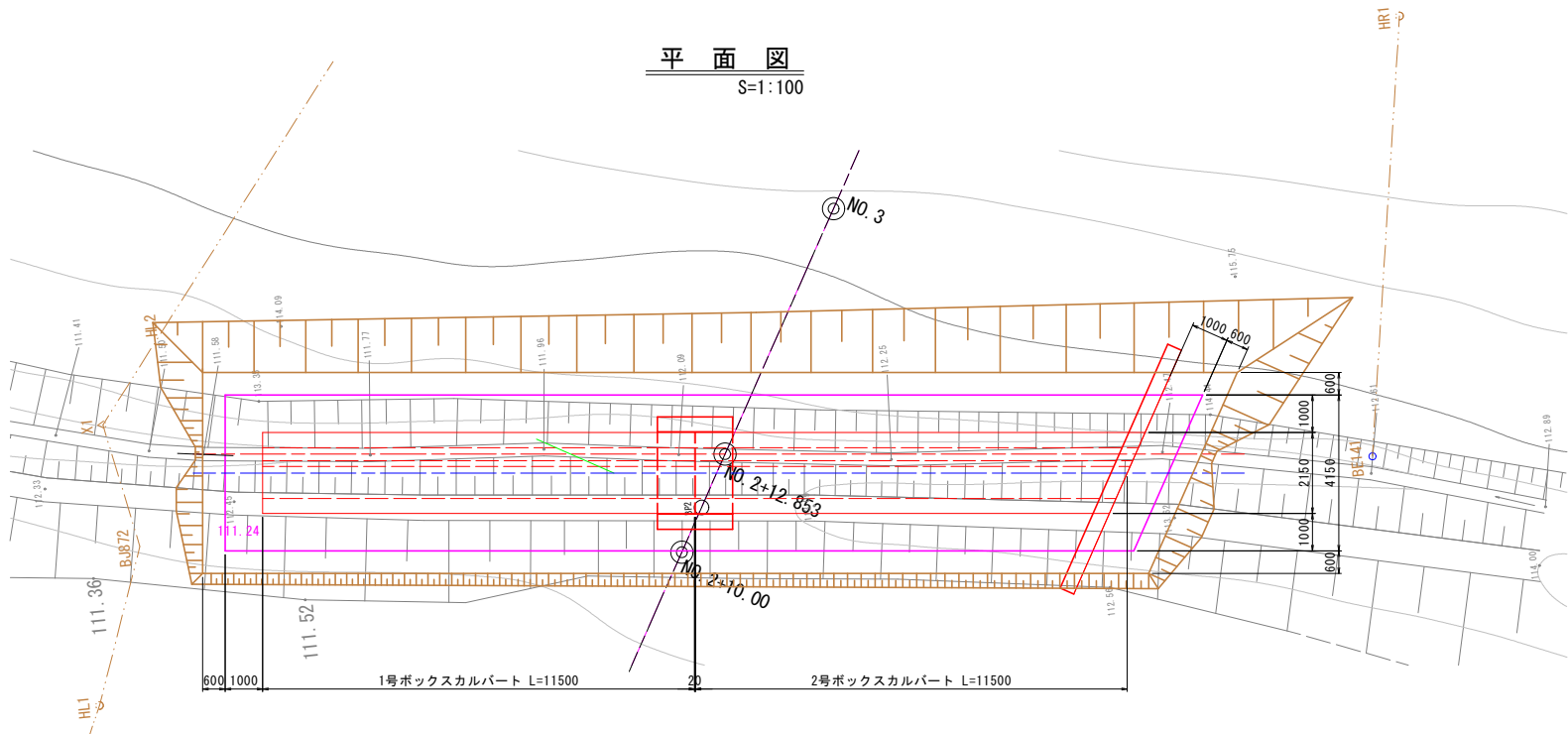
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
M 1	D19	3760	9	2.25	8.46	76	└─┘
M 2	D19	2770	9	2.25	6.23	56	└─┘
M 3	D19	1790	34	2.25	4.03	137	└─┘
M 4	D13	1160	8	0.995	1.15	9	└─┘
M 5	D19	1050	18	2.25	2.36	42	└─┘
320 kg							
合 計 D19							311 kg
D13							9 kg
総質量							320 kg

位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工 事 名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	枕 配 筋 図		
単 位	M,MM	縮 尺	図示
全 28 葉 中 / 内 27			
令和 8 年度施行			

ボックスカルバート土工図

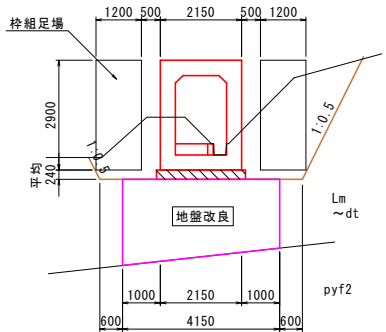
平面図

S=1:100



断面図

S=1:100

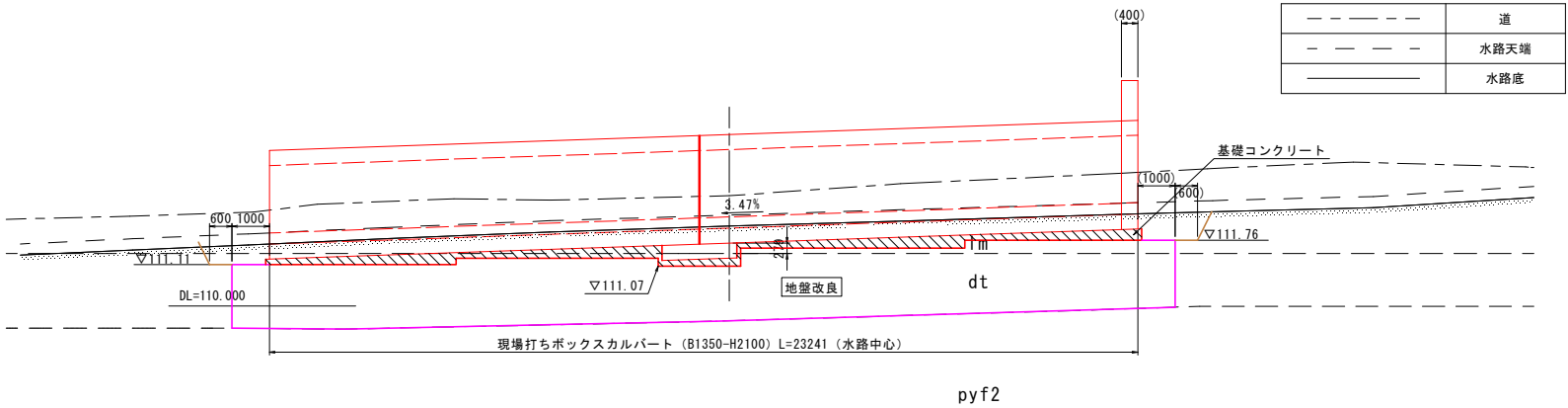


※地盤改良のセメント添加量は90kN/m³とする。

横断図

S=1:100

N0. 2+12.853



凡例

---	道
- - - -	水路天端
———	水路底

位 置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	退休寺		
工 事 名	中山第3配水池導配水管路整備工事		
図 名	ボックスカルバート土工図		
単 位	M, MM	縮 尺	S=1:100
全 28 葉 中 ノ 内 28			
令和 8 年度施行			